

緑の募金

事業報告集

平成30年度



「緑の募金」は、地球温暖化防止をはじめとした課題に向けて、国内外の森林の整備や森林ボランティアの育成などに大切に活用されています。

公益社団法人 国土緑化推進機構

緑の募金 事業報告集

平成30年度

公益社団法人 国土緑化推進機構

はじめに

緑の募金事業は、「緑の募金法」に基づき、国内・海外における「国民参加の森林づくり」を進めるものであり、森林ボランティア団体等が行う森林整備、緑化推進、国際協力の活動を支援するものです。

平成29年度（平成29年7月～平成30年6月）事業においては、

- ① 地球温暖化防止や水源涵養等に資する森林の整備
- ② 東日本大震災被災地、熊本地震被災地の復興のための海岸林の再生、被災地域の学校緑化
- ③ 地域のシンボルとなる森林づくり
- ④ 災害跡地の復旧や災害に強い森林づくり
- ⑤ 竹林の整備
- ⑥ 砂漠化の防止や住民生活の向上に資する植林、マングローブ林の造成

等の事業を支援しました。

本報告集は、緑の募金の社会的意義と役割に鑑み、緑の募金事業の実行結果について、募金者をはじめ、広く一般市民、企業・団体等の方々にも知って頂くためのものです。

本報告集によって、国民の皆さまの「緑の募金」への一層の理解と更なるご支援・ご協力の輪が広がるとともに、豊かな森林を次の世代に引き継いでいくための活動の一助になれば幸いです。



緑の募金

公益社団法人 国土緑化推進機構

目次

(注) 1. 本報告集に掲載した事業は、平成 29 年 7 月から平成 30 年 6 月までに事業決定・承認した直接事業及び公募事業である。

2. 最左欄は交付決定番号、() 地名は事業実施都道府県等である。

3. 交付決定番号の区分の説明

SC 直接事業(森林整備)／東震 SC 東日本大震災復興事業(森林整備)／S 公募事業(森林整備)／災 S 公募事業(災害に強い森林づくり事業：森林整備)

RC 直接事業(緑化推進)／東震 RC 東日本大震災復興事業(緑化推進)／熊震 RC 熊本地震復興事業(緑化推進)／R 公募事業(緑化推進)／災 R 公募事業(災害に強い森林づくり事業：緑化推進)／ふ R 公募事業(ふるさとの森林再生事業)

KC 直接事業(国際協力)／K 公募事業(国際協力)

森林の整備

29SC-01	緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21さがみの森」(神奈川)……………	10
29SC-02	緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」(大阪)……………	10
29SC-03	「キリン千歳水源の森」整備の森づくり(北海道)……………	11
29SC-04	地球温暖化防止のための北海道の森づくり事業(北海道)……………	11
29SC-05	原村あゆみの森整備事業(長野)……………	12
29SC-06	玖珠町ふれあいの森づくり事業(大分)……………	12
29SC-07	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業(神奈川)……………	13
29SC-08	積水化学・水源の森づくり事業(北海道)……………	13
29SC-09	「積水化学の森・木津川」生物多様性保全の森づくり(京都)……………	14
29SC-10	栗原ジオパーク崩落跡地の植生復元事業と行者の滝周辺被害地の植生調査(宮城)……………	14
29SC-11	富士山緑の募金の森造成事業(静岡)……………	15
29SC-12	企業と協働による「高梁美しい森」整備事業(岡山)……………	15
29SC-13	高尾小仏の森植樹祭2017(東京)……………	16
29SC-14	奈良県吉野山の森づくり事業(森の教室 苗返し)(奈良)……………	16
29SC-15	いのちの森づくり植樹祭IN 奥沢水源地 VOL.5(北海道)……………	17
29SC-16	緑のESDの森づくり事業(宮城)……………	17
29SC-17	「赤西溪谷・水源の森」保全事業(兵庫)……………	18
29SC-18	岡山水源の森整備事業(岡山)……………	18
29SC-19	岡山県日本リスの森整備事業(岡山)……………	19
29SC-20	水源地保全活動(茨城)……………	19
29SC-21	南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業(神奈川)……………	20
29SC-22	「積水化学の森・うきは」生物多様性保全の森づくり(福岡)……………	20
29SC-23	「能勢菊炭を子どもたちへ」クヌギ里山再生計画(大阪)……………	21
29SC-24	「みたけ木曾川水源の森づくり」活動(岐阜)……………	21
29SC-25	「大阪府ENEOS友好の森」森林整備事業(大阪)……………	22
29SC-26	和木町協働の森づくり事業(山口)……………	22
29SC-27	さいたまの森林づくり支援事業(埼玉)……………	23
29SC-28	福を呼ぶ「フクギさんぼ道」プロジェクト(沖縄)……………	23
29SC-29	当麻町緑の募金記念植樹事業(北海道)……………	24
29SC-30	木曾川・やおつ水源の森づくり活動(岐阜)……………	24
29SC-31	自伐型林業による製紙用パルプ材供給体制整備モデル事業(兵庫)……………	25
29SC-32	多摩動物公園 豊かな里山の森づくり(東京)……………	25
29東震SC-01	3.11復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業(千葉)……………	26
29東震SC-02	ラグビーワールドカップ2019開催をステップとした コミュニティの再生を目指す大槌湾海岸防災林植樹事業(岩手)……………	26
29東震SC-03	「岩沼潮除須賀松の森」植樹事業(宮城)……………	27
29東震SC-04	平成29年度東日本大震災復興事業(被災海岸松林再生植樹祭)(茨城)……………	27

29東震SC-05	旭復興事業2017（千葉）	28
29東震SC-06	震災復興植樹祭INさんむ（千葉）	28
29東震SC-07	白子町海岸保安林再生植樹祭（千葉）	29
29東震SC-08	みやぎ山元地区海岸防災林再生活動（宮城）	29
29東震SC-09	「荒浜・岩沼潮除須賀松の森」植樹事業（宮城）	30
29東震SC-10	宮城県東松島地区海岸防災林（浜須賀松国有林）の再生に向けた活動（宮城）	30
29東震SC-11	松川浦海岸防災林（相馬市大洲国有林）植樹事業（福島）	31
29S-01	森と街を繋ぐ森の循環プロジェクト（北海道）	31
29S-02	札幌市澄川都市環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業（北海道）	32
29S-03	植樹会と間伐材利用イベントを通じた、富良野の森づくり人づくり事業（北海道）	32
29S-04	林業担い手を育てる自伐林業家養成事業（北海道）	33
29S-05	林業体験活樹祭～森と海をつなぐ町はしかみ2017～（青森）	33
29S-06	吉里吉里の森林再生プロジェクト（岩手）	34
29S-07	森林の整備（地震で崩落した山林の再生事業）（宮城）	34
29S-08	森林の整備（離島の森の回復事業）（宮城）	35
29S-09	花いっぱい森コミュニティプロジェクト（山形）	35
29S-10	森林ボランティア育成講座 第12期（茨城）	36
29S-11	茨城県県民の森「スギ採種園の跡地」及び他フィールドの森林整備活動（茨城）	36
29S-13	補植・名郷（上名栗）植樹プロジェクト（埼玉）	37
29S-14	牡蠣を育む海を豊かにするための川上川下連携による森林整備活動（広島）	37
29S-15	相模湖若者の森づくり、知足の森整備活動（神奈川）	38
29S-16	森林が世界と地域をつなぐ、国際森林保全ワークキャンプ事業（全国16箇所）	38
29S-17	「玉原高原ブナ林の復元を目指したボランティアによる森林整備」事業（群馬）	39
29S-18	長野県北信地域森林整備活動（長野）	39
29S-19	カルチャーセンター周辺急斜面の防災緑地化、およびC棟南野草庭園化事業（東京）	40
29S-20	アースデイいのちの森（東京）	40
29S-21	日向の森（千葉県山武市・人工林）保全活用のための森林ボランティア 人材養成事業（千葉）	41
29S-22	市民参加の「みんなの森づくり」事業（東京）	41
29S-23	水源林の保全・整備と森林の多目的利用の促進（神奈川）	42
29S-24	南高尾風景林の整備活動と森林体験スクール事業（東京）	42
29S-25	山からの間伐材を利用した町の公園整備（栃木、東京）	43
29S-26	里山ボランティアの安全技能研修（神奈川）	43
29S-27	次世代につなぐ里山づくり（福井）	44
29S-28	昆虫の住める森づくり（山梨）	44
29S-29	つつじヶ崎の森（ふれあいの森）森林再生事業（山梨）	45
29S-30	中山間地に人を呼ぶ～身近な里山の森林資源をプロデュース（地域資源の利活用）（長野）	45
29S-31	水源の森実験林と多目的広場の設置を進める事業（岐阜）	46
29S-32	山と海をつなげるいのちの森づくり植樹祭（静岡）	46
29S-33	間伐材搬出、利用促進による森林の整備事業（静岡）	47
29S-34	大久保地域の竹林・森林整備、緑化推進事業（静岡）	47
29S-35	循環再生する森にかかわろう！（三重）	48
29S-36	斎王竹の道「森林再生保全」（三重）	48
29S-37	森林施業・林業生産等の体験と森林整備（京都）	49
29S-38	雪害倒木の活用「焰のある暮らし」普及活動（京都）	49
29S-39	三嶺の森再生事業（高知、徳島）	50
29S-40	2反から始める林業体験の場づくり（福岡）	50
29災S-01	森づくり事業（宮城）	51
29災S-03	東日本大震災復興支援 緑化木育成（岩手、宮城、福島、千葉）	51
29災S-04	富士山麓における森づくり整備活動（山梨）	52
29災S-05	新地町沿岸部における防災緑地整備事業（福島）	52
29災S-06	緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり（新潟）	53

29災S-07	国民参加による災害に強い森づくり事業（新潟）	53
29災S-08	蘇る熊野の森大日山プロジェクト2017（2番区）（和歌山）	54
29災S-09	「銀林の恵み森活プロジェクト」で山林災害を無くそう！事業（島根）	54
29災S-10	徳島県那賀町木沢森林整備事業（徳島）	55
29災S-11	環境共生型森づくりでだれもが参入できる永続的森業の実践普及事業（高知）	55

緑化の推進

29RC-01	獅子吼高原 森のふれあい音楽会（石川）	58
29RC-02	水源林・森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム（山梨）	58
29RC-03	子どもと地域のための森の健康診断普及事業（長野、愛知、岐阜など6県）	59
29RC-04	組手什を用いたH29九州北部豪雨復興支援事業（大分）	59
29RC-05	学校教育環境向上のための緑化事業（東浦町立藤江小学校）（愛知）	60
29RC-06	九州北部豪雨復興支援事業（学校・仮設住宅団地等緑化・木製品提供）（福岡）	60
29RC-07	学校教育環境向上のための緑化事業（多摩市立愛和小学校）（東京）	61
29RC-08	げんきの森づくりと森の学習活動（北海道）	61
29RC-09	北広島市げんきの森～北広島エコミュージアム構想に根差した森づくり～（北海道）	62
29RC-10	町有林・げんきの森育樹事業（北海道）	62
29RC-11	みんなでつくる・未来へつなげる森と水辺の里山づくり事業（2年目）（北海道）	63
29RC-12	こどもからお年寄りまで元気になる森づくり事業（北海道）	63
29RC-13	木育フェスタin桜ヶ丘森林公園（北海道）	64
29RC-14	地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」の推進（新潟、千葉、東京）	64
29RC-15	活樹祭・親子森林教室石垣島里山づくりプロジェクト（沖縄）	65
29東震RC-01	東日本大震災復興祈念・大槌学園環境緑化事業（岩手）	65
29東震RC-02	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業（宮城）	66
29東震RC-03	東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！Project-D（岩手、宮城、福島）	66
29東震RC-04	東日本大震災復興祈念・大槌学園環境緑化事業-2（岩手）	67
29熊震RC-01	熊本地震復興支援事業（学校・仮設住宅団地等緑化・木製品提供）（熊本）	67
29R-01	森と緑と湖のマチ、そららの森づくりプロジェクト（北海道）	68
29R-02	八幡山桜（はな）の森整備事業紅葉の森整備事業（山形）	68
29R-03	宇宙から見える森づくり（きぼうの桜）（岩手、宮城、福島）	69
29R-04	どんぐりの木植樹会（茨城）	69
29R-05	カエデの植樹による山村と都市の交流（埼玉）	70
29R-06	十日町市民協働の森づくり植樹祭（新潟）	70
29R-07	SDGs環境フォーラムと木づかい体験木工教室の開催及び 富士山麓の自然：生物多様性の現地調査の実施（静岡）	71
29R-08	猿投山北西山麓斜面の環境林整備（愛知）	71
29R-09	森は海の恋人「うなぎの森植樹祭」事業（大阪）	72
29R-10	豊かな自然の復元を願って＝生物多様性豊かな森づくり（兵庫）	72
29R-11	「ひろしま里山未来博」記念植樹祭（広島）	73
29R-12	「山野草のエキ」保存による里山交流事業（山口）	73
29R-13	森づくり活動による都市・山村交流ふれあい事業（徳島）	74
29R-14	炭焼と日本ミツバチの森づくりPJ（福岡）	74
29R-15	少年団による水源林整備及び自然体験活動（熊本）	75
29災R-01	新たな林業「クロモジ」による都市山村交流（福島）	75
29災R-02	A-WASS 循環と共生の森づくり in ときがわ（埼玉）	76
29災R-03	三宅島復興支援緑化再生プロジェクト（東京）	76
29災R-04	上下流連携の「森活」やまづくり事業（群馬）	77
29災R-05	伊豆韮山山谷地区竹林整備事業（静岡）	77
29災R-06	国民参加による災害に強い森林づくり事業（神奈川）	78
29災R-07	災害に強い西川広葉樹を育てる交流事業（山形）	78
29災R-08	山村と都市住民の交流・協働による海岸防災林やスキー場跡地等の 森林整備事業（千葉、東京、長野）	79

29災R-09	山村住民と中京圏・都市住民との協働による森林ボランティア活動事業（岐阜）	79
29災R-10	グリーンベイOSAKA森を育てる活動（海岸防災林の植樹整備）（大阪）	80
29災R-11	揖保川源流の森づくり（兵庫）	80
29災R-12	大浦干拓防風林保全活動（鹿児島）	81
29災R-13	「地球に緑を 桜島を緑に」どんぐりの照葉樹森づくり 第17回 桜島どんぐりころころ植樹祭（鹿児島）	81
29ふR-01	天売島・持続可能な未来の水源地づくり事業（北海道）	82
29ふR-02	今別町ふるさと桜樹勢回復再生事業（青森）	82
29ふR-03	みほの里山環境整備事業（青森）	83
29ふR-05	西長野古米沢の森林再生事業（秋田）	83
29ふR-06	「そだてよう！どんぐりの森」プロジェクト（秋田）	84
29ふR-07	権現堂しだれ桜保全事業（山形）	84
29ふR-08	川内ふるさと触れあいの森づくり（福島）	85
29ふR-09	大生神社の社叢整備事業（茨城）	85
29ふR-10	連取の笠松保全活動（群馬）	86
29ふR-11	生物多様性のある里山の森づくり（埼玉）	86
29ふR-12	旧岩崎家末廣別邸の森再生維持事業（千葉）	87
29ふR-13	桜の弘法山、森林再生事業（神奈川）	87
29ふR-14	阿賀町中ノ沢地区天然スギ巨木の森整備事業（新潟）	88
29ふR-15	鬼太鼓の森再生事業（新潟）	88
29ふR-16	「ふるさと絆の森」再生事業（石川）	89
29ふR-17	越前和紙の里 景観整備事業（福井）	89
29ふR-18	ふるさとの森林再生事業（福井）	90
29ふR-19	彦谷の里 里山保存継承事業（岐阜）	90
29ふR-21	富士のさと森づくり事業（静岡）	91
29ふR-22	学校のシンボル「メタセコイヤ」の樹勢回復（愛知）	91
29ふR-23	名勝三多気の桜維持管理事業（三重）	92
29ふR-24	海津大崎のサクラ並木樹勢回復事業（滋賀）	92
29ふR-25	上宮津スギの森保全事業（京都）	93
29ふR-26	妙見山のブナ林バッファゾーン整備事業（大阪）	93
29ふR-27	豊かな自然の復元を願って＝ふるさとのブナ林再生事業（兵庫）	94
29ふR-28	憩いの場としての健全な森林づくり（奈良）	94
29ふR-29	吉野 落葉樹・どんぐり苗返しの森造り森林再生事業（奈良）	95
29ふR-30	境港市竹内西緑地マツ林復元・整備事業（鳥取）	95
29ふR-31	「森の名手・名人」故 栗栖誠氏山林復興事業（島根）	96
29ふR-33	鯖釣山自生椿群生林整備事業（山口）	96
29ふR-34	緑の景観事業による里山創生（山口）	97
29ふR-35	三浦の環境美化活動（山口）	97
29ふR-36	島ノ川溪谷緑化推進事業（高知）	98
29ふR-37	岡垣町（一丁溜池周辺地区）の放置竹林伐採・植樹プロジェクト事業（福岡）	98
29ふR-38	衣干百年桜樹勢回復事業（佐賀）	99
29ふR-39	紙屋の里山等再生事業（宮崎）	99
29ふR-40	武岡台の森環境整備事業（鹿児島）	100

国際協力

29KC-01	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業（マリ）	102
29KC-02	日本－ラオス友好の森展示林造成事業（ラオス）	102
29KC-03	平成29年度緑の国際ボランティア研修（タイ国）（タイ）	103
29KC-04	タイ国ナコーンラーチャーシーマー県における森林再生を目指した植林事業（タイ）	103
29KC-05	タイ国チャイナート県における森林再生を目指した植林事業（タイ）	104
29KC-06	カンボジア国クラチェ州における生物多様性の保全を目指した 植林事業（フェーズ2）（カンボジア）	104

29KC-07	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業（中国）	105
29KC-08	インドネシア森林と水保全のための「まちの森」づくりと 環境教育推進プロジェクト（インドネシア）	105
29KC-09	ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための 寒帯林保全及び荒廃造林事業（ロシア）	106
29KC-10	河北省環境保全協力事業（中国）	106
29KC-11	モンゴル森林火災被災地再生事業（モンゴル）	107
29K-01	モンゴルにおける北方型生活環境保全林の造成事業（モンゴル）	107
29K-02	苗木生産・供給をベースとした住民主体のコミュニティー完結型 緑化事業（継続）（エチオピア）	108
29K-03	小学校周辺の防風、防寒を目的とした植林事業（エクアドル）	108
29K-04	中国内モンゴル自治区錫林郭勒盟正蘭旗烏日図嘎査フィサンダクー沙地地域における 沙丘からの流沙防止のための植林（中国）	109
29K-05	ブルキナファソ・バム県における村落植林プロジェクト（ブルキナファソ）	109
29K-06	インドネシア・東スンバ県における緑化推進のための マングローブ植林事業（インドネシア）	110
29K-08	セレゲレン苗木生産センターにおける育苗及び砂漠化防止のための 植林普及事業（モンゴル）	110
29K-09	マダガスカル、アンジアマングラナ監視森林とその周辺地域での 植林事業（マダガスカル）	111
29K-10	ラオスの森と日本の消費者を結ぶ薪炭林作り（ラオス）	111
29K-11	パレスチナ自治区ナブルス県における防塵林植樹を通じた オリーブ畑・環境保護事業（パレスチナ）	112
29K-12	第3期トングリ村における人材育成を伴う生態混交林再生事業（モンゴル）	112
29K-13	ケニア共和国イシンヤ地区の3小学校での「一緑運動」（ケニア）	113
29K-14	カンボジア世界遺産プレアピヒア寺院周辺地区での植林活動（第7年目）（カンボジア）	113
29K-15	マレーシア・サラワク州における地域住民参加型マングローブ林再生事業（マレーシア）	114
29K-16	インドネシア・西カリマンタン州におけるテンカワン植林事業（インドネシア）	114
29K-17	ガーナ植林・日本式炭焼普及プロジェクト（ガーナ）	115
29K-18	カンボジア国モンドルキリ州の里山再生を目指した 緑化推進事業（フェーズ2）（カンボジア）	115
29K-19	ヒマラヤ山麓伐採荒地に 「笑顔はじける環境を子供たちへ！未来の緑の森づくり」（ネパール）	116
29K-20	バングラデシュ国モヘシュカリ島における学校・モスク施設主移動による 生態系アプローチに沿った住民参加型植林（バングラデシュ）	116
29K-21	ビラーン民族の村の持続可能な森林農業（フィリピン）	117
29K-22	町の緑を育て、守る ネパール・バネパ市の住民参加型都市緑化推進事業（ネパール）	117
29K-23	インドネシア 中央カリマンタンの森林火災で消失した森林を 再生するための植樹事業（インドネシア）	118
29K-24	家庭菜園を利用した持続可能な苗木生産の創出（タジキスタン）	118
29K-25	上・下流部住民の交流による流域の森林再生（第1年次）（フィリピン）	119
29K-26	ルソン島北部山岳地方における森林再生とアグロフォレストリー（フィリピン）	119
29K-27	モンゴル山火事跡再生困難地の森林再生促進事業（モンゴル）	120
29K-28	アラル海旧湖底の砂と塩分移動防止のための植林活動（カザフスタン）	120
29K-29	マダガスカルでの土砂流失防止の植林事業（マダガスカル）	121
29K-30	ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した 水源涵養植林事業（ブラジル）	121
29K-31	世界遺産の棚田を崩壊から守るための植林事業（フィリピン）	122
29K-32	タイ北部山岳地域 ホイドウア村の森林再生と農村開発（タイ）	122
29K-33	モザンビーク共和国カーポデルガド州モリンガプロジェクト（モザンビーク）	123
29K-34	ミャンマーにおける多目的コミュニティー林造成事業（ミャンマー）	123
平成29年度	中央事業実施状況一覧	124

森林の整備

緑のボランティアの森記念造成事業 「フォレスト21 さがみの森」

フォレスト21 さがみの森連絡協議会

東京都文京区本郷

●事業概要

神奈川県相模原市にある国有林内約19haをフィールドに、国民参加のモデルフォレストづくりを一層推進するために、下記活動を行う。①環境や資源の持続性に配慮した森林造成活動。②地域・企業・学校等と連携し、自然とのふれあいを通して学ぶ森林環境教育。③森づくりの知識・技術のスキルアップ。④森林環境のなかで心身をリフレッシュできる活動、などを推進し、「森と人」「人と人」のきずなを再構築する森づくりの輪を広げる。

●事業成果

定例活動とイベントによる森林整備では、活動者数平均が15人を超え、計画的に整備作業を実施できた。4月22日にオムロンとのイベントを実施し、計42人が参加した。

造成20年を過ぎ、新たな参加者層の取り込みや手付かずとなっていたエリアの手入れの必要性から、植樹本数200本程度の補植候補エリアの整備、作業道づくりを進めた。

作業だけでなく、生物や植物の観察などに関心のある層への参加促進を進めたい。そのための観察路コースの整備や樹種の調査・作業も並行して進めることができた。

●自己評価

森林整備はほぼ計画通り実施できた。観察コースの整備や、環境教育イベント等実施のための整備を進めたい。また、安全などに配慮しながら体験活動を促進していきたい。

●参加者の声

・木を伐る体験を通して森づくりの知識が深まった(初回参加者で間伐を体験)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.7ha	1.6ha	2.0ha	144人	200人	344人
実施場所：神奈川県相模原市(仙洞寺山国有林)					



間伐体験

緑のボランティアの森記念造成事業 「いずみの森21」

いずみの森ボランティアの会

大阪府泉佐野市羽倉崎上町

●事業概要

「稲倉池」を囲む約30haの里山林を本来の里山の姿に戻すとともに、森林ボランティア活動教育など人材育成を目的とする活動を開始した。

活動地内のアカマツ枯死木が安全確保上無視できなくなったことから、夏季はアカマツ枯死木の伐倒、灌木の整理伐・下刈りを行い、冬季はコナラ大径木の伐倒が主な活動となっている。

里山としての姿に戻すべく活動中です。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成25～28年)

年間活動の約50%以上、青少年野外活動センター内の緑地ゾーンの整備の結果、敷地内の枯マツ対策は峠を越えた。

②今年度新たに得られた成果等

コナラ大径木の伐倒と、それに伴う技術向上と安全知識の共有化に努めた。この材は薪に加工・出荷した。

●自己評価

事前に作業予定の周知を図るとともに、チェーンソーなどで作業の効率化をすすめ、計画の大部分が達成できた。

次年度は事前作業日を設け、下枝の切断・周囲の除伐等を充分実施した後、別日に伐倒し、トータル作業時間を減らし、より安全作業で行う。地元での周知活動を図る。

●参加者の声

・作業も、体力・体調や持っている技能に合わせ、自分で判断できるので参加しやすい。(会員)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	樹勢回復	下刈面積	府内	計
3本	16本	0.86ha	589人	589人
樹種：ドウダンツツジ				
実施場所：大阪府泉佐野市日根野				



コナラの伐採

「キリン千歳水源の森」整備の森づくり

北海道林業技士会

札幌市中央区北4条西

●事業概要

千歳市藤の沢国有林にある法人の森（キリン千歳水源の森）をフィールドに、キリンビール社員ボランティア及びボーイスカウトほかの団体とその家族の参加により、午前中はアカエゾマツの枝打ち作業、昼休時間には、コースターづくりと葉っぱのシールづくりを行った。

午後は、針広混交林（天然林）で森林観察をする予定であったが、スズメバチの巣が確認されたため散策に変更した。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成19～28年）

平成19年から25年度までは、アカエゾマツ人工林の活性化を目的とした除伐及び枝打ち作業を実施したが、平成26年度からは、これらの作業に加え、森の仕組みや天然林の観察（勉強会）を実施するようになった。

②今年度新たに得られた成果等

森林観察の場所にスズメバチの巣が見つかり、近くの林道散策に変更したが、紅葉の時期と重なり、落葉が多く、落葉の説明（形、色）を通じて、植物の名前の由来、香り、種の多様性等についての説明を通じて森林・林業の普及啓もうする良い機会となった。

●自己評価

予定通り実行でき、一定の成果があった。

●参加者の声

- ・落葉がいろいろあるのにびっくりした。（12歳男子）
- ・自然観察の資料は支笏湖にまつわる話や植物ミニ図鑑は分かりやすかった。（初めての参加者）

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	道内	計
枝打ち	道内	計
0.1ha	109人	109人
樹種：アカエゾマツ		
実施場所：北海道千歳市（国有林）		



枝下し作業

地球温暖化防止のための北海道の森づくり事業

北海道林業技士会

札幌市中央区北4条西

●事業概要

法人の森（新石油株式会社・エネオス）をフィールドに、エネオス社員等とその家族の参加により、森林散策と広葉樹二次林における天然林除伐、及び広葉樹植栽地の下刈り作業とアカエゾマツの補植作業を実施した。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成17～28年）

平成17年から天然生広葉樹林の活性化を目的とした除伐と風倒木被害跡地の植栽を実施してきた。天然生林の樹下に天然更新が見られるようになり、除伐の成果が出てきている。

また、広葉樹を植栽した個所についてはエゾシカによる食害によって大半が枯死したため、トドマツを補植したが、霜害により不成績となった。森林散策については、千歳川と上流の支笏湖の自然、人々との歴史の紹介とエネオスの森周辺の植物観察を行っているが生物多様性の保全、森林・林業の普及活動に効果があった。

②今年度新たに得られた成果等

霜害やネズミの被害に強いアカエゾマツを植栽したので今後の生長が期待される。

●自己評価

予定通り実行できた。

●参加者の声

- ・私たちが手を加えたこのような美しい森での森林散策は素晴らしいかった。（エネオス女性社員）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	除伐面積	道内	計
0.05ha	60本	0.1ha	82人	82人
樹種：アカエゾマツ				
実施場所：北海道千歳市（国有林）				



アカエゾマツの植樹

原村あゆみの森整備事業

あゆみの森実行委員会

長野県茅野市宮川

●事業概要

目的は、原村の村有林及び学校林を、ENEOS社員などの方々のボランティアの参加により、下刈り、枝打ち除伐、外来植物の駆除等の森林整備活動を行う事業である。主な活動は次のとおりである。

①刈払い機やチェーンソー等の作業機械に触れ、森林整備の意義を確認する。②学校林と村有林の枝打ちや除伐を実施する。③長野県林業女性グループと交流を図り森林環境教育を実施する。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成15～29年)

藪や灌木で密林化していた森林が明るくなり遊歩道整備や枝打ちにも係わり、景観的にも心理的にも満足できる達成感を得られた。

②今年度新たに得られた成果等

村有林の森林整備の1kmの景観整備が12年を経て完了した。リピーターも多く、新規に参加した人は20人程度だが、次回に繋がる作業となった。

●自己評価

本年度は、計画以上に作業効率が上がった。初心者指導にしても、除伐等をチェーンソー・手鋸で実施するため、初心者や子ども連れのグループには難しい作業であったが、指導者を増やすことで、安全面に対する対策ができた。

課題としては、指導者の確保が難しくなってくるため、参加人数を制限しなくてはならない事だと思う。

●参加者の声

・原村の人達との親睦も深められた。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
1.4ha	0.9ha	130人	167人	297人
実施場所：長野県原村				



森林整備

玖珠町ふれあいの森づくり事業

玖珠郡森林組合

大分県玖珠郡玖珠町

●事業概要

企業ボランティアの参加により、大分県玖珠地域の里山に多様性に富む豊かな生態系と美しい景観を創出し、人と森との共生する文化の創造に資する。①広葉樹(サクラ、モミジ)の植栽と2年に渡り植栽した場所の下刈り。②ヒノキの除伐後の玉切り、枝の片付け。③植栽地の地拵。④実施林内に設置している花壇整備、花植、林内木を利用した木工教室、7月に実施したときに七夕の短冊づくり。

●事業成果

①昨年度までの成果等(平成26～28年度)

3年続けて新規に植栽・下刈りを行い1年目、2年目と木々の成長を確認できた。また、最近の鳥獣害被害(シカ、イノシシ)の現状も知ることができた。

②今年度新たに得られた成果等

29年度まで行っていたフィールドが最後となるため、参加者が今まで以上に丁寧に森林の手入れをする姿が見られた。

●自己評価

3回の計画が、ほぼ達成できた。反省点は3回実施できたが、2回ほど天候の関係で実施するかしないか協議を重ねることがあったので、雨天時の作業を考える。30年度より新しいフィールドで実施するので、植栽をメインに今まで以上に充実した作業を実施したい。

●参加者の声

・鎌での草刈りは大変でしたが、うまく刈れるようになると、なんともいえない爽快感と達成感を味わえました。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
1.8ha	500本	2ha	327人	327人
樹種：サクラ、モミジ				
実施場所：大分県玖珠町				



枝打ち

湯河原で進める 企業の森づくり体験活動事業

(公財) かながわトラストみどり財団

横浜市西区岡野

●事業概要

湯河原町の協力を得て進める企業の森は、下流には町の浄水場があり重要な水源林である。そのため、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりを目指すとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深める体験活動を行うものである。主な活動は、間伐、下刈、水源整備、自然観察会、ベンチづくりなどを行った。

●事業成果

①前年までの成果（平成24年～29年）

間伐、除伐作業によりヒノキの人工林内が明るくなり下層植生の生育環境が改善された。また、森林づくりの大変さや大切さ、森林の重要性や働きについて体験・学ぶことができた。

②今年度新たに得られた成果等

今年度新たにセンサーカメラを設置したことにより、この森に棲んでいる生き物を発見できた。

●自己評価

間伐作業については、まだ必要などころがあり当面継続する。昨年補植したフィールドで今回イノシシの被害があり、対応策を検討する必要がでてきた。毎回、水源整備を行ったため見違えるほど明るくきれいになった。自然観察会等は親子で参加できる活動として作業活動とともに実施した。今後は、子どもたちを交えた水生生物の観察など、家族連れの体験活動への参加者を増やしたい。

●参加者の声

・木を切り倒した時は達成感を感じました。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
間伐面積	水源整備	計
0.5ha	0.1ha	120人
実施場所：神奈川県湯河原町		



間伐

積水化学・水源の森づくり事業

(公社) 北海道森と緑の会

札幌市中央区北

●事業概要

当事業は、積水化学工業株式会社が(公社)国土緑化推進機構に寄附をした「緑の募金」を活用して行う企業の森造成の取り組み。

当別町神居尻地区に所在する「道民の森」で3年間植樹を行い、平成28年度から札幌市白旗山をフィールドとして植樹活動を積水化学グループの社員及び家族の参加により行った。

●事業成果

札幌市白旗山に、2日間にわたって積水化学グループの社員及び家族、総勢103名がバスと自家用車で参集した。

両日とも、午前10時30分より植樹会の開会式が行われ、趣旨説明や来賓挨拶があり、その後、参加者全員による植樹を行った。

植栽したのは、この地域の自生している広葉樹（ヤチダモ、ヤマモミジ、ハルニレ、イタヤカエデ、エゾヤマザクラ、シラカンバ）200本。木を植えることが初めての人も多く、木を植えることの大切さを多くの参加者が実感した。

●自己評価

事業は計画どおり進んでいる。昨年に続いての参加者も多く、参加者の評判もいいことから、植樹活動への理解は得られている。特に、これまでは本社主導で行われていたが、地元社員が積極的に関わるようになってきた。

●参加者の声

・森林の役割を理解するいい機会になった。来年以降も参加したい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	道外	計
0.1ha	200本	0.3ha	100人	4人	104人
樹種：ヤチダモ、ヤマモミジ、ハルニレ、イタヤカエデほか					
実施場所：北海道当別町、札幌市					



植樹体験

「積水化学の森・木津川」 生物多様性保全の森づくり

木津川市地域連携保全活動応援団

京都府木津川市木津南

●事業概要

本地区には、希少な生物が多く存在し、これらの保護と豊かな自然を守るため、里山の維持・再生活動を進めていくことを目的としている。

また、本事業は、継続的な里山の維持・再生活動と併せて、年2回程度を目安に積水化学グループの社員がイベント形式で森林保全活動を行う。

事業地は、森林・竹林地帯であるが、近年、放置竹林や耕作放棄地が目立つようになったため、タケ除間伐、下刈り、事業地内の通路整備などを行う。

●事業成果

5年目にあたる平成29年度は、まず、積水化学グループ社員によるCSR活動を実施し、里山の観察を行った。

また、応援団に所属する各活動団体と共に通路整備を実施した。また、専門業者による通路修繕工事及び改築工事・危険木の伐採を実施した。散策できるような通路の完成をめざしている。

今後の活動予定としては、既設通路の日常管理・部分修繕等及び通路整備の新たなルート開拓、また、竹林の除間伐作業や草刈り作業等の範囲を広げていく予定である。

●自己評価

本年度に策定した実施計画に基づき「自然・生態系の保全、動植物の保護、里地里山景観の維持再生等」に向けて継続的に取り組んでいきたい。

●参加者の声

・日頃の活動により里山が保たれることがわかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
通路整備	通路整備	府内	計
1.2km	1.0km	102人	102人
実施場所：京都府木津川市			



林内の通路を整備

栗原ジオパーク崩落跡地の植生復元事業 と行者の滝周辺被害地の植生調査

(特非) 森林との共生を考える会

仙台市太白区青山

●事業概要

平成20年度岩手・宮城内陸地震により大崩落を起こした荒砥沢ダム周辺はまだまだ立ち入り禁止区域である。その地域は復旧作業が終了、宮城北部森林管理署の要望により早期の森林再生を目指すために昨年より植樹活動を行い、今年もこの地で植樹を行った。また予定されている植樹を行者の滝周辺の調査と植樹のために苗木の確保も進めている。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成28年度～平成29年度）

植樹地は寒さが厳しく雪も多く、斜面となっており、雨の多い地域なので土砂が削られるということで場所によっては苗が流されているところも見受けられる。植えた苗は雪のためか折れていたり、雨で流されてしまったものもあった。しかし70%は確実に根付いている。

②今年度新たに得られた成果等

荒砥沢地区の植樹活動は厳しい環境の中でも苗は順調に育ち早期の森林再生に貢献できたと感じる。また、地域の方の協力のもとに苗木の掘り取りができたことはこれからの活動にとって大きな力になった。

●自己評価

宮城森北部森林管理署の協力で作業は順調に運び、また多くのボランティア人々にも支えられて安全に行うことができた。

●参加者の声

・植樹活動は大変有意義だった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.5ha	300本	0.9ha	108人	108人
樹種：ミズナラ、コナラほか				
実施場所：宮城県栗原市				



ミズナラ、コナラほかを植樹

富士山緑の募金の森造成事業

富士山緑の募金の森造成事業実行委員会

静岡市葵区追手町

●事業概要

平成8年9月の台風7号によって、富士山南東斜面に風倒木など甚大な被害があった。本箇所は、その復旧を目的に開始された事業であり、国土緑化推進機構が行う「国土緑化運動50周年記念事業」として、多くの森林ボランティア団体に呼びかけ、今日まで委員会方式で緑の募金中央事業として実施してきた。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成11～28年)

富士山国有林335haの現地は、8箇所の針葉樹植栽区域と富士山特有の植生を考慮した7箇所の広葉樹主体のプロットをモザイク状に配置し、森林整備を行うとともにこの間の遷移の状況を調査した。また、企業の参加による森林体験活動を通して緑の募金事業のPRを図ることができた。

②今年度新たに得られた成果等

今年度は、植生調査等継続するとともに、定期的に防シカ柵の巡視等を実施した。また、企業参加による森林体験活動として針葉樹区域内のヒノキ枝打ちを実施した。

●自己評価

実行委員会として10月に現地検討会を開催し、今後の森林整備の方向性等について検討を行った。また、シカの侵入に対し、静岡森林管理署と連携して地元猟友会によるくくり罠捕獲を実施し、これまでに10頭を捕獲した。

●参加者の声

リピート参加者も多く、大変好評であった。参加者からは、森林造成の現状やシカの被害対策の状況を実感でき、有意義であったとの意見が聞けた。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
除伐面積 1.0ha	56人	110人	166人
実施場所：静岡県富士宮市（富士山国有林）			



枝打ち

企業と協働による「高梁美しい森」整備事業

(特非) フォレストフォーピープル岡山

岡山県高梁市落合町

●事業概要

この事業は、JXTGエネルギー社及び関連会社との協働による森づくり活動を実践することにより、森林環境保全に貢献するとともに、地域社会との交流と地域の発展に寄与することを目的とするものである。

平成24年より、10年計画で森林保全活動を計画・実施している。今期は、下刈り、遊歩道の整備、マツ林整備に加え、ウッドロードの設置、炭焼き、木工クラフトを行った。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成24～28年)

定期的な下刈りに加え、新たな遊歩道の設置により、林内の移動が快適になった。

②今年度新たに得られた成果等

今年度は、ウッドロードの設置を行った。作業時には安全に移動できる他、日常においても快適に森を歩くことができる場所が増えた。そして、一度の参加者数も過去最高となる220人超もあり、活動の定着化ができてきた。

●自己評価

今季、イベント一回あたりにおける参加者数が過去最高となったことは、大きな評価に価すると考えている。課題として、参加者に飽きさせない工夫が必要となってきた。活動の趣旨を全うしながらも、参加者の満足度向上も実現できるように、プログラムの充実化を図りたい。

●参加者の声

・自分たちで整備した山で、整備の中で出てきた間伐材を炭にして、BBQをして食べるって、最高!(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	間伐面積	県内	計
1.5ha	0.5ha	493人	493人
実施場所：岡山県高梁市（高梁美しい森）			



下刈り

高尾小仏の森植樹祭 2017

(特非) 国際ふるさとの森づくり協会

東京都世田谷区若林

●事業概要

目的は、約50年前の中央自動車道建設時に発生した小仏トンネルのブリ置場(小仏盛土場)に市民の手による森づくりを行うことで、周辺の豊かな自然環境にふさわしい景観を創り、災害防止機能や水源涵養機能などの多面的機能を持つ森林再生の普及・啓発を行うことである。主な活動は、小仏盛土場の一角に、市民が参加し、郷土樹種の常緑及び落葉広葉樹のポット苗を植える植樹祭を開催した。

●事業成果

当初の予定通り植樹できた。今後、これらのポット苗が順調に生長することで、「やぶ」の様相を呈していた盛土場が豊かな森になると考えられる。今後、継続して盛土場の森づくりを進めることで、周辺住民への森林再生の普及・啓発がかなうと考えられる。また、盛土場の近隣には登山道の入り口があるため、登山客にも森を観察していただくことで、さらなる普及・啓発の効果があると考えられる。

●自己評価

計画通りに植樹を完了することができた。

当初の計画では市民150人程度の参加を見込んでいたが、悪天候の影響もあり70人だった。次回以降、より多くの参加者を集める工夫が必要である。

参加者の植樹会場へのアクセス方法のひとつとして、マイクロバスのチャーターを検討する。

●参加者の声

・子どもたちが多く参加できればもっと有意義な催しになるのでは。(40代公務員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	都内	都外	計
0.71ha	2469本	50	50	100人
樹種：アカガシ、ウラジロガシ、イヌシデ、クリ、ヒサカキ、アセビほか				
実施場所：東京都八王子市裏高尾町				



アラカシ、イヌシデ、ヒサカキほかを植樹

奈良県吉野山の森づくり事業 (森の教室 苗返し)

(公財) 奈良県緑化推進協会

奈良市高畑町

●事業概要

目的は、緑化意識の向上、啓発を推進するために植樹活動、ドングリの苗づくりを通しての植樹やビオトープの造成を行い、地域のシンボルとなる森林の再生及び自然を学ぶ場とすることである。

主な活動内容は、「リソルゴルファーの森」開設に引き続き、広葉樹の森づくりを実施。また、ビオトープを造成して自然環境を観察する場を増やし、今後の展開につなげる。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年度)

リソルゴルフ(株)関係者の参加と、吉野町、同教育委員会の協力も得て、記念植樹式を実施し、クヌギを植樹した。

②今年度新たに得られた成果等

大学生ボランティアと関係者でビオトープを造成に着手、同年11月にはリソルゴルフ(株)と吉野中央森林組合、(特非)吉野千年の森、(公社)奈良県緑化推進協会などの関係者が協定を結ぶとともに、一般参加による植樹をした。

●自己評価

採取したクヌギ等の種を苗に育てて植栽する「苗返し」や、様々な生物の自然観察をする場としてのビオトープの造成など、ESD(持続可能な環境教育)の実践の場の確保が達成できた。今後はより多くの子ども達がここを活用した森林環境教育プログラムに参加できるよう努めたい。

●参加者の声

・ビオトープ造成作業は良い経験になった。(大学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.1ha	34本	0.5ha	32人	20人	52人
樹種：クヌギ、ナラ、サクラ、ヤナギ					
実施場所：奈良県吉野町					



クヌギ、ナラ、サクラ、ヤナギほかを植樹

いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢水源地 VOL.5

“北海道” 千年の森プロジェクト

北海道小樽市稲穂

●事業概要

私達が地球環境を意識し、地域住民との協働で植樹を行う事で、防災や自然環境への意識を高めると共に、近年、多くの自然が破壊されるなか、その土地本来の植生が失われつつある「いのちの森」を守り再生させる為、奥沢水源地にて5回目の「いのちの森づくり植樹祭」を開催した。

●事業成果

土地所有者の小樽市、北海道の関係機関との協働体制もとれ、スムーズな運営ができた。小樽海洋少年団員の子ども達を始め近隣中学校の生徒会の参加もあった、千年の森会員企業の家族での参加が多くみられたのも効果が出てきた実感がある。また、市内のボランティア団体が各団体の事業として参加するとともに運営資金を寄付いただけた。小樽市が今後進める奥沢水源地の公園化に向け、私達が植樹を続ける事により市民が寄与する市民公園造りとも主旨をともに、今後も環境教育との二本柱で事業を進めたい。

●自己評価

今後の植樹も10年計画で小樽市が公園計画の中で進めていく上で近隣の町会や学校との連携の中で進めていくものである為、小樽市より腐葉土の提供や苗づくりなども協力いただける事となり、子ども達から高齢者まで私達と連携して計画を広め、植樹、育樹はもとよりメンテナンスなども市民と共同して進めていきたい。

●参加者の声

子どもや高齢者が参加しやすい植樹活動を推進していきたい。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	道内	道外	計
0.05ha	2000本	220本	0.3ha	192人	20人	212人
樹種：ミズナラほか						
実施場所：北海道小樽市						



ミズナラほかを植樹

緑のESDの森づくり事業

(特非) 宮城県森林インストラクター協会

宮城県宮城郡利府町

●事業概要

持続可能な社会を目指す「森林ESD」をテーマに、NPO団体・地域ボランティア・学校・協力企業等の協働により、宮城県利府町菅谷地区の里山整備・再生活動に取り組み、協働によるレクリエーション林の再生や、有用材の植林・育樹や、森林保全や林業の重要性を普及することを主目的として、スギやヒノキ、広葉樹の植林・育樹活動や遊歩道整備等の森林整備活動、森林ボランティアの育成活動、間伐材を使ったクラフトといった多角的な事業を行った。

●事業成果

①前年度までの成果(平成18～28年)

1000人を超えるボランティアとともに、保全活動や植林・育樹、レクリエーション林としての整備活動を行ってきた。

②今年度新たに得られた成果等

昨年度から整備を開始した未立木地は植樹だけではなく、甲虫養育溝や鳥の巣箱などを設置し、多様な動植物を見ることができるようになってきた。整備面ではナラ枯れの処理も進んだ。また今年度も小中学生の学校単位での森づくり活動体験や親子の体験活動も実施できた。

●自己評価

当協会会員や地域の協力ボランティアは常に充実しており、参加者不足を心配することはなかった。協働企業については説明や活動内容の見直しを行っていききたい。

●参加者の声

・森は手入れをしておけば安全で楽しいということが分かった。(小学生男子)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.1ha	139本	5.7ha	1.0ha	961人	160人	1121人
樹種：クリ、サクラ、アスナロほか						
実施場所：宮城県利府町(県有林)						



クリ、サクラ、アスナロほかを植樹

「赤西溪谷・水源の森」保全事業

(特非) ひょうご森の倶楽部

神戸市中央区中山手通

●事業概要

企業および森林管理署と協働して森林整備や教育研修などを行い、環境林、水源かん養林の保全活動を行う。主な活動は以下のとおりである。①国有スギ人工林の間伐、間伐材利用のベンチ作り、遊歩道の清掃整備。②森林環境教育。③森のめぐみを楽しむ活動。④県内環境学習施設が募集した一般市民による森林環境学習。

●事業成果

この保全活動も10年目の節目を迎え、企業、NPO、森林管理署による保全活動の基盤がさらに確立された。新たな取り組みにより、企業の従業員とその家族に森のめぐみに親しむ楽しさを実感してもらえた。また、企業の新入社員研修の一環として利用されることにより、企業の環境貢献イメージの向上にも寄与している。

さらに今年度は、県内の環境学習施設によるエコツアーを受け入れ、子どもたちに森林環境学習の場を提供した。

●自己評価

現在の活動エリアが、国定公園、保安林であり、森林整備系の活動に一定の制限がある。このことから、森林管理署と調整の上、昨年度に引き続き対象地域外の森林で間伐作業を実施した。一般市民を対象とした森林環境学習は、環境学習施設が募集したエコツアーを通じて、参加者のさらなる広がりを実現することができた。ほぼ当初の目標に沿った活動ができたものと判断する。

●参加者の声

・作業する全員が協力して役割分担を果たすことの大切さがよく分かった。(間伐作業に参加した新入社員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	歩道改修	県内	県外	計
0.5ha	200m	161人	91人	252人
実施場所：兵庫県宍粟市（赤西国有林）ほか				



スギ人工林の間伐

岡山水源の森整備事業

グリーンOB会

岡山県津山市福田

●事業概要

岡山県の里山を豊かな生態系と、美しい景観を有する森林に誘導するための、広葉樹の植栽や下刈り、歩道整備、マツクイ虫被害木の伐採等、市民ボランティアの参加を得て、保水機能を高めるとともに生物多様性の森林づくりを行う。

●事業成果

①前年度までの成果成(19～29年)

初年度、伐採から地拵植付下刈と企業ボランティア参加を得て実施し、翌年度からは、歩道刈払整備、下刈りと実施。ここ数年企業ボランティア参加の参加がなく、歩道刈払、下刈等の管理保全実施。

②今年度新たに得られた成果等

今年度は企業ボランティアの参加はなかったものの、歩道刈払、下刈り、枝払いなどを実施。

●自己評価

植栽木の成長は、残木及び周囲の木の成長により不良、歩道及び区域管理を実施したい。

実績とりまとめ表

作業内容
下刈面積
0.25ha
実施場所：岡山県美咲町



歩道の刈払を行った

岡山県日本リスの森整備事業

グリーンOB会

岡山県津山市福田

●事業概要

マツクイ虫の被害により、穴のあいた所に広葉樹の植栽、残された広葉樹の中から、有用広葉樹を守るための除伐・ツル切り・管理道の整備を、企業及び市民ボランティアの参加を得て、保水機能を高めるとともに生物多様性の森林づくりを行う。

●事業成果

①前年度までの成果(平成19～29年)

初年度、作業道刈払、伐採から地拵植付下刈と企業ボランティア参加を得て実施し、翌年度からは、作業道刈払、下刈りと実施。ボランティア参加者と順調に生育した植栽木を眺めながら、心地よい汗を流した。ここ数年企業ボランティア参加の参加がなく、作業道刈払、下刈等の管理保全実施。

②今年度新たに得られた成果等

管理保全作業のみを行った。

●自己評価

植栽木の成長は良好、作業道及び区域管理、今後は下枝払いも実施したい。

実績とりまとめ表

作業内容	
下刈面積	作業道管理保全
0.65ha	400m
実施場所：岡山県美咲町	



下刈り

水源地保全活動

美和木材協同組合

茨城県常陸大宮市鷺子

●事業概要

水を生み出す森林を保全するため、企業ボランティアが森林整備と、環境活動、環境教育、森林散策等を実施し森林保全の意識の向上を図ることを目的としている。

企業ボランティア等が、平成17年から毎年森林整備活動を実施してきたが、今回は、混んでいる部分の間伐作業や遊歩道刈払、林内整備、森林教室等を実施した。

●事業成果

間伐作業等を体験することによって、森林整備の重要性や大変さが分かった。

●自己評価

活動を始める前に、間伐を実施する目的や林内整備をする目的を丁寧に説明し、これらを実施することが本事業の目的である水源地の保全にいかに関与するかを理解してもらうことに努めたので、水を生み出す森林の大切さが分かってもらえたと思う。

●参加者の声

- ・森林整備の重要性と間伐作業の大変さが分かった。
- ・自然の中で汗をかき気持ちよかった。
- ・集団で作業することによって新たなコミュニケーションが生まれた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
間伐面積	林内整備	県内	計
0.5ha	0.6ha	40人	40人
実施場所：茨城県常陸大宮市			



間伐体験

南足柄で進める企業の森づくり 体験活動事業

(公財) かながわトラストみどり財団

横浜市西区岡野

●事業概要

神奈川県西部、南足柄市に位置し、神奈川県が進める水源協定林契約地と隣接している。活動は、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりを目指すとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深めるため、間伐などの森林づくり活動、自然観察会等の環境教育活動などを行うものとする。

●事業成果

今年度は、初年度ということで、フィールドの散策・森林機能などの話を行い、今後の活動に向けての理解を求めた。また、11月にはフィールドの入り口に看板を設置し、開所式を開催した。その後記念植樹を行い、この企業の活動拠点となるフィールドの除伐作業(アオキ)を行った。この除伐作業で広場ができた。参加者にとっては、間伐や除伐作業を行うことにより、森林作業の大変さや一体感・達成感を味わえたのではないかと思います。

●自己評価

今年度の計画は達成できたと思う。広葉樹林や針葉樹林があるフィールドなので、今後のメニュー(継続関連性のあ)作成をしようと思っている。

●参加者の声

- ・間伐の大変さが身にしみて分かった。
- ・こういう森の中に来るのは初めてだったか、アオキの伐採を行い、伐採前と後を見ると達成感を感じた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	除伐面積	間伐面積	県内	計
3本	0.9ha	0.3ha	109人	109人
実施場所：神奈川県南足柄市				



シイタケの駒打ち

「積水化学の森・うきは」 生物多様性保全の森づくり

うきは市森林セラピー実行委員会

福岡県うきは市浮羽町

●事業概要

うきは市は、森を企業とのCSR活動「生物多様性保全の森づくり」を担うフィールドとして活用し、企業との連携による森づくりを進めることを目的としている。

今年度は、生物が賑わい、多くの人々が訪れて森と親しむ「生物多様性保全の森づくり」に繋がる取り組みとして、下記の活動を実施した。

①植樹地の下刈り・ツル切り作業。②森林セラピー遊歩道や植樹地への木材チップ敷設作業。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成25～29年)

水源の森保全の活動として、植樹地の下刈り・ツル切り作業及び森林セラピー遊歩道や植樹地への木材チップ敷設作業を実施した。また森林保全の講話を行った。

②今年度新たに得られた成果等

例年行っているメニューに加えて、階段設置等の作業も行った。活動を通して、森林に対する知識も多くなり、さらに森への愛着も深まった。

●自己評価

森づくりに興味を持っていただけるような、ストーリー性のある体験内容の工夫が必要である。また、活動範囲を拡大していき、さらに有意義な活動を実施することで、より多くの方々に森林保全等について伝えていきたい。

●参加者の声

- ・山間部が多くの人で賑わい、森林に興味をもってくれる人が増えて嬉しい。(地元参加者)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
下刈面積	県内	県外	計
0.3ha	67人	1人	68人
実施場所：福岡県うきは市浮羽町			



チップ敷設

「能勢菊炭を子どもたちへ」 クヌギ里山再生計画

(公財)大阪みどりのトラスト協会

大阪市住之江区南港北

●事業概要

能勢町は、お茶席に使われる菊炭の産地だったが、現在炭焼きを生業としているのは、今回指導いただいた小谷義隆氏のみである。地域の里山文化を次世代に継承するため、地域の幼稚園児と保護者によって、菊炭原料となるクヌギの植樹と、炭焼きに関する体験学習を行った。

●事業成果

植樹地は幼稚園から歩いて来られる距離にある。折を見ての園児や保護者の来訪も期待できる。

植栽してから最初に炭の原料となる太さに成長するまでに、およそ20年、その後8～10年周期で炭の原料になる予定。持続可能なエネルギーに関する学びを、園児や他の参加者が体験を通じて学ぶ機会が持てた。

●自己評価

園長先生より「思った以上に保護者が積極的に参加してくれた」との言葉があった。植樹の機会は訴求力がある。クヌギの成長が園児の成長と相まって、地域の里山保全の関心へと結びつくことを期待したい。

●参加者の声

- ・クヌギしか菊炭の模様にならないことがわかった。(園児)
- ・ホームセンターの輸入炭と、日本の里山で焼いた炭の由来の違いが勉強できた。(保護者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	除伐面積	府内	計
200本	2ha	39人	39人
樹種：クヌギ			
実施場所：大阪府能勢町			



クヌギを植樹

「みたけ木曾川水源の森づくり」活動

みたけ木曾川水源の森づくり実行委員会

岐阜県可児郡御嵩町

●事業概要

目的は、木曾川流域の里山において企業の社員や家族、地域住民等が森林や環境について学びながら、水源林の整備を行うものであり、主な活動は、除伐、ササ刈り、育樹、選木などである。

平成30年度は5月12日及び10月13日に次の活動をした。

①森林整備(除間伐0.1ha)、②選木教室(参加者が自ら伐採する木と残す木を選木できるように教室を実施)、③間伐材の活用(協定地内のヒノキを伐倒し、その材でベンチの製作を実施)。

●事業成果

除間伐を行い森林内に光が差し込み、散策範囲が広がった。地元の森林ボランティアとの協働作業により地域交流ができた。選木などにより参加者の森林整備に対する理解が深まった。町の広報誌などに活動が紹介された。

●自己評価

森林インストラクターを中心として直接作業を指導するスタッフ及び森林ボランティアと連携して参加者に対し活動支援ができた。選木等により整備目的が理解でき、意義ある活動となった。作業場所付近までは車両乗り入れが困難な場所であるため、作業時間の確保が課題であった。

●参加者の声

- ・森の中が整備されていくにつれて、すがすがしい気分になった。
- ・暗かったところが明るくなり、整備目的が分かった。
- ・次回も参加したい。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
間伐面積 0.2ha	69人	36人	105人
実施場所：岐阜県御嵩町			



林内整備

「大阪府ENEOS友好の森」 森林整備事業

大阪府森林組合 南河内支店

大阪府河内長野市高向

●事業概要

手入れが行き届かず荒廃が進みつつある私有林（スギ、ヒノキ）をノコギリを用いて除伐作業を行った。その際、安全面に留意しながら専門家の指導を受け、整備するための道具の扱い方を覚えてもらった。また、作業中に森林に関する話をしながら作業を行ったので、自然を守る意識も向上させる事ができた。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成25～30年）

除間伐作業を共同で行う事でメンバー間の連携を図り今後の仕事に活かしていチームプレイを培った。また、森林整備を行う事で自然に対する意識の向上を図った。

②今年度新たに得られた成果等

活動するメンバーが増え多くの方と活動ができた。

●自己評価

安全対策を徹底的に行ったため、ケガもなく作業を行えた。

大都市圏の住民に森林整備を行ってもらう事で自然に対する意識の向上を図れた。今後、子どもにも参加してもらい自然に対する意識向上を図りたい。

●参加者の声

- ・初めての間伐作業だったが、説明を受けながら楽しく良い経験となった。(40代男性)
- ・急斜面に驚いたが、伐採作業の過酷さを体感した。昔の人は偉いと思った。(20代男性)
- ・大満足です!(20代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
除伐面積	間伐面積	府内	府内	計
0.7ha	0.7ha	78人	2人	80人
実施場所：大阪府太子町				



間伐体験

和木町協働の森づくり事業

和木町里山研究会

山口県玖珂郡和木町

●事業概要

本事業は、「豊かで美しい森林づくり」と「地球環境の保全」を目的とし、和木町里山研究会が主体となって地元企業のJXTGエネルギー株式会社麻里布製油所の社員や家族、OB及び和木町、山口県の職員ボランティアと協働で町有林約7haの整備を平成23年から継続している。

●事業成果

①前年度までの成果等

多くのボランティアが参加して事業を実施したことにより、適度な日の差す美しい森林によみがえった。

また、小学生を対象としたシイタケ植菌体験では、森の恵みを実感するとともに森林の大切さを考え学ぶ貴重な機会となった。

②今年度新たに得られた成果等

今年度は事前に会員がシイタケ用原木を切り出して準備することで経費を削減することができた。また、チェーンソーの扱いについて指導も行うことができた。

●自己評価

事業はほぼ計画通り実施できた。

ヤマモモ林の除伐作業等を通じて、里山研究会会員と参加者が交流を深めながら、技術や森の知識を伝達することができた。今年度はヤマモモが豊作で「和木町生活改善実行グループ連絡協議会」の女性たちが、ヤマモモジャムづくり体験を開催していた。

●参加者の声

- ・毎年参加しているので、カマやナタの使い方がうまくなってきた。今後も参加したい。(20代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
下刈面積	除伐面積	シイタケ植菌	県内	計
2.0ha	1.0ha	50本	169人	169人
実施場所：山口県和木町				



下刈り

さいたまの森林づくり支援事業

(特非) 埼玉森林サポータークラブ

さいたま市浦和区高砂

●事業概要

県内において森林ボランティア体験事業（植樹、間伐、下刈り）を実施する企業や学校等に対し、安全に活動できるよう支援・指導する。これにより地球温暖化防止のための森林整備が進み国民参加の森林づくり運動に寄与することを目的とする。

●事業成果

①昨年までの成果等

企業の職員や家族などが行う森林ボランティア活動を支援することによって、参加した多くの人々が森林に親しみながら森林の持つ力について体感し学ぶことができた。また、県内の高校生や小学生が植樹や間伐などを行うことによって森林づくりの大切さや樹木に対する興味を持たせることができた。

②今年度新たに得られた成果等

今年度は、一般公募による植樹体験作業を開催し高齢者でも作業ができる場所を設定したため、参加した多くの高齢者の方々に喜ばれた。

●自己評価

小学生及び都市部の企業職員やその家族に対し、安全な森林体験活動をしていただくことができたとともに、森林の大切さを理解していただくことができた。

●参加者の声

- ・木を切る体験ができ嬉しかった。自分の育った越生の自然を守っていきたい。(小学生)
- ・将来の武蔵野の雑木林の姿が思い浮かべながらの作業ができ嬉しかった。(植樹参加者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
3.4ha	515本	3.3ha	268人	55人	323人
樹種：ヤマザクラ、コナラ、イロハモミジ、ヤマグリ、アカマツ					
実施場所：埼玉県桶川市、三芳町、越生町、長瀨町、小川町					



ヤマザクラ、コナラ、イロハモミジほかを植樹

福を呼ぶ「フクギさんぽ道」プロジェクト

(公社) 沖縄県緑化推進委員会

沖縄県南風原町字新川

●事業概要

那覇市では、都市緑化を推進するため、昭和58年に市民公募によりフクギを市木として制定した。

フクギはこれまでも市木として公園内や街路樹等として市民に親しまれてきたが、那覇市内のフクギとしてすぐに思い浮かべられる名所がないのが現状である。

市民が緑に親しみ、那覇市のシンボルとして誇りをもてる「フクギさんぽ道」をめざし、企業の協力を得て、新都心に50年後、100年後の後世にも残る、フクギの散歩道づくりをめざし“福を呼ぶ「フクギさんぽ道」プロジェクト”を実施した。このプロジェクトは、都市部の緑化の重要性をアピールするとともに、平成31年秋に沖縄県で開催される第43回全国育樹祭のプレイベントとして、式典を開催し植樹作業等を行った。

●自己評価

那覇新都心公園内で、沖縄県緑化推進委員会会長、那覇市長、ローソン沖縄代表取締役社長、地域住民を含め約260人が参加した式典が開催され、園路沿い約120mにフクギ、ミニサンダンカなどを植栽した。

参加者は200人を予定していたが、予想を上回る参加者が植樹活動を実施し盛況であった。

●参加者の声

参加者からは那覇都市地域の名所になるとの期待の声が大きかった。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
植付本数	260人	260人
439本		
樹種：フクギ、ミニサンダンカ		
実施場所：那覇市		



フクギほかを植樹

当麻町緑の募金記念植樹事業

当麻町緑の募金記念植樹実行委員会

北海道上川郡当麻町4条

●事業概要

当麻町の木育拠点施設である「くるみなの木遊館」において植樹活動を実施することにより、町民の緑化意識の高揚と潤いある緑豊かなまちづくりの推進を図り、緑の募金の理解を深めることを目的とした。主な活動は以下のとおり。
①エゾヤマザクラ、クルミ、クリなど5樹種を植樹。②「くるみなの木遊館」において、小学生を対象とした木工体験(木工キット作製)を実施。

●事業成果

①前年度までの成果等

当麻ライオンズクラブ単体での実施で、毎年50本程度の苗木を植樹しており、参加者は30名程度。

②今年度新たに得られた成果等

今までは子どもの参加者が少なかったが、木工体験を植樹会のプログラムに入れることで、参加者が増加した。また、周知にチラシを使用したことで、全体の参加者についても増加した。森林組合及び当麻かたるべの森が実行委員会の構成員になったことから、植樹や木工体験等、実施内容の拡充が図られた。

●自己評価

計画はおおむね達成され非常に満足している。植樹場所の土質を検討するなど、いかに植樹木を成長させるかが今後の課題である。

●参加者の声

- ・初めて木を植えて楽しかった。(小学生男子)
- ・木工体験では子どもが楽しくキット作製していたので、植樹会以外での実施もしてほしい。(30代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	道内	計
0.2ha	42本	70人	70人
樹種：エゾヤマザクラ・クルミ・クリ・ミズナラ・ナナカマド			
実施場所：北海道当麻町			



エゾヤマザクラ、クルミ、クリほかを植樹

木曽川・やおつ水源の森づくり活動

やおつ水源の森づくり実行委員会

岐阜県加茂郡八百津町

●事業概要

自然豊かな水源の森を整備し、水源涵養機能を充実するとともに森林生態系や生物多様性について学ぶことを目的として実施してきた。下流域にて生産活動を行うキリンビール(株)名古屋工場の従業員と家族や流域に生活する地域住民及び地元住民が協力し合い、サクラの間伐、地域内の遊歩道の補修作業、下刈りなどの活動を行うとともに間伐材を利用した箸づくり体験などを実施した。

●事業成果

①前年度までの成果(平成19～28年)

下刈り、間伐を実施したことにより、林内も見通しが良くなるとともに太陽の光が地面に届くようになった。

②今年度新たに得られた成果等

今年度も水源の森の保全、整備に努めた。地域住民とキリンビール名古屋工場からの参加者との交流も間伐作業や遊歩道補修、クラフト体験を通して実施した。また、サクラに特化した育樹の講習会を実施した。

●自己評価

交流を引き続き実施することができた。また、クラフト体験等により新たに参加された方々に木とふれあう楽しさや森林整備の重要性に対する理解を深めてもらった。

●参加者の声

- ・クラフト体験や整備活動はもちろんだが、森そのものが子どもたちにとって新鮮だったと思う。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈	間伐	県内	県外	計
11ha	1.8ha	178人	80人	258人
実施場所：岐阜県八百津町				



下刈り

自伐型林業による製紙用パルプ材供給体制整備モデル事業

(特非) 持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会

東京都渋谷区松濤

●事業概要

目的は、企業×自治体×地域等のステークホルダーにメリットを享受できる協働システムづくりを構築し、優れた環境保全型林業と需要側原料供給の拡大、新規就労の同時展開を図ることである。

主な活動は、養父市をフィールドに中山間地農業と自伐型林業の兼業化が推進されるためのモデル活動の創出。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28～29年)

緑の募金事業では岩手県北上市、鹿児島県出水市にて地元企業と連携しながら、モデル構築を進めてきた。

②今年度新たに得られた成果等

地域の小規模林業を推進するキーパーソンが発掘でき、行政、市民のネットワークが形成された。養父、朝来にて自主的に地域の山林所有者と交渉し、持続的な森林経営を目指す動きが生まれている。

●自己評価

当初想定した市民への呼びかけ広報やモデル活動創出のための研修は予定通り実施できた。自伐型林業は小規模ではあるが安定して材を供給していれば、木材需要に対応できる可能性がある。

●参加者の声

・安全面、技術面ともに参考になりました。実践的な林業技術を学ぶことができました。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数			
	県内	県外	計	
間伐面積	1.5ha	122人	25人	147人
実施場所：兵庫県養父市、多可町				



チェーンソー講習

多摩動物公園 豊かな里山の森づくり

(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

●事業概要

多摩動物公園内にある雑木林は、人の手が入らなくなることによって木々は太く化し、常緑樹やササで覆われた森となっていました。本プロジェクトでは、従来の里山環境の復活と生物多様性保全を目的に、多摩動物公園内雑木林「ライオンの森」にて、森林整備活動としてササ刈りと落ち葉ためづくりを行った。また、自然体験プログラムとして「樹名板づくり」を行った。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26～30年3月)

散策路周辺のササ刈りを実施、多くのボランティアの参加があったため広範囲の活動をすることができた。その影響もあり、間伐がしやすく、明るい林内環境の創出につながった。間伐材は、階段や散策路の整備などに活用した。これらの活動によって、森の中に入りやすい環境をつくることができた。

②今年度新たに得られた成果等

間伐をしたことで新たに作業できるようになったエリアのササ刈りを行うことができた。また、樹名板を作ったことで木々について学ぶきっかけを提供できるようになった。

●自己評価

雨天により午前中だけの作業となった。樹名板づくりと落ち葉ためづくりは完了することができた。今後も積極的にボランティアを呼び込み、作業を継続していきたい。

●参加者の声

・樹名板づくりの時の葉っぱ探しで、葉っぱにもいろんな形があることに改めて気づいた。
・やった成果がわかるので、ササ刈りが楽しかった。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数			
	都内	都外	計	
下刈面積	0.5ha	32人	2人	34人
実施場所：東京都日野市				



落ち葉を集める囲いづくり

3.11 復活の森づくり ～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業

(特非) 森のライフスタイル研究所

長野県伊那市荒井

●事業概要

目的は、津波に飲み込まれ枯れてしまった千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林の復興を進めて被災地住民の生活環境の回復を図るとともに、それを通じて「海岸防災林と住民との共生」を創り直すこと、ボランティア活動の継続である。主な活動は、次のとおりである。①津波の浸水により塩害を受けて枯れてしまった木々の撤去とチップ化处理と敷き詰め及び転圧。②海岸林に適した樹種(抵抗性クロマツ)の植林。③石灰による植栽位置のマーキング。④植えた苗木の生長を風や潮で阻害させないための竹柵の設置。

●事業成果

地域住民と都市部からのボランティアが連携・協力しながら、①津波の被害を受けて枯れてしまった海岸林を地拵えから植栽までを行ったことで、林内の再生が進んだ。②抵抗性クロマツの植栽を行えたことで、病害虫に強い海岸林ができる。③企業の社員ボランティアと共に活動を行ったことで、新しいボランティアの輪が広がった。

●自己評価

計画どおりの面積を整備できた。しかし、震災から7年となり海岸林再生に関心を寄せる人が少なくなってきており、ボランティア参加者の確保に苦心した。

●参加者の声

・2013年から継続して参加しています。今日は息子と参加しました。海岸林が来るたびに広がっていて感動します。次は夏の下刈りを頑張ります。(40歳代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.2ha	2000本	32人	46人	78人
樹種：抵抗性クロマツ				
実施場所：千葉県山武市(県有林)				



クロマツを植樹

ラグビーワールドカップ2019開催を ステップとしたコミュニティの再生を 目指す大槌湾海岸防災林植樹事業

環境パートナーシップいわて

盛岡市厨川

●事業概要

大槌湾に面したエリアの海岸防災林の植樹を広げること、震災後崩れかけた地域コミュニティの再生をめざす。主な活動は以下のとおり。

①震災復興の中での住民主体の活動の応援、②根浜海岸林再生とワールドカップ会場とを結ぶ、あるいは他の活動と連携した活動、③クロマツ苗木づくり、④地元の海浜植物の種まき、育苗、⑤海岸林再生に向けたコミュニティづくり実行委員会、⑥海浜植物の植栽とクロマツ植樹祭。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成27～29年)

県広域振興局や釜石市役所にも参加を呼びかけ、根浜海岸林再生実行委員会を立ち上げ、プレ植樹祭を開催した。

②今年度新たに得られた成果等

海岸林再生実行委員会を7回重ね、釜石東中学校との連携を実現した。全校生徒参加の海岸林授業や海浜植物の種まきやクロマツのポット移植を行った。

●自己評価

中学校との連携が生まれ、向こう3年間の活動を年間計画に組み入れていただくことが決まった。

●参加者の声

・初めて親子でのポット苗づくりに参加したが、思った以上に子どもが楽しんでた。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
植付本数	291人	14人	305人
130本			
樹種：クロマツ			
実施場所：岩手県釜石市(根浜海岸)			



クロマツのポット苗づくり

「岩沼潮除須賀松の森」植樹事業

(公社)宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた岩沼市の海岸防災林について、その再生に向けて地域住民等との協働により植樹活動を行いながら、「みどり」の重要性やその働き等への理解と関心を深めてもらい、海岸防災林再生に対する気運の醸成と、「みどりの文化」の普及啓発を図るもの。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成27～29年度)

被災地の復興に向けた取組に何か関わりたいという団体や個人は多数存在し、自発的な気持ちで、植樹活動に参加していただいた。特に企業においては社会貢献・CSR活動に積極的であり、海岸防災林再生活動は、理にかなった活動であった。

②今年度新たに得られた成果等

参加された団体、個人、企業は、単なる森づくりではなく、海岸防災林のこれまでの歴史やその役割などを認識し、その重要性を学んでいただいた。

●自己評価

今回の植樹活動参加団体(全労済)は、当該地での海岸防災林再生に向けた森づくり活動を5ヶ年計画で取り組むこととなった。計画的かつ確実な活動を通して海岸防災林に関する歴史や被災の状況などを学習していただいた。

●参加者の声

・雨の中での植樹活動は大変だったが海岸防災林の意義が体に染みわたった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植栽面積	植栽本数	県内	計
0.16ha	814本	50人	50人
樹種：クロマツ			
実施場所：宮城県岩沼市(市有林)			



クロマツを植樹

平成29年度東日本大震災復興事業 (被災海岸松林再生植樹祭)

(公社)茨城県緑化推進機構

水戸市三の丸

●事業概要

東日本大震災で被災した海岸防災林の一部のマツ林を再生し、防災林復旧のシンボル拠点とし、茨城の林野海岸60kmに分布する津波や松くい虫で壊滅状態の被災部分を抱えた飛砂防備保安林や防潮林の再生の必要性を県民に発信する活動。①植栽(抵抗性クロマツ、トベラ)。②緑の出前授業。③参加4校の児童生徒による緑の誓い

●事業成果

本県の海岸防災林造成は長い歴史を持ち、茨城方式として各地で採用され、効果をあげているが、近年になり松くい虫被害や東日本大震災の津波被害、潮害等により荒廃が進んでいる。この前浜保安林にマツを地域の子どもたちと一緒に植え、将来にわたる保全の誓いを行ったことで、次世代に植林の重要性を認識してもらうことができ、体験学習と同時に社会貢献活動になった。

●自己評価

防災林マツ林の復活、ひいては地域社会の安定に貢献できたことと同時に、景観の修復に大きく貢献した。神栖市教育委員会の協力をいただき地域の小中学校の生徒350人もの協力を得たが、海岸地域の自然や植生の勉強をもう少し実施したかった。

●参加者の声

・マツを植えるなど貴重な経験できてうれしかった。また、防風や水分保持のための竹垣や敷き藁など昔の人の知恵に感心した。また参加したい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.25ha	2000本	418人	2人	420人
樹種：クロマツ、トベラ				
実施場所：茨城県神栖市				



クロマツ、トベラなどを植樹

旭復興事業2017

(公社)千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ヶ浦市長浦拓

●事業概要

東日本大震災の被害を受けた旭市において、津波や松くい虫等の被害を受けた海岸林(市有海岸保安林)の再生を図り、防災機能を早急に回復するために、植樹による森林の造成を行った。造成にあたっては、森林やみどりづくりの大切さについての普及啓発を図るため、地元小学生による植樹祭を開催した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成24～28年)

平成24年から一貫して、小学生や市民の参加による海岸林の植樹を、「復興植樹祭」として実施してきている。これまで、余り意識して考えたこともなかった海岸林について、重要な働きをしていることをPRできた。

②今年度新たに得られた成果等

震災から6年が経過し当時の記憶が薄れつつある中、海岸保安林の造成を行うことにより、地域住民に改めて海岸林の重要性を思い起こさせることができた。

また、震災当時の記憶がほとんどない近隣の小学生が植樹祭に参加することにより、緑の大切さや海岸保安林の防災機能などについて、実際の現場で学ぶことができた。

●自己評価

森林づくりの大切さや津波への防災意識の高揚などを図る上で、引き続き、地域住民や子どもたちとの植樹イベントを実施することが重要と考えている。

●参加者の声

・防風林や減災林として役立ってほしい。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.09ha	687本	35人	35人
樹種：抵抗性クロマツ			
実施場所：千葉県旭市			



クロマツを植樹

震災復興植樹祭INさんむ

(公社)千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ヶ浦市長浦拓

●事業概要

目的は、東日本大震災に伴う津波や松くい虫により失われた海岸防災林の防風等機能の回復を図るため、地元の小中学校、PTA、その他市内の団体等と連携して、抵抗性クロマツにを植栽し、海岸防災林を造成するものである。主な活動内容は、次のとおりである。①クロマツの植栽。②森林環境教育の実施。

●事業成果

多くの地域住民が参加して植樹等の作業したことにより、津波による根返り・幹折れ木、流木の散乱箇所がきれいに整地され、海岸防災林として生まれ変わった。

また、作業や森林環境教育の実施によって、普段、森林と触れ合う機会が少なかった参加者も森林の重要性や海岸防災林の働きについて学ぶことができた。

●自己評価

計画通り植樹できた。作業中の反省点としては、ハンマーやスコップなどの数を昨年より増やしたが、予算の関係で十分ではなかった。

次年度は、より多くの参加者に集まっていただき、この事業の内容を一層充実させていく必要がある。

●参加者の声

・自分で植えたクロマツが1年でどのくらい育つのかを見るのが楽しみ。(小学生)

・今まで、子どもにこういった体験をさせたことがなかったので、良い体験になった。(主婦)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.2ha	2000本	223人	223人
樹種：抵抗性クロマツ			
実施場所：千葉県山武市			



クロマツを植樹

白子町海岸保安林再生植樹祭

(公社)千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ヶ浦市長浦拓

●事業概要

町の海岸部に広がる海岸保安林において、潮風や飛砂等に対する遮へい能力を高め、生活環境の保全形成を図るなど森林の防災機能を再生させるため、植栽基盤整備及び植栽を行うものである。主な活動は次のとおり。①潮害や松くい虫などの被害により、かん木等が生えやぶ地となっている海岸保安林を、植栽ができるように刈払い、整地等整備。②白子町みどりの少年団の中学生(町立白子中学校の生徒)による抵抗性クロマツを植栽。

●事業成果

関係者が一体となり、1本1本丁寧に植栽することにより、海岸保安林の役割や重要性、緑の大切さを実感するとともに、保安林としての防災機能の強化が図れ、次代を引き継ぐ海岸保安林として生まれ変わった。

また、町の公報誌の表紙を飾ったことから、町住民へ海岸保安林の重要性について、改めて周知することができた。

●自己評価

保安林としての防災機能の向上を図る中で、当初の計画より面積・本数が減少となったが、緑化の推進及び防災機能・保健機能の強化ができた。

反省点としては、植栽地の土質は海砂のため、植栽木が確実に活着するよう、土壌改良や保水等の対策を考えておくべきであった。

●参加者の声

- ・震災から7年が過ぎ、植栽した3月12日に新たな一歩を踏み出した気がする。
- ・日程が卒業式のあたりだったので、記念になった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.1ha	1000本	123人	123人
樹種：抵抗性クロマツ			
実施場所：千葉県白子町			



クロマツを植樹

みやぎ山元地区海岸防災林再生活動

(特非) 生命と環境保全

宮城県白石市上久保

●事業概要

【目的】3・11東日本大震災大津波で被災した海岸防災林の再生を目的とした再生活動。

【内容】被災地住民と町の外からのボランティアとの協働で植樹や下刈等保育管理を行っている。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28～29年)

重粘土を含む山砂で造成した植栽基盤では、幼樹の初期生長の確保が難しいと考え、深土耕を施し、発生した山砂に有機物を混入・埋め戻しを行い有効土層を確保し、残土で植栽マウンドを造成。

②今年度新たに得られた成果等

台風24号でツリーシェルターが傾き、シェルターから上に出た枝葉に潮風害の兆候がみられるが、シェルター内部は影響を受けていない。当分の間観察を続けたい。

●自己評価

- ①計画の達成状況：植樹・育樹ともに計画通り実施した。
- ②今後の課題：若者でさえ敬遠する炎天下で下刈作業を行う上で、熱中症対策に苦慮している。来年も酷暑の夏が訪れるなら、悪影響が憂慮される。

●参加者の声

- ・たのしかった、もっと植えたかった。
- ・本当はもっと地元の人がやらねばなあ。早くマツ林が元に戻ればいいがな！

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.13ha	635本	1.78ha	145人	113人	258人
樹種：クロマツ、サクラ					
実施場所：宮城県山元町					



クロマツ、サクラを植樹

「荒浜・岩沼潮除須賀松の森」 植樹事業

(公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた仙台市及び岩沼市沿岸域の海岸防災林について、その再生に向けて地域住民等との協働により植樹活動を行いながら、失った「みどり」の重要性やその働き等への理解と関心を深めてもらい、海岸防災林再生に対する気運の醸成と、「みどりの文化」の普及啓発を図るもの。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成27～29年度)

被災地の復興に向けた取組に何か関わりたいという団体や個人は、今なお多数存在し、その一環として植樹活動に参加していただいた。県民や企業、団体の海岸防災林に対する関心が高まった。

②今年度新たに得られた成果等

単なる森づくりではなく、海岸防災林の歴史や役割などを認識し、その重要性を学んでいただいた。

●自己評価

当初計画どおりの植樹活動ができた。平成32年度までに海岸防災林の造成工事が完成する予定となっており、植樹活動も収束の時期を迎えつつあるが、成林するまでには相当の歳月を要することから、植栽後の保育管理についても官民協働の体制づくりを検討する必要がある。

●参加者の声

・コンクリートの防潮堤に囲まれて殺風景な景色にクロマツ林を植えて潤いを持たせたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植栽面積	植栽本数	県内	県外	計
0.63ha	3172本	240人	96人	366人
樹種：クロマツ				
実施場所：宮城県仙台市、岩沼市（市有林）				



クロマツを植樹

宮城県東松島地区海岸防災林（浜須賀松国有林）の再生に向けた活動

(一財) 日本森林林業振興会秋田支部

秋田市中通

●事業概要

東日本大震災により被災した海岸防災林について、防災林を管轄する林野庁東北森林管理局と当会が協定を締結し、農地や居住地等に対する風害・潮害の防備及び生活環境の保全等も考慮した海岸防災林再生のための植樹活動を行った。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成24～29年)

平成24年度より「社会貢献の森(林友の森)」として、植樹・保育活動を実施してきた。植栽面積は1.64haである。

②今年度新たに得られた成果等

植栽面積0.39haに抵抗性クロマツ苗木2050本をボランティア164人で植樹。

●自己評価

活動を始めて5年が経過し、これまで植樹した箇所の苗木の生育状態は良好であり、今後10年を経過する頃から松林として震災で壊滅し失われた緑が砂浜を覆うようになると思われ、まさに復興のシンボリック成果として誰しもが認めることになるかと確信する。

なお、植樹箇所は生育基盤盛土造成工事として根の健全な生育を促すため、地下水位から2～3mの地盤高を確保するために重機により踏み固められていることから、植え穴堀は地盤が固くて非常に難儀したのは予想外であった。

●参加者の声

同じ東北の人間として、壊滅的な被害を受けた海岸林を再生させる活動に参加できたことは本当に良かった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.39ha	2050本	160人	4人	164人
樹種：抵抗性クロマツ				
実施場所：宮城県東松島市				



抵抗性クロマツを植樹

松川浦海岸防災林(相馬市大洲国有林) 植樹事業

(特非) DO55

東京都千代田区永田町

●事業概要

目的は東日本大震災で被災した海岸防災林の再生であり、磐城森林管理署管内の相馬市松川浦国有林においてクロマツ苗木を植樹した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28～29年)

両年とも松川浦海岸防災林において防風柵に囲まれた区画に800本の抵抗性クロマツの苗木を適切な間隔で植樹、今回順調に生育していることを確認することができた。

②今年度新たに得られた成果等

今年は3年目の植樹でありこれまでの経験を活かし、また天候にも恵まれ余裕を持って予定の時間内に0.14haの区画に800本のクロマツを植樹することができた。また昨年までに比して国有林全体の盛土・整地が確実に進んでいることを目にして、我々の活動も微力ながら防災林再生に貢献できていることを実感できた。

●自己評価

各々0.14～0.15haの3区画に3年かけて各800本、計2400本のクロマツ苗木を植樹した。今後は下刈り・補植等を通じてこれらの苗木が立派に成長していくよう見守りたい。そのためにも組織の維持、およびこれまでの参加者との継続的な連絡・連携を大切にしていきたい。

●参加者の声

- ・またの機会にもぜひ参加したい。(都内から参加の学生・現地参加の高校生)
- ・被災前後の写真、再生活動の説明が大変参考になった。(都内からの参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.14ha	800本	37人	28人	65人
樹種：抵抗性クロマツ				
実施場所：福島県相馬市(大洲国有林)				



クロマツを植樹

森と街を繋ぐ森の循環プロジェクト

(公社)北海道森と緑の会

札幌市中央区北4条

●事業概要

豊かな森林を未来の世代に受け継ぐため、林業に関わる人だけではなく、広く一般の人たちとともに、「植えて、育てて、利用して」「また植えて、また育てて、また利用する」といった『森林と暮らす』循環の仕組みを作っていくことが必要である。このため、子ども達や一般住民を対象に、植えて育てる森づくり活動や木と触れ合い木を使う木育活動などを道内各地で実施した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年)

森づくり活動や木と触れ合う機会を通じて、参加者は木を植え・育てることの大切さを実感し、森づくりへの参加意欲が高まることに繋がった。また、木育ひろばでは、親子で木と触れ合うことで、森や木を身近に感じ、森や木への理解が深まった。

②今年度新たに得られた成果等

道央圏から道東地域まで広域で事業を実施し、都市住民だけでなく地方住民にも参加機会を提供して、木育への理解促進に繋げた。また、事業実施に当たり、地域で活躍する木育マイスターなどの人材との連携強化が図られた。

●自己評価

森づくりや木育体験の機会を提供できた。今後も事業内容や周知方法を検討するとともに、参加者の安全確保に努め、より多くの人に参加できるよう実施していきたい。

●参加者の声

- ・適切な指導により体験を通じて森づくり活動への関心、木育への理解が高まった。

実績取りまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	下刈	道内	計
86本	0.3ha	2006人	2006人
実施場所：北海道札幌市、岩見沢市、苫小牧市、帯広市、江別市、恵庭市、遠軽町、当別町、長沼町			



子どもたちの植樹

札幌市澄川都市環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業

(特非) 北海道森林ボランティア協会

札幌市豊平区平岸

●事業概要

外来種ニセアカシア除去後に郷土樹種を植栽して自生樹種の復興をめざしている。訪問する子ども達の安心安全を念頭に森づくりを行っている。①整理伐で生じた16ヶ所のギャップ地の整理・地拵え・ササ刈りを終えて郷土樹種を植栽した。②ニセアカシアヤツルに覆われて中折れ木の処理は完了し生じたギャップ地を整備して植栽を行っていく。③中流木道橋の修理は完了した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年7月～平成29年6月)

ニセアカシアの整理伐(含む巻枯らし)施業は終わりギャップ地の整備を開始。上流木道橋の修復でリヤカーでの機材搬入が容易になり、危険木・傾斜木処理の効率が向上した。

②今年度新たに得られた成果等

ニセアカシア整理伐後のギャップ地に郷土樹種のイタヤカエデ、ミズナラ、ヤチダモ等を植栽した。

●自己評価

スケジュール通りに進んでいる。ニセアカシア整理伐後のギャップ地への植栽は継続し、郷土樹種復興のために作業道整備に着手する。

●参加者の声

- ・ギャップ地の植栽では自然発生を期待してha当たり1000本の疎植え施業に対して植栽苗と実生苗の共生が楽しみ。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	道内	計
0.2ha	220本	0.8ha	4ha	862人	862人
樹種：イタヤカエデ、ミズナラ、ヤチダモ、アカエゾマツ					
実施場所：札幌市澄川(都市環境林)					



ニセアカシア整理伐後に地拵えを終えた場所

植樹会と間伐材利用イベントを通じた、富良野の森づくり人づくり事業

(特非) C・C・C富良野自然塾

北海道富良野市下御料

●事業概要

富良野と広域の住民とともに地域に豊かな森林環境を残すことを目的とした植樹会と間伐材利用イベントを計8回開催し、元ゴルフ場の緑化推進及び地球環境への意識を高める環境教育事業を実施した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26～28年)

元ゴルフ場のフィールドに5000本以上の木を植えた。継続して参加する人が増え、森を育む意識の広がりや教育的効果が得られた。

②今年度新たに得られた成果等

北海道を代表する自然ガイドを招いて植樹会を開催し、地球環境を考えながら木を植えることを促した。また、森の成長に伴い、間伐材を利用した新たなイベントにチャレンジした。

●自己評価

助成をいただいて4年目となる今年も、計画通りに植樹会には、子から祖父母世代まで三世代が参加し、子どもは大人の姿を観て学んだ。また、間伐材や落ち葉を利用したクラフトプログラムも開発し、森に対する親近感を向上させることができた。間伐材イベントは、間伐する作業も含めて、引き続き行っていきたい。

●参加者の声

- ・初めて息子と植樹ができました。彼が大きくなった時に、成長した森の様子を見に来たい。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	道内	道外	計
1.2ha	1718本	226人	37人	263人
樹種：ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、ホオノキ、ナナカマドほか				
実施場所：北海道富良野市				



ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモほかを植樹

林業担い手を育てる 自伐林業家養成事業

北海道自伐型林業推進協議会

北海道白老郡白老町栄町

●事業概要

北海道の林業は森林所有者が森林組合や企業へ山林を委託管理が主流であり、高性能林業機械での過度な列状間伐や皆伐施業による林地の崩壊が危惧される。そのため、森林所有者や地域住民などが環境負荷の少ない小型の林内作業車、小型のユンボなどで施業する「自伐型林業」が北海道で求められている。しかし、自伐型林業の指導者は北海道では極めて少なく学ぶ機会もないため、当会で研修事業を主催した。研修はチェーンソー教育、伐倒・造材搬出、作業道研修、広葉樹施業であり、作業道に関しては自主的研修も実施した。

●事業成果

全6回の研修事業には延べ86名が参加した。チェーンソーや林業に関わった事の無い参加者が大半を占めており、自身の山林を所有していない方も多数いた。事業は地元の新聞記事に取り上げられ反響が大きく、自伐林業が北海道でも求められている事を確認できた。参加者は30代～70代まで幅広く特に若者の参加者が目立ち、自伐林業で生計を立てていきたい方が多くいた。また、そのような方々同士でグループを立ち上げ事業を開始した方もおり、ネットワークの創出に寄与できたものと考えている。

●参加者の声

- ・初めてのチェーンソーだったが、講師の的確な指導により初動操作を学ぶ事ができた。(30代男性)
- ・作業道は幅員25m以内を厳守した奈良型作業道を学ぶ事ができた。自分の山でも生かしていきたい。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
間伐面積	作業道	道内	計
0.2ha	150m	86人	86人
実施場所：北海道洞爺湖町、白老町			



伐倒・造材・搬出研修

林業体験活樹祭 ～森と海をつなぐ町はしかみ2017～

三八みらいの森づくり協議会

青森県三戸郡五戸町

●事業概要

木の持つ魅力や機能を知る機会を作ることが大切である。そして適切な管理のもとに伐採された木材を使うことが、森林の持つべき機能を十分に発揮することに必要なことであることを知ってもらう必要がある。

そこで今回、3回目の開催となる「活樹祭」を青森県階上町で実施することとした。

主な内容は、間伐作業や枝打ち作業等の林業体験、間伐材を用いたベンチづくり体験、階上町のシンボル木であるケヤキを使ったコースター作りや鉛筆作りを実施する。これらの体験を通じて、ふるさとにある豊かな資源にあらためて気づいてもらい、森を育むことによってその恵みが海にも繋がることを学び共有できる機会としたい。

●事業成果

豊かな森林や海がある階上町で林業体験や木工体験を行うことにより、森林が本来持つ機能を学び、木を利用することによって海も生まれ、子ども達が生まれ育ったふるさとの自然の恵みをあらためて気づき、共有できた。

●自己評価

森林の機能や役割、林業の仕事について普段学ぶ機会が少ない子ども達が、体験を通じて学ぶことができた。

●参加者の声

- ・森に元気がないと海も元気がなくなってしまうことがわかりました。これからは、どちらも大切にしていきたい。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
除伐面積 1ha	42人	1人	43人
樹種：スギ			
実施場所：青森県階上町			



伐採見学

吉里吉里の森林再生プロジェクト

(特非) 吉里吉里国

岩手県上閉伊郡大槌町

●事業概要

【目的】 荒廃した里山林を豊かな森に再生させることで、森や海やその流域の自然環境を回復を図り、30年-50年後を見据え、吉里吉里100杉の森に再生し次代に引き継いでいく。

【内容】 ①森林保全整備活動：里山林の保全整備を実施し森林の再生を行う。②薪の生産：間伐材を有効活用し、薪を生産し地域への普及を図る。③「森林教室」：地域の幼・小・中・高生を対象に、吉里吉里の自然の素晴らしさ、厳しさ、美しさを知ってもらい、「この町でくらしたい」と思う心を育て、町の次代を担う人材育成を行う。④「林業学校」：林業技術習得のための講習会を開催し、副業的自伐隣家や次代の林業の担い手を育成する。⑤薪を使ったイベントの開催：「薪の湯まつり」ほかを開催する。

●自己評価

①森林保全整備活動：年間作業面積3.5haを実施、さらに新規開拓面積4.5haが追加された。今後も開拓し作業エリア拡大に努める。②薪の生産：計画を上回り、60tを生産した。③「森林教室」：計画通り8回実施し、主に大槌町内の小中学生延べ250人が参加した。教育機関と連携し、今後も実施していく。④「林業学校」：実地研修及びセミナーで6回実施。⑤薪を使ったイベントの開催：薪の湯まつり、薪まつり、山神まつりの計3回、4日間開催し延べ578名が参加。

●参加者の声

- ・山林に光が差し込み、きれいになって安心した。(山林所有者・女性)
- ・森に動物がいることがわかった。木の名前がわかってよかった。(森林教室参加者・小3女子)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
3.5ha	3.5ha	3.5ha	455人	195人	650人
実施場所：岩手県大槌町					



子どもたちが地域の森林を学ぶ

森林の整備 (地震で崩落した山林の再生事業)

森のなかま

宮城県黒川郡大和町

●事業概要

目的は次の2つである。一つは、平成20年の岩手・宮城内陸地震で崩落した山林の再生。もう一つは小中学生へ自然の大切さを伝えることである。内容は、①これまで植えてきた木の成長を助けるための雑草の刈払い。②ブナ・ヤマハンノキの植樹。③これらの活動を通じて自然の大切さや地震についての伝承。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成23～28年)

累計で1000本を植樹し育樹してきた。確実に森林は再生しつつある。なお、地形や樹種によって生育に差がみられることが分かりその難しさと今後の育樹の方法が分かった。育樹活動は、三陸の中学生への環境教育にも活用してきた。

②今年度新たに得られた成果等

今年度は、植樹にあつては、前年までの経験から樹種を絞ることができた。また、水はけ対策も取った。植樹後一ヶ月のブナの活着は、ほぼ100%である。

●自己評価

①育樹や植樹は目標どおり100%の達成率。今後しばらく刈払いが必要となる。課題はやはり予算。②石巻市立青葉中学の植樹体験が荒天の為できなかった。ただし同校に対し合宿先の栗原市花山で講話はできた。

●参加者の声

- ・中学生の植樹が荒天で中止になったのは残念だったが、自分たちが水抜き溝を掘りながら植えられてよかった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
2ha	200本	4ha	33人	33人
樹種：ブナ、ヤマハンノキ				
実施場所：宮城県栗原市花山				



ブナ、ヤマハンノキなどを植樹

森林の整備（離島の森の回復事業）

森のなかま

宮城県黒川郡大和町

●事業概要

目的は次の2つである。一つは、荒廃した離島の山林に自然豊かな緑を蘇らせることである。もう一つは、島の遊歩道等の整備活動をしている島民ボランティア活動の支援事業である。主な活動は、次のとおり。

①マツ枯れ等で荒廃した山林に平成20年に植樹をしたが、その木の成長を助けるため周囲の雑草の刈払い作業。②島の遊歩道を維持整備活動しているボランティア団体を支援する為、共同で遊歩道の雑草の刈払い作業。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成20年～28年）

平成20年度植林した広葉樹、そして、その後捕植した耐性クロマツは、徐々にではあるが成長してきた。

当会員も上記山林の整備とともに島民のボランティア団体を支援する形で一緒に遊歩道の整備をしてきた。

②今年度新たに得られた成果等

遊歩道の整備に関し、東日本大震災以来島民に寄り添う形で島民ボランティア団体と共同作業を実施してきた。今年度は以前に増して当会に対する島民ボランティアの皆さんの信頼関係が増した。

●自己評価

島民との信頼関係も強まっている。しかし、島民ボランティアの年齢構成は高く現状のまま活動を継続できるか予断を許さない状況である。

●参加者の声

この活動に参加した有志が観光で民宿に泊まる等この網地島のファンが増えている。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
下刈面積 0.5ha	22人	22人
実施場所：宮城県石巻市		



会員による森林整備

花いっぱい森 コミュニティプロジェクト

ふるさと山の会

山形県最上郡真室川町

●事業概要

「みんなで花いっぱいの森をつくろう」を合い言葉に、花咲く木々、豊かな自然を次の世代に残すべく、毎年、刈払い、植樹を行っている。平成23年より、学識経験者等のアドバイスを受け、季節の花々を楽しめる森を造ろうと活動している。

●事業成果

会員はじめ地域住民等の協力を得て、伐採・刈払い等の準備を行い、第8回「植樹祭」を5月13日に開催した。県内各地域でイベントが重なり、共催の企業の参加がないにもかかわらず32人が参加した。大きく重い苗木をみんな力合わせ植樹場所まで運び、専門家の植樹作業手順と注意事項の指導を受けた後、2～3人1組となり植樹を行った。午前中に40本の苗木を植えることができた。

●自己評価

植樹祭前に会員及び地元の協力を得て準備してきたので、参加者の方々から満足していただいた。計画通り植樹することができた。今後もこの活動を継続し、皆さんに楽しんで参加していただけるよう努力していきたい。里山の成長を多くの人に見守ってもらえることを願っている。

●参加者の声

・山が大好きです。4回目の参加となります。サクラを植えるのが大変でしたが、楽しい1日でした。（女性）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.1ha	40本	0.2ha	44人	44人
樹種：サクラほか				
実施場所：山形県真室川町				



サクラほかを植樹

森林ボランティア育成講座 第12期

森のボランティア茨城

水戸市千波町

●事業概要

(目的) 市民による森林再生の担い手作りのため、森林ボランティア育成講座を通じて継続的に森林整備活動に取り組む森林ボランティアグループの設立を目指す。

(内容) 鹿行地区において森林ボランティア育成講座を29年10月から7回開催したが、受講生が4人と少数であったため、新たに春期講座を募集し受講生11人が30年4月から5回の講座を受講した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成17～26年)

育成講座を11期開催し、修了生156人を送り出し修了生有志による10の森林ボランティアグループを誕生させた。

②今年度新たに得られた成果等

秋期講座受講生4人、春期講座受講生11人、計15人が修了し、うち7人が平成30年7月からのフォローアップ講座(チェーンソー・刈払機を使用した講座)に参加した。10月からは修了生7人により新たな森林ボランティアグループが設立された。

●自己評価

計画に対する達成状況…新たな森林ボランティアグループを設立するという目的は達成できる見通し。

反省点・今後の課題…当初受講生が少なく、二次募集を行うこととなった。今後は地域のニーズを見極めて講座の開催を検討したい。

●参加者の声

・初めて木を伐倒し感動しました。微力ですが森林整備に役に立てればと思います。(受講生)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
講座 2回	15人	15人
実施場所：茨城県鹿嶋市、行方市(市有林)		



スギ・ヒノキ林でのササ刈り実習

茨城県県民の森「スギ採種園の跡地」及び他フィールドの森林整備活動

いばらき森林クラブ

茨城県ひたちなか市高野

●事業概要

県民の森の一部にあったスギ採種園約1haを中心とした全体で約2haの荒れ地の不要木を伐採し、その後に広葉樹を植栽する。併せて、当会の他のフィールド(水戸市あすなろの郷・水戸市森林公園・常陸大宮市花立自然公園・茨城県内の小学校)の森林整備を行う。また植樹活動は情操教育の一環として児童と会員の協働作業を行う。

●事業成果

県民の森では1年間を通して11回の整備活動を実施した結果、雑草の伸びをおさえることができた。以前に植樹したイロハモミジとコブシが良く生育してきたので、剪定作業を行い、またヒトツバタゴの成長を助けるため周囲の雑草を除去した結果、樹高1.5m以上になった。

●自己評価

天候は今年度もほぼ恵まれた。活動回数、参加会員数もほぼ順調で満足な成果があった。植樹においては、穴掘り、施肥、水遣り、支柱方法などについて経験と話し合いにより植樹の技術が向上した。

●参加者の声

・県民の森のスギ採種園跡地は、素晴らしい森林に生まれ変わっていて、当初に植栽されたイロハモミジは立派に成長しています。隣接するツツジ山の整備も実施されることとなり、県民の森の利用者の目を楽ませる憩いの場になることと思います。(県民の森管理者)

実績取りまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
0.2ha	13本	2.3ha	3.2ha	382人	382人
樹種：ナツツバキ、ヤマボウシ、ナツツバキ					
実施場所：茨城県那珂市、水戸市、常陸大宮市、ひたちなか市					



ナツツバキとヤマボウシの植樹(堀口小学校)

補植・名郷（上名栗）植樹プロジェクト

名栗さわらび隊

東京都大田区矢口

●事業概要

目的は、皆伐後、放置された急斜面の山林に広葉樹を植樹し獣害から守ることである。内容は、以下の通り。①雑草に覆われた歩行路を切り開く。②土留めの役割を果たす樹木以外、苗木に日照を与えるために除伐。③主にススキの草刈りを行い、林床の露出を促す。④地ごしらえを行う。⑤植樹ポイントにマーカーを挿し、全体のバランスを確認。⑥ケヤキは、後々の伐倒を考慮して植樹。⑦終わりに「くわんたい」（シカやノウサギなどから幼齢樹を守る保護ネット）を設置。

●事業成果

植樹準備の段階で、歩行路の確保や坪刈りから斜面全体のススキ刈りへの変更など、多くの学習成果が得られた。指導者を依頼することなく自分たちでできる方法で実施した。急斜面でのススキの刈払い機操作は、疲労度が高く、なおかつ危険度も上がった。このような状況下でどれくらいのペースで刈り進められるのかも、体験的に把握することができた。残雪の中の植樹。足元も悪く土も凍っていた。活着率を考え2月としてきたが検討を重ねる。

●自己評価

200本を植えるという目標は達成することができた。近隣グループとの協力や交流も模索したい。

●参加者の声

- ・くわんたいはパーツが多くその手順の悪さを指摘された。苗、袋、支柱、杭等だけ配置する係を設けて対応した。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
1ha	200本	1ha	0.1ha	9人	23人	32人
樹種：コナラ、ケヤキ、モミジ、カエデ、ヤマザクラ、オオヤマザクラ						
実施場所：埼玉県飯能市						



ススキの刈払い

牡蠣を育む海を豊かにするための川上川下連携による森林整備活動

(特非) 地球と未来の環境基金

東京都千代田区神田須田町

●事業概要

目的は、牡蠣（カキ）を育む豊かな海を育てるため、上流の森林を整備するため、広島県呉市安浦町の牡蠣養殖者と野呂山麓の共有山保存会が連携し、水源涵養林の保全活動を行うことである。

主な活動は以下の通りである。①中低木性の樹種が植生している場所で除伐、地拵え、②牡蠣養殖の漁協若手メンバーと共有山保存会会員、地域のボランティアが参加した植樹活動、③海と山の繋がりを体感する環境教育、④植樹した場所の下刈り。

●事業成果

牡蠣養殖者が湾に注ぐ野呂川の水質が牡蠣の生育に影響があることを理解し、上流の森林整備活動に参加、協力してくれるようになった。また共有山のメンバーも、森林整備に熱心に参加してくれるようになった。地域の海と山が連携する体制ができたことが最大の成果である。

●自己評価

ほぼ目標達成できた。反省点としては、植樹の実施時期が牡蠣出荷の最盛期で、参加者が予定より少なくなった。

次年度実施に向けて改善を検討していたが、事業完了後の平成30年7月に西日本豪雨が発生し、植樹地上流で発生した土石流で、植樹地全体が崩壊してしまった。

●参加者の声

- ・美味しい牡蠣が育つには、山からの養分が大切だということを知った。また参加したい。(20代)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.17ha	500本	0.17ha	104人	6人	110人
樹種：ヤマザクラ、コナラ					
実施場所：広島県呉市安浦町					



ヤマザクラ、コナラほかを植樹

相模湖若者の森づくり、知足の森整備活動

(特非) 緑のダム北相模

神奈川県相模原市緑区与瀬本町

●事業概要

目的は、所有者の相続等により所有林の境界線は不明、かつまとまった形での手入れされていない人工林の再生、さらにそのことによる水源かん養林の保全活動を行うことである。主な活動は以下のとおり。①スギ・ヒノキ林の間伐、枝打ち。②同作業地までの作業道整備、草刈り。③コナラ、ケヤキを主体とした広葉樹林の萌芽更新の整理、除伐。④本会の間伐材の積み木を活用した森林広報イベント、イベントを通しての大学研究期間、他市民団体との連携。

●事業成果

地主さんが自身の所有林についての理解が進んだことが一番の成果である。公図、実際の地図、GISを活用した立体的な画像等を組み合わせ、イメージを持ってもらえた。同時に、いくつか所有林にも特徴があるため、それらについて各々どのような施業をしていくかの提案までできている。さらに他の地主さんとの境界線についてもかなり明らかになった。中学生も初めて森に入って作業し、その面白さ、やりがいを感じ、継続的に参加する生徒も増え始めている。

今後の活動も継続して依頼していただいている。課題としては、指導者の確保を検討する必要がある。

●参加者の声

・これまで経験したことのないことをして、自分で考えて行動することが大切だと感じました。ボランティア活動などを通してこれから環境問題について考えていこうと思います。(中学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
除伐面積	間伐面積	枝打面積	県内	県外	計
0.4ha	0.3ha	0.3ha	12人	96人	108人
実施場所：神奈川県相模原市					



中学生の作業体験

森林が世界と地域をつなぐ、国際森林保全ワークキャンプ事業

(特非) ナイス日本国際ワークキャンプセンター

東京都新宿区新宿

●事業概要

①荒廃する森林の状況を実践的な作業で改善し、②特に都市の若者と住民の森林保全への意識と行動を高め、③世界の森林活動との交流・連携も生み出すために、全国24ヶ所で2週間程度の合宿型ボランティア活動を行った。

従来の保全活動にはない種類の成果を示すことにより、こうしたワークキャンプが活動モデルとして全国各地に広がり、また参加したボランティアや住民が保全活動の新たな担い手として活動を発展していくことも期待。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26～27年)

日本人+外国人の国際ワークキャンプ(合宿型のボランティア)を20ヶ所実施。成果も発信することができた。

②今年度新たに得られた成果等

地域の代表者会議を序盤にも行い、それぞれの地域の取り組みを早い段階で共有し、今回の活動に活かす仕組みを作れた。より強固な森林ネットワークの構築ができた。

●自己評価

当初は12県28ヶ所での開催予定が、12県24ヶ所と規模縮小となった。地域ニーズで始まるプログラムなので仕方ないことではあるが、今後は極力開催できるようにしていく。

●参加者の声

・みなさんの支えがあり無事終えることができた。出会いを大切に、学んだことを普段の生活にも取り入れていきたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
16.9ha	10.3ha	18人	246人	264人
実施場所：12県16町				



下刈り

「玉原高原ブナ林の復元を目指したボランティアによる森林整備」事業

(特非) 玉原高原の自然を守り育てる会

東京都国分寺市東戸倉

●事業概要

伐採により天然更新が進まない地域に、郷土広葉樹を植栽してブナ林の復元をはかり、周辺に点在する玉原湿原を含む地域の生物多様性の回復を図ること、森林整備活動を通して環境教育に貢献することを目的としている。主な活動は ①植栽区の地拵え、およびブナ及びブナ林構成樹種苗木の植栽。②地取り苗木・ポット苗づくり。③既植栽苗木の生育阻害要因を除くため、植栽箇所ごと径2mのササ刈り。④既植栽苗木の生育状況の把握。⑤植栽活動や自然観察による、環境教育の実施などである。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成20～平成28年)

これまでにブナ苗木計1929本を植栽した。植栽箇所ではササ刈りを毎年実施し、植栽苗木の82%が生育している。

保育園児のブナ苗木植栽や、一般参加者が自然観察によってブナ林の成り立ちを学んでいる。

②今年度新たに得られた成果等

玉原高原のブナ林を構成する樹種の苗木を植栽した。

●自己評価

大学生、社会人、保育園児の植栽活動および自然教育に貢献した。無事故で計画に沿った作業が達成できた。

より確実なシカ対策の実施が必要となっている。

●参加者の声

・ブナ林を良好な状態に管理することが湿原の保全にもつながると、森林保護活動の大切さを理解した。(20代学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
2.0ha	117本	24人	258人	282人
樹種：ブナ、トチノキ、アオダモ、コシアブラ、ウワミズザクラほか				
実施場所：群馬県沼田市(国有林)				



ブナ、トチノキほかを植栽

長野県北信地域森林整備活動

(特非) 国際ボランティア学生協会

東京都世田谷区宮坂

●事業概要

目的は森を守り、人と森の繋がり軸をつくることであり、主な活動は、①全国の大学生97人と地元の方19人での今回の作業範囲を含む過去2年間で整備した範囲の二次利用提案会の実施、②縦ヶ崎県有林での下刈作業、③長野県長野市若穂での地元の方々と鳥獣害対策として境界域300mの森林緩衝帯整備、④長野市若穂での交流会の実施である。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年)

縦ヶ崎県営林での下刈作業、次年度に除伐する灌木の選定など次年度の活動計画への着手、須坂市の流路工整備、長野市若穂で住宅地や田畑周辺緩衝帯の整備である。それ以外に勉強会によって学生に活動意義や目的を浸透させ、安全管理面のレクチャーも実施した。

②今年度新たに得られた成果等

これまで行ってきた森林整備活動だけではなく今後3年間を通し、地域の方々だけでなく森林とは遠い生活を送っている人々を巻きこみ共に長野の森で活動することとなった。森林が抱える問題や環境問題を身近に捉え関心を持つ人を増やす為に二次利用提案会を実施した。

●自己評価

予定作業範囲を整備することができた。また二次利用提案会で多くの現地の方々が森林問題の必要性や整備した範囲の二次利用案について考えることができたと感じる。

●参加者の声

・想像よりも暑く、体調管理の大切さを改めて実感しました。(大学1年男子)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
下刈面積	県内	県外	計
1.4ha	54人	319人	373人
実施場所：長野県信濃町、長野市			



下刈り

カルチャーセンター周辺急斜面の防災緑地化、およびC棟南野草庭園化事業

サンシティ管理組合

東京都板橋区中台

●事業概要

急斜面に植生する高木を伐採、平成22年に植樹した世代交代植樹14本に加えて本事業で11本の植樹を行い、将来に向けた安全・安心・癒しの緑の樹林を完成する。また、住居周辺の庭園を開墾し、野草を植え込み、雑草の生えない、緑の野草園を完成し、癒しの住環境を整備する。

●事業成果

森林エリアの世代交代植樹および公園エリアの倒木の危険性のあるサクラを伐採し次世代に向けた新しい緑の森づくりを、また、住居周りの野草緑地化を専門学校生や中・高校・大学生に体験してもらい、緑の維持活動の大切さを学んでもらった。

急傾斜地の高木を伐採し、新たに植樹し防災に強い緑の森を完成、また緑の環境づくりを行った。

昨年と同様に、新しい参加者と大学の環境実習の場として提供し、幅広い緑の普及活動を展開することができた。参加者には、作業に入る前に、安全・作業目的・期待する成果などについて解説と説明をした。

●自己評価

事業：計画を完遂することができた。

反省点：本事業の展開の合意形成に多くの時間を要した。今後の課題：下刈り・枝落としなどのメンテナンスを確実に、事業エリアの維持管理を計画的に行う。

●参加者の声

・安心・安全・癒しの緑の森が実現でき、将来に向けた住みよい環境が整った。(住民)

実績取りまとめ表

作業内容			参加者数	
中木枝落とし	伐採	下刈り	都内	計
46本	2本	0.08ha	558人	558人
実施場所：東京都板橋区中台				



急斜面での下刈り作業

アースデイいのちの森

いのちの森

渋谷区代々木神園町

●事業概要

目的は、いのちを大切に持続可能な社会づくりに貢献すること。主な活動は、都市の森/明治神宮の森を会場にした野外環境祭典「アースデイいのちの森」と付随する啓発運動。①いのちと生物多様性を尊重する、社会づくり、暮らしづくり、人づくりに貢献する。②生物多様性の源である水湧き出る豊かな森と生物に触れ、いのちへの眼差しと自然感性を養う。③アースデイ・フェスティバルの開催を通して、上記、及び再生可能エネルギーの利用、生物多様性の保護、自然環境との触れ合いと学びを促進し、普及啓発活動に貢献する。④100年後の緑と生物多様性あふれる東京の姿を想像し、東京都心の森づくりを行う。⑤次代を担う子どもたちへ体験学習の場を提供する。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成19～29年)

明治神宮の森の芝地をメイン会場に、様々なフィールドワークや体験活動を展開している。

②今年度新たに得られた成果等

どんぐり苗を植樹するまでの一定期間育ててもらった「里親制度」の認知度が上がり、里親制度を紹介され初めて来る人やリピーターが現れてきた。行政などの参加が増えた。(2日間 39コンテンツ・延べ7万4000人)

●自己評価

実行委員(出展・出演者)全員がボランティアの為、不安があったが、趣旨賛同者のおかげで開催できた。

●参加者の声

・地球のことを考えられる場と機会になっていました。

実績とりまとめ表

苗木配布	参加者数
シイ、カシ、ナラ	660人
実施場所：東京都渋谷区代々木	



2日間で7万4000人が来場

日向の森 (千葉県山武市・人工林) 保全活用のための森林ボランティア 人材養成事業

(公財) Save Earth Foundation

東京都大田区羽田

●事業概要

平成25年に千葉県山武市と保全協定を結び活動を実施している「日向の森」において、都市住民と地域住民の協働による持続的な森林保全活動を行うことを目的として、森林ボランティア人材の養成を主眼においた取組みを推進した。主な内容は以下の通り。①植栽地の整備活動と、整備済み散策路の保全活動を9回実施した。②間伐・除伐作業実習を6回実施した。③新たな散策路の整備活動を6回実施した。④地域住民(親子)向け森林環境教育イベントを1回開催した。⑤200本のスギを植樹した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成27～28年)

初年度は間伐や下刈りなどを中心に実施したが、H28は自然観察会と保全活動をセットにした活動を行った。

②今年度新たに得られた成果等

地域の親子を対象とした環境教育イベントを企画、定員を上回る申し込みがあった。準備を含め計25回実施した。

●自己評価

イベント・植樹会は認知度の高まりがうかがえた。一方でボランティア人材の養成は、前年+2名にとどまった。

●参加者の声

・チェーンソーや刈払機の扱いを繰り返し練習できるのでありがたい。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.1ha	200本	0.3ha	0.2ha	46人	177人	223人
樹種：スギ						
実施場所：千葉県山武市(市有林)						



植樹会

市民参加の「みんなの森づくり」事業

(一財) みんなの森財団

東京都西多摩郡日の出町大久野

●事業概要

団体所有林を老若男女問わず、多くの人たちが森づくりへ参加できる場所とし、子どもたちが通って遊びながら学んだり、また、広葉樹林を育成し、将来のイメージを共有しつつ、どのように整備していくかなど活用方法考え、作業方法を学んだ。

●事業成果

現在の森林の状態を現実問題として知ることにより、個々が今後の森林への関わり方や活用のイメージを考え、それを情報共有することで、活用する範囲が広がる。また講習会での作業方法や道具の使い方などの習得により、関わる作業範囲が広がり、活動の持続参加につながる。

●自己評価

整備する必要性を実感してもらえたこと、どんな植物が育っているかなど、森林への興味をもってもらえることができ、持続しての参加への期待もできるが、参加するメンバーを都度都度の体験的な参加者にさせないよう、次世代につなげていく取り組みが課題となる。

●参加者の声

- ・樹木の違いを知ることができ、面白かった。(子ども観察会参加者)
- ・森林を守っていくには、植林したり、伐ったり、世話することが大事だとわかった。(指導員講習会参加者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	下刈面積	除伐面積	都内	都外	計
0.1ha	0.3ha	0.2ha	101人	8人	109人
実施場所：東京都日の出町					



作業前に用具をチェック

水源林の保全・整備と 森林の多目的利用の促進

(特非) かながわ森林インストラクターの会

神奈川県厚木市中町

●事業概要

目的は、多くの企業や団体が森林整備に係わり水源林保全への貢献や森林の多目的利用の促進にある。活動は、足柄上郡松田町寄にある「やどりき水源林」等で、除間伐や下草刈り、倒木整理、植樹、土留めや経路整備等の森林整備を行った。また、水源林整備や水源涵養の理解と普及啓発、森林癒やし体験、自然や水生生物観察、丸太切り、間伐材などを利用したクラフト作りなどを行った。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26～28年)

毎年森林整備や森林利活用に多くの参加があり、多様な活動が進められている。間伐や除伐、枝の整理を行った。水源涵養実験、森林癒やし体験、丸太切りほかの活動に多くの人が興味を抱き、森林の多目的利用が促進されている。

②今年度新たに得られた成果等

間伐や除伐体験を増やすため、森林整備と森林利活用との組み合わせたプログラムの展開が他の作業地でもできることが確かめられた。新入社員研修にやどりき水源林での森林整備活動が組み込まれた。

●自己評価

年間に800人を超す参加者を森林に招き、森林整備や森林利活用プログラムを展開することができた。外国人に対応できる人材の必要性を感じた。

●参加者の声

・アオキ除伐が終わった時、鬱蒼としていた森がこんなにきれいになるんだ、手入れは必要だねという声があった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
25本	0.47ha	2.72ha	738人	96人	834人
実施場所：神奈川県松田町、山北町、南足柄市					



間伐後の枝払い

南高尾風景林の整備活動と森林体験スクール事業

高尾グリーン倶楽部

東京都八王子市南浅川町

●事業概要

東京都八王子市南浅川町梅ノ木平国有林、及び同国有林に設定されている部分林、隣接する民有林を対象に森林の整備を行うこと、作業フィールドや宿泊研修施設を活用して森林体験教育を行うことを目的にしている。

●事業成果

①森林所有者と結んだ覚書に基づき、1.6haの間伐を実施、あわせてツル切り、除伐、複層林整備、歩道整備などを行い、健全な森林に生まれ変わった。②体験活動支援は、地域の子どもたち、小中学生～大学生グループ、職場・地域グループなど多様なグループを対象に25回実施し、体験を通して幅広い層に森林保全意識を高めることができた。

●自己評価

①間伐木が大径化しており、安全作業技術の更なる向上が必要である。②体験活動は大変好評で要望も強いので、対応可能な範囲で更に拡充していきたい。③また木材の良さを実感し木材に親しんでもらうため、木工を取り入れたい。間伐材の利用技術の向上が必要である。

●参加者の声

・間伐や除伐のあと森が見違えるように明るくなった。・山を良くするためには木を切ることも必要だ。その木をもっと使うことが大事だ。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	ツル切り除伐	都内	都外	計
1.6ha	2.0ha	1120人	176人	1296人
樹種：スギ、ヒノキ				
実施場所：東京都八王子市				



間伐

山からの間伐材を利用した町の公園整備

森林を楽しむ会

神奈川県川崎市多摩区寺尾台

●事業概要

目的は、ヒノキ林や雑木林の保全のためと間伐材を町の公園の土留め材やベンチ材に活用するため。①スギ・ヒノキ林の過密箇所の間伐、雑木林の不要木の伐採、②間伐後の材の利用（製材・運搬後、小平市の公園内の崩壊防止横架材や杭等）、③木工クラフト用材、④一般市民（希望者）への林業体験や環境学習の紹介。

●事業成果

①昨年度までの成果等（平成11～28年度）

栃木県の山で、主にヒノキ林の間伐や雑木林の除伐を行った。小平市では、中央公園内に間伐材で作ったベンチとテーブルを寄贈。また、土砂が流れやすい箇所の整備や補強。栃木県の山で伐った間伐材を利用した。

②今年度新たに得られた成果等

山では、安全指導等を徹底し技術を習得できるよう研修した。小平市では、ベンチの補修や土留め等の整備も行っている。市と公園管理のアダプト制度を結んだことで、小さい倉庫と道具の提供があった。市からの助成金等はないが、認可されていることで作業はやりやすくなった。

●自己評価

事故もなく20年近くもスキルアップしながら林業作業を続けて来られた。普段、山との関連のない人たちにも、もっと木を使おう、森林に関心を持ってもらうことが大切だ。その意味でも、当会の活動は意義ある活動と思っている。

●参加者の声

- ・山での作業で汗を流すと、気持ちがよい。(50代女性)
- ・もっと木を使う活動がしたい。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	都内	都外	計
1.0ha	0.4ha	2.0ha	41人	79人	120人
実施場所：栃木県さくら市、東京都小平市					



間伐材は公園内で利用

里山ボランティアの安全技能研修

(特非) よこはま里山研究所

横浜市南区宿町

●事業概要

目的は、里山保全活動に参加するボランティアが必要な技術と作業グループの安全管理を実施できる能力を身につけることにより、安全な里山保全整備を推進することである。このため、かつ、安全技能研修を実施する。研修を川井緑地整備の活動に位置づけ、運営に当法人の若手もかわることで、川井緑地の整備の推進にもつながると考える。このため、安全技能研修として、①安全を伝えるためのファシリテーション技術研修、②手工具の安全な使い方と伐倒実習、③動力機械の安全な使い方と草刈り、伐木実習、④伐採した材の玉切り、搬出などの活用実習を実施した。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成28年度）

講習会の参加者が、里山保全活動団体に加入し、活動を開始した。安全意識を高めることができた。

②今年度新たに得られた成果等

昨年度は若手や新人ボランティアを主な対象としたのに対し、今年度は、安全に焦点をあて、ベテランボランティアも研修会に参加した。この結果、作業の悪い癖などの修正、作業手順や安全確認、安全用具の使用の重要性などを再認識することができた。今後、ベテランボランティアの安全に対する認識が高まったことで、活動全体の安全意識が高まっていくことが期待される。一般参加者が作業の安全を学んだことによって、他の活動への波及が期待される。

●自己評価

予定どおりの内容で実施することができた。

●参加者の声

- ・活動の安全を伝えるためにファシリテーションが重要であることを理解できた(60代女性)

実績とりまとめ表

作業内容
里山ボランティア安全技能研修
計47人
実施場所：横浜市



動力機械実習 伐木実習

次世代につなぐ里山づくり

(特非) 里豊夢わかさ

福井県三方上中郡若狭町

●事業概要

一人でも多くの人が里山に関心を持ってもらうために始めた活動で、将来を担う子どもたちに自然環境を守る夢を託している。① 落葉広葉樹の苗木を植栽する第10回ミニ植樹祭実施。② 子どもたちが自然に親しみ、自然環境について学ぶ事業として倒木を利用した体験活動を実施。③ 過去の植栽地の管理作業を通年実施。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26～28年)

植樹活動は獣害との戦いの連続であった。昨年度金網ネットを設置してその害は大きく減少した。

②今年度新たに得られた成果等

幼児の参加が増え、幼少期から自然との関わりを必要と考える大人が増えてきている。

第10回ミニ植樹祭を実施したが、その継続植樹と獣害対策ネットのお陰で植樹木が順調に育ち、全国植樹祭後放置されていた植栽地の植樹活動を終える目途が立った。

●自己評価

ほぼ目的を達成した。反省点及び課題としては、参加者が減少している点である。参加者も幼児・小学校低学年の参加が中心で、事故防止の面から指導者・スタッフの人員を増やして対応せざるを得なくなっている。

借用している里山の植栽地は、後2回でほぼ完了する。今後、環境とかかわる活動をどう進めるかが課題である。

●参加者の声

・今年植えた木も大きく育ってほしい。(小学4年女子)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.5ha	35本	2.4ha	0.6ha	512人	36人	548人
樹種：ヤマザクラ、イロハモミジ、コブシ、ヤマモモ						
実施場所：福井県若狭町						



ヤマザクラ、イロハモミジ、コブシなどを植樹

昆虫の住める森づくり

(特非) 自然とオオムラサキに親しむ会

山梨県北杜市長坂町

●事業概要

目的は、国蝶オオムラサキの日本一の生息地である北杜市の里山林を保全し、未来に伝えるためである。主な活動は、近年高齢化により管理放置され荒廃の一途をたどっている里山林の下刈り、間伐、風倒木の整理やオオムラサキの餌となるエノキ、クヌギの苗を皆伐地に植樹して里山林を再生している。これまでにクヌギ、エノキの苗を9万本植樹し下刈りは50haに及ぶ。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成20年～29年)

管理放置したままの風倒木・枯損木が乱雑に放置され鬱蒼とした里山林が、明るくなりオオムラサキ等昆虫の棲める里山環境に改善され、景観もよくなった。

②今年度新たに得られた成果等

これまでの活動実績が評価され、皆伐地の植樹活動や下刈り活動に協力的な山林所有者が多くなった。林業地域おこし協力隊支援機関に選定され、2人の協力隊が活動に加わった。北杜市に移住した住民の参加が多くなった。

●自己評価

地拵えに労苦が多く進捗が悪い場合があった。植樹活動は、NPO会員の積極的活動に加え地元企業の強い支援や地域おこし協力隊の参加もあって、予定を超える本数を植えることができた。

●参加者の声

・里山を再生する活動に好感を持っていて、作業にやりがいを感じています。(移住してきた住民)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
5.0ha	7770本	20ha	2.0ha	2160人	33人	2193人
樹種：クヌギ、ヤマザクラ						
実施場所：山梨県北杜市						



クヌギ、ヤマザクラを植樹

つつじヶ崎の森 (ふれあいの森) 森林再生事業

(特非) 木netやまなし

甲府市武田

●事業概要

目的は、平成17年の森林火災地の再生であるが、ここでは、平成18年～25年まで「企業の森」として森林再生の活動が行われたにもかかわらず、獣害対策は行われず、その後放置されていたことにより繁茂したタケなどの影響を受け、森林が荒廃したため、再度森林再生の活動を行う。

主な活動は、①植栽及びシカ害防止ネットの設置。

●事業成果

今回事業実施に当たっては、資金的な問題もあるが、シカ害防止策としてあえて全体の地拵えを行わず植栽箇所周辺のみを掘り植栽する方法とした。その為、足場の悪い急斜面での作業となることや、林道の安全管理(倒木等の未処理)の問題もあり、素人での実施は難しく危険であると判断し、会員である林業、造園の専門家の方々に一日ボランティアでご協力をいただいた。

今回、林業、造園の専門家の意見を取り入れ、大苗を植えることで獣害による枯死のリスクを早期に回避し活着率を高めるなど、より効果的な事業になったと感じる。

●自己評価

作業の難しさ、安全管理の観点から一般ボランティアでの実施は控えた。しかし、継続した維持管理の為には人手が入ることが必要であり、そのためには実施地を管理する森林管理事務所と引き続き協議の必要性を感じた。

●参加者の声

・里山再生の厳しさを知った。(造園関係者 30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.6ha	50本	13人	13人
樹種：ヤマザクラ、イロハモミジ			
実施場所：甲府市(大日影国有林)			



シカ害防止ネットの設置

中山間地に人を呼ぶ～身近な里山の 森林資源をプロデュース (地域資源の利活用)

林業研究グループ 大岡森林塾

長野市大岡内

●事業概要

山に関心を持ち山に入る人を増やすことが、地域の里山保全の第一歩ではないかと考えた。そのためには先ず山を楽しむ知識や技術を身につけ、加えて山の価値を知ることが必要である。主な活動は以下のとおり。①「森の健康診断」・「山の棚卸し」ワークショップで持ち山の状態や価値を確認する手法を学んだ。②県の里山整備利用地域制度の概要を聞き、意見交換会を実施した。③天然きのこの知識や山の手入れ法などを学んだ。④木材の搬出用にポータブルウインチを購入。その技術を実践的講習会を行った。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年)

講習会を実施して、安全・正確に伐倒作業を行うための基礎を身につけることができた。

②今年度新たに得られた成果等

山の価値を測りそれを人に説明する手法を学ぶことができた。小規模組織でもある程度の林業活動が可能になる裏付けを得ることができた。

●自己評価

スキルアップが図れた。また、山の価値を知り伝えることの大切さを理解できた。

●参加者の声

・これまで、山にある木の価値を金額に置き換えるという発想はなかった。勉強になった。(60代女性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
ワークショップ、講習会	計
7回	100人
実施場所：長野市、麻績村	



調査木について話しあう

水源の森実験林と多目的広場の設置を進める事業

水源の森実行委員会

岐阜県恵那市中野方町

●事業概要

かつての里山はスギ・ヒノキが植林されたが、木材価格の低迷化で山の手入れはされず、山は荒れてしまった。その森を広葉樹と針葉樹の混交林に戻すための活動である。ワークショップを開き、森の樹種、下層植生の観察をして、森のデザインをイメージしマップに図案化した。スギ・ヒノキを皆伐し、土場と多目的広場を開設した。業者に抜根作業と整地を依頼、わずかに残る木馬道を利用し作業道をつくり、将来的には皆が森に集えるよう整備した。

●事業成果

見向きもしなくなった森に土場や広場ができ、さらに作業道が森の奥につながった。土場や広場のために皆伐作業をしたが、道沿いの電線に接触しないように慎重に伐倒作業をした。皆のチェーンソーの技術は一段と向上し、さらに村の人々が声掛けをしてくれ、村のだれもが山をなんとかしていきたい気持ちが伝わり、我々もさらに間伐作業をしていきたい。ここまでの作業を通して、これからどのように森づくりをしていけばいいのか道筋が分かってきた。

●自己評価

土場、広場、作業道は予定どおりできた。さらにもうひとつの作業道をこれから造る予定である。その二つの作業道をつなぐ木道を将来的に造っていきたい。

●参加者の声

- ・冬の伐倒作業はきつかったが、やり終えた充実感がある。(65歳作業者)
- ・陽光が入って森に多様性が生まれた時が楽しみだ。(55歳見学者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
除伐面積	作業道整備	県内	県外	計
0.25ha	250m	40人	6人	46人
実施場所：岐阜県恵那市				



樹種や下層植生の観察

山と海をつなげる いのちの森づくり植樹祭

(特非) 時ノ寿の森クラブ

静岡県掛川市倉真

●事業概要

目的は、森づくりの重要性を広く社会へ啓発することであり、静岡県掛川市倉真、大沢地区の荒廃民有林の伐採跡地で市民、企業の参加による植樹祭を開催した。当該地区は、昭和50年に集落が廃村となり、それ以降、荒廃が進んでいった。水源林が下流域の環境や防災に重大な影響を及ぼすことを憂い、当団体は2006年から森林再生活動を進めてきた。本事業の対象地も荒廃森林であったが、水源林としての機能を高め、さらに市民が気軽に来られるプラットホームとなる森へ再生させる為、広葉樹の植樹を計画した。樹種は、潜在自然植生に基づく、四季を通じて花や実をつける広葉樹を選定した。地拵えや草刈り等の作業は、当団体の森林ボランティアを中心に実施した。

●事業成果

6月24日に開催された植樹祭では、参加200人に植樹を通じて森づくりの重要性を感じてもらうことができた。

●自己評価

事前準備は計画通り実施し、参加者の誘導に必要な歩道も追加設置することができた。植樹祭当日は、市内外から幅広い世代に参加いただき、広く普及することができた。今回設置した獣害防止柵、効果を検証しながら今後の対策を検討したい。

●参加者の声

- ・今日植えた樹が大きくなる事を願います。(女性)
- ・楽しかった。大きく育てほしい。(小学生男子)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.14ha	2640本	0.14ha	215人	18人	233人
樹種：ヒメシャラほか広葉樹11種					
実施場所：静岡県掛川市					



ヒメシャラほかを植樹

間伐材搬出、利用促進による 森林の整備事業

(特非) 林 林 林

静岡県藤枝市青葉町

●事業概要

目的・静岡県税で森づくり税を徴収し荒廃森林の整備事業を行っている。当該施業地は、平成27年度に整備したが、その際一部間伐が実施されず延期していた。

内容・①林内に散乱していたホダ木の整備。②45%間伐の実施、伐採本数700本。③間伐材の搬出利用。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成28年）

平成27年度、静岡県「森の力再生整備事業」で農道を挟んで沢側は45%間伐を実施し林床には日照が入り森の力は再生されつつある。

②今年度新たに得られた成果等

施業地内に散乱していたホダ木も整備され、平成27年度に施業した林内と同等以上に整備され林床には日照が入り混交林化が期待でき森本来の水源の森として期待できる。また農道を挟んで上部が明るくなったため通りやすくなり、地元からも喜ばれている。

●自己評価

ホダ木の整備及び風倒木の整備と共に間伐整備が実施できたことは地元からも喜ばれているが、作業に携わる人材が不足しており人材をどのように確保するのが今の課題となっている。

●参加者の声

地元への呼び掛けは行っているが、高齢化が進み、思うように参加者が集まらなかった。今後は里山保全ボランティアに参加を促しネットワークを充実していきたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
間伐面積	搬出	県内	計
0.58ha	31.82㎡	13人	13人
実施場所：静岡県藤枝市			



間伐後の森林

大久保地域の竹林・森林整備、緑化推進事業

(特非) OHKUV0

静岡県浜松市西区大久保町

●事業概要

目的は、大久保地域の山林の保全と環境の改善のための整備、緑化活動を行うことである。主な活動は以下のとおり。①地権者を始め、近隣住民に事業の理解と協力を得るための勉強会、講演会（フォーラム）の実施。②山林、竹林の土壌を含めた現場調査をし最適な植樹環境を整えるためのデザイン作成。③植樹のための地盤整備。④植樹祭の実施。⑤看板の制作、設置。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成27～28年度）

竹林がなくなり、日当たりが良くなった。

②今年度新たに得られた成果等

地域住民への説明を丁寧に行った。地盤整備や植樹には多くの地域住民に関わっていただき、土地の活用のイメージを膨らませられた。実施した植樹祭では、多くのボランティア登録が得られた。

●自己評価

住民を集めた勉強会を何度も開催しイメージを共有した。また、地権者には説明に伺い今後どのように活用していくかの理解と協力を得るのに半年かかった。現場でのフィールドワークとしてのツアーを実施した。

地域に多くの人の交流が生まれる環境を作っていきたい。

●参加者の声

・イラストのイメージ通りの地域になっていくことが楽しみ、積極的に協力していきたい。（地域住民・40代女性）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
2ha	220本	600人	600人
樹種：エンジュ、ムクノキ、シデコブシほか			
実施場所：静岡県浜松市西区			



地域住民が参加して植樹祭

循環再生する森にかかわろう！

グリーンボランティア「森林づくり三重」

三重県四日市市小牧町

●事業概要

目的は“森は循環再生する”ことを多くの人達に知ってもらい、我々の活動に理解と協力を得ることである。主な活動は以下の通り。①親子を対象に“森のはたらき”のDVDを鑑賞し、間伐材を使った木工体験を指導した。②企業で働く社員とその家族に林道づくりや植樹などを指導した。③学校林を持つ小学校の5年生に丸太切りや竹を使った工作を指導した。④森林ボランティアの方や企業の社員にチェーンソーの技術を講習した。⑤木工体験の為に材料を間伐作業の中で採取した。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成26～28年）

写真や口頭でボランティアの活動内容や森を守る意義等について説明してきた。

②今年度新たに得られた成果等

今年度はパソコンとプロジェクターを使ってDVD映写を通じて、森のはたらきや重要性、我々人間とのかかわりなどを総合的に伝えることができた。

●自己評価

木工体験では子ども達の反応がとても良かった。チェーンソーの講習会は若い社員の参加者が少なく残念であった。今後は広く市民を対象にした講習会を開催して、我々に続く森林ボランティアの確保の必要性を感じた。

●参加者の声

- ・木工は難しかったが完成できて良かった。(小学2年女子)
- ・チェーンソーで木を倒した時は快感だった。(若い社員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	間伐面積	県内	県外	計
24本	0.2ha	208人	255人	463人
樹種：コナラ、メタセコイアほか				
実施場所：三重県鈴鹿市、四日市市、いなべ市、津市、菟野町				



林内での階段づくり

斎王竹の道「森林再生保全」

(特非) ういの郷クラブ

三重県多気郡明和町

●事業概要

目的は、荒廃林化した人工林（スギ・ヒノキ）及び生産竹林を整備し、林内に埋もれていた歴史古道（斎王参向道）を復興し、一帯を里山親林公園として、活用を図ること。主な活動は以下の通り。①荒廃林内に作業道を敷設、②モウソウチクと雑木の除伐及び人工林の間伐、③竹林の再生保全、④雑木林の広葉樹林化（緑の森公園）、⑤人工林を皆伐し、梅園・果樹園として再生、⑥復興した歴史古道路肩の修景植樹、⑦除伐材の資源化、⑧宮川用水路パイプライン敷のグリーンベルト修景管理、⑨年間を通じて、青少年を核とした森林ボランティアイベントの開催。

●事業成果

①昨年度までの成果等（平成16～28年度）

作業道5か所を敷設し、歴史古道を復興・周辺荒廃森林を再生し、毎年5月に「斎王竹の道まつり」を開催。

②今年度新たに得られた成果等

荒廃竹林の作業道敷設を完成。周辺竹林1.4hを間伐再生する環境を整えた。雑木林の「緑の森公園」造成（5年目）林内に遊歩道を敷設し路肩にサクラ・モミジなどを植栽。タケノコを初めて市場に出荷。

●自己評価

作業内容が多岐になり作業量も増え、高齢化しているスタッフには重荷となっている。自立支援活動事業で作業を習得してもらった。

●参加者の声

- ・間伐で見違えるようになってうれしい。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	樹勢回復	県内	計
0.53ha	170本	460本	1110人	1110人
樹種：コナラ、アジサイ、サクラ、モミジほか				
実施場所：三重県明和町				



サクラ、モミジほかを植樹

森林施業・林業生産等の体験と森林整備

府民の森ひよし森林倶楽部

京都市右京区梅津前田町

●事業概要

目的は、1年を通して府民の森ひよしにて、会員の森林に対する知識と技術向上の為及び、一般参加者による、森林作業の安全指導・技術指導を行い、森林の大切さ、自然と親しむよう各種イベントを開催し、交流を図る事を目的とする。主な活動は以下の通り。①個人が手掛けた山野草苑の開設のため、当地にて数多く指導・協働した。②遊歩道の倒木整備や道路補修。③進入木の除間伐・下刈に時間を取られた。④獣害予防の電気柵補修と追加補正。⑤ローソンと一般市民との協働で、植栽地及び活動拠点の整備。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年～29年)

毎年のように台風・水害の被害で進入路・遊歩道整備を行った。植樹した木々成長の確認や、施肥下刈の成果は感じられた。

会員の為の機械器具の整備・安全講習を徹底した。一般市民にも分かりやすく説明その効果も見られた。

②今年度新たに得られた効果等

個人の手掛けた山野草苑の指導協力を行った。

●自己評価

獣害予防については補強策を検討したい。除間伐・下刈も会員技術向上がみられた。

会員を増やし、より広範囲に作業ができるようにしていきたい。

●参加者の声

・道の補修作業は大変だったが達成感があった。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	府内	府外	計
1.4ha	0.55ha	0.38ha	500人	400人	900人
実施場所：京都府南丹市日吉町					



下刈り

雪害倒木の活用「焰のある暮らし」普及活動

南丹たんぼ組

京都府南丹市八木町

●事業概要

目的は、高齢化した所有者にかわって雪害による倒木を撤去し、その材を薪として活用し、その良さを広めること。主な活動は以下のとおり。①作業地域の草刈りや倒木・タケの撤去、②材を運び出し薪に活用、③薪や木の枝を燃料とするストーブを使った食事会。

●事業成果

区民に当組の活動を知ってもらう機会になった。京都市内の喫茶店から、積極的な協力(募集協力など)を得られた。近隣の林業ボランティア団体に池の倒木撤去作業で助力していただき、林業技術を体験することができた。上記団体と交流できる機会になった。

●自己評価

林業熟練者のアドバイスで急斜面の太い倒木の撤去を見送り、さらに技術を習得してから行うことにした。林業ボランティア団体に入会し、森林調査の参加で林業技術を習得できる機会を得られた。山を手入れしている区民は当組以外にいない。食事会を催したことで、山の手入れが楽しい作業になることを区民に伝えられたことを大きな成果と感じている。

●参加者の声

・日頃体験できない活動が新鮮で、環境整備を通じて役に立っている実感を持てた。(市外からの参加者)

・ロケットストーブを自作して、薪熱調理を楽しみたい。まずは木の枝集めから始めたい。(子供会の保護者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	倒木撤去	府内	計
1ha未満	35本	30人	30人
実施場所：京都府南丹市八木町			



倒木撤去

三嶺の森再生事業

三嶺の森をまもるみんなの会

高知県香南市野市町

●事業概要

目的は、シカ食害によって裸地化し、表土の流出が止まらない高知・徳島県境の山岳地において、ヤシガラ繊維製の土砂流出防止マットを設置することにより土砂の流出を防ぎ、植生の回復をはかる。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成26～28年）

平成26年から昨年まで高知県側に土砂流出防止マットを設置した。過去に設置した場所においては、表土の流出が止まり、そこに周辺から植物の種子（主としてススキ）が散布され、自然の力で徐々に植生が回復している。

②今年度新たに得られた成果等

今年度実施した場所は、県境から徳島県側に入ったところであり、徳島の自然保護団体にも呼びかけ、徳島・高知の連携した取り組みとして実施した。その結果、徳島県側から14名の参加があり、全体で160人を超える参加があった。作業地は足元の悪い斜面であったが、これまでの経験で得られたノウハウも生かし、当初の計画を上回る面積に設置できた。

●自己評価

当初計画では設置面積を約2000㎡程度と想定していたが、参加者が多かったこと、これまでの経験で作業に習熟した参加者が多かったこと、事前の準備ができていたことなどから作業が順調に進み、計画以上の約2200㎡に設置できた。

●参加者の声

- ・現場までの山道はきつかったけれど、多くの参加者と一緒に作業をすることによって広い面積にマットが張れ達成感がある。（高校生）
- ・大勢の力は素晴らしい。今後も参加したい。（60代男性）

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
土砂流出防止マットの設置			
0.22ha	135人	14人	149人
実施場所：高知県香美市、徳島県三好市（国有林）			



マット張り作業。2～3年後にはススキなどが根付く

2反から始める林業体験の場づくり

(特非)山村塾

福岡県八女市黒木町

●事業概要

目的は、小区画の伐採および植林事業を定期的に行う仕組みをつくり、森林づくり初心者が見学できる場をつくることである。主な作業内容は以下の通り。①共有林（4.5ha）との協議、小規模皆伐と再生林の計画づくり。②平成29年度分2反（0.2ha）を選定し皆伐・地拵え。③薪運び出し、④植林イベント実施

●事業成果

①前年度までの成果等

平成19年度から横峰尾共有林と山村塾は連携し、企業や大学などを巻き込みながら「パッチワークの森づくり（15m四方を伐採し、広葉樹を育てる）」に取り組んできた。

②今年度新たに得られた成果等

50～60年生のヒノキを小規模皆伐し、スギを植樹。共有林所有者らと当会において、今後も定期的に小規模皆伐を行い、共有林4.5haを更新していくことを決めた。NPOは林業体験のフィールドを確保することができ、地権者は経済的に管理が難しかった森林を更新する見込みが立った。

●自己評価

植林イベントを地元子供会や企業などに呼びかけしたが、時期的に団体としての参加が難しかった。継続的な小規模皆伐と植林が行えるようになったので、今後は学校や企業などに参加呼びかけを早めに行いたい。

●参加者の声

- ・どんな森になるのか楽しみ。（小学生男子）
- ・動物も喜ぶ森になってほしい。（地権者・70代男性）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.2ha	600本	72人	72人
樹種：スギ			
実施場所：福岡県八女市			



スギを植樹

森づくり事業

わたりグリーンベルトプロジェクト

宮城県亶理郡亶理町

●事業概要

目的は、東日本大震災で失われた海岸林とイグネ（屋敷林）の再生であり、主な活動は、①海岸林およびイグネへの植樹、②苗木の管理育成、③植樹地および残存林の維持管理（下刈りや外来種駆除等）、④担い手育成事業である。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成27～28年）

震災以降、地道に育ててきた苗木を、地域住民や企業ボランティアの力によって、海岸林や町内の住宅の周りに植樹することができた。

②今年度新たに得られた成果等

植樹活動や残存林の維持管理に関するノウハウが蓄積され、作業効率が改善された。また、外来種駆除についても、試験的に実施した薬剤塗布の成果が表れるようになった。各種イベントには、根強いリーダーおよび新規参加者の姿が見られ、当団体や海岸林のファンが増えている。

●自己評価

新規盛土地への植樹はほぼ計画通りに進んでおり、概ね順調と言って良い。残存林の維持管理には危険が伴うため、従事できる人員に限られる。

今後は、植樹済みエリアの巡視および維持管理にも重点を置く必要がある。

●参加者の声

- ・雨天で足場も悪く作業は大変だったが、やりがいを感じた。(30代女性)
- ・2年前に植樹した苗が順調に生長している姿を見られてよかった。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
1.65ha	5045本	4.99ha	373人	268人	641人
樹種：クロマツ、コナラ、ヤマザクラ、モミジ					
実施場所：宮城県亶理町					



クロマツ、コナラ、ヤマザクラほかを植樹

東日本大震災復興支援 緑化木育成

東日本大震災復興緑化支援 100万本植樹活動

千葉県山武市麻生新田

●事業概要

目的：東日本大震災復興支援。海岸防災林の再生活動で①再生地域での樹木の種子採取、幼苗木採取、②ビニールハウス内で苗木の生産、育成、③海岸防災林での植樹、④植樹後の下刈り等の保育、土壌改良、⑤地域によっては植栽地の整備で不要木の伐採、抜根、草刈り、地ならし等、⑥街角公園の整備等緑化支援。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成24～29年）

当団体が生産育成した苗木を被災公園の整備や自治会施設に植栽し、現在は大きく育って立派な花を咲かせ、地域の人々に喜びを与えている。海岸防災林再生活動では毎年新しい地区の植樹と前年、前々年植樹の下刈りをボランティアほかの方々で実施しており着実に育っている。

②今年度新たに得られた成果等

海岸防災林再生活動においては盛土の上を植栽地としており水はけが悪く、苗木の成長が悪い。今年度土壌改良剤として粒状炭を埋設して実証試験を行っているが試験結果は一年間以上の時間が必要で来年度には効果が期待できる。

●自己評価

活動実施日に雨が降るなど厳しい状況もあったが自衛隊員の参加などがあり十分に達成できた。

●参加者の声

- ・楽しい活動で、毎年の活動に期待している。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.5ha	500本	1.1ha	59人	50人	109人
実施場所：岩手県、宮城県、福島県、千葉県					



海岸防災林再生活動

富士山麓における森づくり整備活動

(公財) オイスカ

東京都杉並区泉

●事業概要

富士山の森で、病虫害の被害により枯死したシラベ人工林を、生物多様性に富んだ強い森として再生させるため、産官民協働による森づくりに取り組んでいる。主な活動は以下のとおり。①獣害・雪害・風害により被害を受けた植栽木の捕植。②植栽木の成長を阻害する自然に生えてきた木の除伐。③下刈り。④獣害対策ネットのメンテナンス。⑤専門家及びボランティアによる植栽木のモニタリング調査。⑥地元小学生の体験活動支援。⑦普及啓発のための勉強会。

●事業成果

①前年度までの成果等 (平成18～28年)

約4万本の広葉樹を植林し、獣害対策、下刈り、補植などを行った。延べ8315人がボランティア活動に参加。また、一部の作業を委託することにより雇用を創出。

②今年度新たに得られた成果等

除伐、下刈り作業をすることで、日の光が入るなどの効果が出た。モニタリング調査等もボランティアに実施してもらうことにより、自然条件により木の成長が違うことなどを体感いただいた。

●自己評価

植えて終わりではなく、育てることの大切さを理解していただくことができた。同時に、参加企業や参加者より、社員の環境意識の醸成や子どもたちへの環境教育に繋がるプログラムの実施への期待も出てきている。

●参加者の声

・人が手を加えないと森は再生していかないことを、作業の大変さから学ぶことができた。(新入社員20代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
1.39ha	1.92ha	33人	204人	237人
実施場所：山梨県鳴沢村				



獣害対策のネットの補修

新地町沿岸部における防災緑地整備事業

(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

目的は、東日本大震災で甚大な被害を受けた福島県沿岸部において、防災緑地の植林活動を行うことと震災の教訓を次世代につなげるための学びの機会とすることである。具体的な活動としては、県や新地町と連携を取り、植林活動および下刈りなどの環境整備活動を実施した。また「防災学習」として観光協会や新地町役場の方から震災当時の状況を聞き、復興の様子などを学ぶことから、日頃より防災について考える機会とした。

●事業成果

植林活動や環境整備活動を行うことで、県や町が進めている緑化事業に協力することができた。また活動には首都圏在住の参加者が多数いたことから、緑化活動と共に防災学習を行うことで震災の教訓を次世代につなげることができた。

●自己評価

福島県や新地町とも連携し計画を進めていったが、当初4回計画していたところ3回しか実施することができなかった。しかし参加者の多くは首都圏から来ており、被災地への関心の高さも実感することができ、また参加者にとっても貴重な機会になったと考える。

●参加者の声

・穴を掘るのが大変だったが、自分の植えたマツがいつか新地町の役に立つかと思うと、参加して良かった。(10代大学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.05ha	520本	7人	58人	65人
樹種：クロマツ				
実施場所：福島県相馬市、新地町				



クロマツを植樹

緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり

四季を愛する会

新潟県胎内市赤川

●事業概要

松くい虫被害で喪失した海岸林を再生するため、地域住民や子ども達(200人)と一緒に海岸に適する広葉樹(シロダモ、エノキ、タブノキ、アベマキ)を2548本植栽した。

●事業成果

①前年度までの成果等

地域住民や子ども達(300人)と一緒に海岸に適する広葉樹を0.7ha、3300本植栽した。

②今年度新たに得られた成果等

地域住民や子ども達が植樹活動を実施したことから、地域の森との意識が育まれた。

●自己評価

第2回目の植樹活動は、悪天候の影響でスムーズにできなかったところもあった。荒天時の対策をしっかり練るようにしていきたい。今後もより地域の参加者を増やしていきたい。

●参加者の声

雨が降るなか、子ども達が一生懸命植樹をしていたのが印象的だった。荒天での活動だったが、森づくりに参加してよかった。今後、飛砂の害が軽減できると喜んでいた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.52ha	2548本	200人	200人
樹種：エノキ、シロダモ、タブノキ、アベマキ			
実施場所：新潟県胎内市			



エノキ、シロダモ、タブノキほかを植樹

国民参加による災害に強い森づくり事業

(特非) 里山クリーン新潟

新潟県阿賀野市出湯

●事業概要

災害に強い森林づくりを目的とする。活動としては、森の整備、森の再生、森林資源の有効活用をする。地域の住民、子どもたちと共に、森林のエネルギーについて学び、資源の有効活用を喚起する体験を行う。活動場所は、安全で楽しい時間を創る環境整備を主眼として活動する。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26~27年)

平成26年度より当地10haの森林整備を進めた。作業道の整備、間伐材の利用、森林の再生幼木の植樹などを継続的に実施した。今後も子どもたちが楽しめる環境づくりを行う。

②今年度新たに得られた成果等

一歩一歩活動面積を増やし、山の魅力を発揮できる環境、森林の持つ癒しの空間、森の生物、植物の多様性を活かす。いろいろな生物との共生を感じられる体験活動のできる森林環境を構築に努める。

●自己評価

壮大な自然の山々の資源環境での活動は、21世紀に生きる総ての生命に不可欠であり、次世代を担う子どもたちに継承し、故郷の豊かな魅力と誇りを伝えていきたい。

●参加者の声

- ・自分達でできない山の整備をしてもらい助かっている。(保田財産区の役員)
- ・自然のなかで遊ぶのは楽しい。(子ども達)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
1ha	300本	1.5ha	1.5ha	175人	10人	185人
樹種：コナラ						
実施場所：新潟県阿賀野市						



コナラを植樹

蘇る熊野の森大日山プロジェクト 2017(2番区)

(特非) 三つの森

和歌山県東牟婁郡太地町

●事業概要

大日山の地滑り工事跡地の緑化が、表土排出と獣害のため進展しない。その不自然な景観修復及び森の再生による保水力増強を目的とした植樹活動である。2番区の植栽棚に、1mごとに、自生種母樹苗木を植え、その間に小苗木2本を密植した。強風対策で、必要な母樹苗木に支柱を添えた。堆肥、落ち葉を随時補充した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成27～28年)

全般的に、苗木は順調に成長したが、一部獣害により補植作業を行った。主な樹種は、クスノキ、ヤマザクラ。

②今年度新たに得られた成果等

石などが少なく植栽作業は楽だった。下草も多めで乾燥の不安もなく、苗木の活着は比較的順調。

●自己評価

植樹祭は、他のエリアのイベントなどの重複もあり、参加者は予定を下回った。次年度以降、日程調整が課題である。

●参加者の声

- ・植樹祭は参加者がいつもより少なめだったが、苗木の成長が楽しみで、仲間たちと頑張れました。(60代女性)
- ・樹種名を確実に覚えていきたい。(70代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.54ha	2120本	55人	5人	60人
樹種：クスノキ、ヤマザクラほか				
実施場所：和歌山県田辺市本宮町				



自生の樹種を植樹

「銀林の恵み森活プロジェクト」で 山林災害を無くそう！事業

銀林の恵み森活プロジェクト実行委員会

島根県大田市大田町

●事業概要

①森の健康診断。また、過去の実績も含め、3年間のデータ集計(32件)と分析。②チェーンソー安全技術研修会は、特に山主・林業従事者や新規市民の参加(計41人)で実施した。③「災害に強い森林づくり講演会・現地調査会」には、自主防災組織関係者や地質調査会社の参加があった。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年度)

平成28年度が初めての取組みであった。大田市において、森の健康診断・災害に強い森林づくり・チェーンソー安全技術研修の三事業を年間を通して実施したことは、大きな効果を発揮することとなった。

②今年度新たに得られた成果等

新たな参加者がありすそ野を広げることができた。①大田市関係者との懇談もでき、活動についてアピールできた。②山林整備のノウハウが蓄積できた。③チェーンソー技術研修者は初心者が多く、定期的な研修が必要であった。すそ野が拡大することはよいことであるので、島根県内の研修会開催の情報を提供したい。

●自己評価

予定通り進んでいる。山主の参加も徐々に増えていることから、二年間の効果が出てきているものと考えられる。人工林の整備のノウハウは、かなりできたものと確信する。

●参加者の声

- ・調査をすると、いつ頃に手入れを入れたのかが良く分かる。「森の健康診断」20代女性

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
間伐面積	県内	計
0.5ha	119人	119人
実施場所：島根県大田市仁摩町、富山町、大田町		



チェーンソー研修会

徳島県那賀町木沢森林整備事業

(特非) 烏雲の森沙漠植林ボランティア協会

徳島市佐古五番町

●事業概要

那賀川上流域に、平成16年の台風被害を被った地域に、針葉樹の人工林に変えて、保水力に優れているケヤキを中心に広葉樹を植林し、自然災害に強い森林づくりをめざす。

近年の課題はシカ食害防止。支柱を立てネットで巻く方式に変えた、コストはかかるが食害はほとんどなくなった。近年シカがミツマタを食べない事が判明し、植林した広葉樹の間にミツマタを植林している。現地のミツマタクラブと連携し収穫したミツマタを精製し造幣局に販売して、過疎対策の一助になればと考えている。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成22～29年)

継続して当協会の会員を中心に多くのボランティアが参加して広葉樹を植林してきた。ネットを苗木に巻く方式に変えてから活着率が飛躍的に向上した。

②今年度新たに得られた成果等

引き続きスギ・ヒノキ伐採跡地に広葉樹を植林し、平行してミツマタを植林する事でシカとの共存やミツマタの樹皮販売等から少しでも地域の発展に協力できればと思っている。

●自己評価

当初の目的は少しずつ進展している。反省点は会員の高齢化と若返りがなかなか進まない事。

●参加者の声

・針葉樹の人工林が地滑りに弱い事も初めて知った。引き続き参加していきたい。(最近会員になった方)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.2ha	750本	31人	1人	32人
樹種：ケヤキ、ミツマタ				
実施場所：徳島県那賀町				



ケヤキ、ミツマタを植樹

環境共生型森づくりでだれもが参入できる永続的森業の実践普及事業

(特非) 土佐の森・救援隊

高知県吾川郡いの町天王北

●事業概要

高知県仁淀川流域は9割以上が森林である。この地において2割間伐施業によるAB材及び林地残材の出材より、収入を得ながら持続可能な森林整備を実践し、かつ、減災につながる強い森づくりを行った。本事業は、森林保全と長伐期優良大径材生産を基本に、針広混交林の山づくりをめざした。高密度路網による崩れない最小限幅員の作業道を開設することで、小規模ながら安定した収入を得るきめ細やかで丁寧で強い山づくりとなった。内容は、自伐型林業研修及び実践をとおして普及・啓発を実施した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26～29年)

自伐型林業の普及に努め、県内約400人が自伐林家となった。

②今年度新たに得られた成果等

今年度事業では、仁淀川流域において30人以上の自伐林家が育ってきた。また、県西部域と県北部域で活躍する自伐林家や若手グループ等との連携が密になった。

●自己評価

継続的に自伐型林業研修を開催することより、自伐林家数が大幅に増加するとともに個人・小団体間のネットワークの構築となる結果となった。

●参加者の声

・基本技術を学べば誰もが参入できることがわかった。
・とにかく丁寧で高密度な作業路の開設ができれば、個人・小人数で収入を得ることができることがわかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	作業道開設	県内	県外	計
2.5ha	500m	90人	18人	108人
実施場所：高知県高知市、佐川町、いの町、日高村				



造材研修

緑化の推進

獅子吼高原 森のふれあい音楽会

「つたえよう 美しき森」推進委員会

金沢市古府

●事業概要

“森を知るにはまず森に行き森に親しむことから”といった考えによって、平成17年から「おい！森に行こう」をスローガンに、県民参加型の様々な事業展開を行っている。その1つである「獅子吼高原 森のふれあい音楽会」は、音楽を通して人々を森に誘うとの趣旨から、石川県内外のアーティストに出演してもらいステージを繰り広げている。また、音楽会のプログラムとして、高原での植樹やトレッキング、親子での工作教室などの実施を通して、森林保全の必要性をアピールしている。

●事業成果

白山市の獅子吼高原を会場に、5組のアーティストが野外ステージで音楽を通して森の大切さをアピールした。降雨により、音楽会のステージを移さざるを得ない事態となったが、参加者には楽しんでいただけた。

山頂の森の遊歩道を散策するトレッキングやクヌギの植樹は予定通り実施することができ、家族連れに森に対する理解を深めてもらいながら広葉樹の森を広げてもらった。また、工作教室も子ども達の声が響いた。

●自己評価

朝から肌寒く午後からは雨とあって、来場者を大幅に増やすことはできなかった。しかし、そうした悪条件の中では、“人々を森に誘う”といった主目的はなんとか達成できたと思う。来年度以降は、木製のクラフト品の販売など、人々が更に集まる仕組みを検討したい。

●参加者の声

・苗木が雪に負けないで大きくなってほしい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.1ha	20本	38人	38人
樹種：クヌギ			
実施場所：石川県白山市（獅子吼高原）			



クヌギを植樹

水源林・森の恵みと活用を学ぶ キャンププログラム

(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

●事業概要

自然がもたらす豊かさを体験し、自然の大切さを学びながら、水源林の森の整備を行うことを目的に本事業を実施。実施場所を多摩川の源流である山梨県小菅村とし、多摩川が身近にある川崎市内に住む母子家庭の家族を対象にした。

●事業成果

小菅村での実施にあたり、NPO法人多摩源流こすげと協働し実施した。また川崎市母子寡婦福祉協議会の協力を得て参加者を募った。小菅村では、スギ間伐から始め、間伐した木の枝を使いスプーンづくりを行った。スプーンづくりに自分で切った枝を使うことで、森の木を身近に感じることができた。キャンプでの生活を通じて、母子家庭の子どもたちだけでなく、親のコミュニティを広げることができたことは大きな成果と考えている。

2日目の源流体験では、多摩川の源流の沢登りを通じて、自然の魅力・力を感じるプログラムとなった。プログラム実施にあたり、地域のNPOや社会福祉団体、企業の連携を深め、自然保護と環境教育という課題に取り組むことができた。

●自己評価

目的である自然の大切さ・豊かさを感じ、伝えることは、活動を通じて達成できたと考えている。

●参加者の声

・自然の中で生活することの大切さや山や川、水のことを感じる事ができた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
間伐	スプーン作り	源流体験	計
1本	43人	43人	43人
実施場所：山梨県小菅村			



間伐材の枝でスプーンづくり

子どもと地域のための森の健康診断普及事業

森の健康診断出前隊

名古屋市熱田区六野

●事業概要

森の健康診断の普及を通して、地域の大人と子どもたちと森林ボランティアが一緒になって、森の見方や森への向き合い方を学ぶことで、豊かな森林と山村づくりにつなげる。そのために小学校高学年の児童たちが学校教育の一環として、実際の森で地元の人たちや森林ボランティアの指導の下で安全かつ科学的な授業ができるプログラムをつくって各地に出前授業を実施してきた。

また、これまで各地で森林環境教育に取り組んでこられた方々と交流することを試みた。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成20～28年)

平成28年までの参加者は7000人を超え、地域は40道府県、近年小学校での授業としての取り組みに力を入れてきた。

②今年度新たに得られた成果等

森の健康診断出前事業を6県13団体延べ21回実施し、講師128人受講者は735人。本年は滋賀県と長野県でミニスタディツアーを実施し、各地で森林環境教育の指導者とフィールドワークと意見交換会を行った

●自己評価

出前要請には、質・量ともにほぼ応えることができた。ミニスタディツアーは、初めての試みながら県域を越えて踏み込んだ交流ができたものの、間伐など危険を伴うプログラムを学校教育に導入する壁の高さを再認識した。

●参加者の声

- ・マニュアルが各種準備されている。
- ・子ども向けによく研究されている。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
森の健康診断出前授業			
約120プロット	91人	644人	735人
実施場所：長野、岐阜、愛知、三重など6県15町			



子どもたちを対象に出前授業

組手什を用いたH29九州北部豪雨復興支援事業

九州森林インストラクター会

熊本市西区

●事業概要

目的：平成29年7月5日に発生した九州北部豪雨により、大分県日田市から福岡県東峰村・朝倉市にかけて甚大な被害が発生し、家屋を失った多くの住民が避難生活を送っている。この度、被災市から避難所生活環境改善のために、国産材を使ってできる取組はないかとの相談が寄せられたので、熊本地震での支援実績がある組立什器を用いた支援を計画した。

内容：避難の長期化が予想される日田市の大明小学校において、被災者のニーズを聞き取りながら、組手什を使ってパーティションや収納棚等を作成し、避難所の生活環境を改善した。

●事業成果

九州北部豪雨により被災した住民が避難している小学校に、被災者のニーズに合ったパーティションや収納棚等を作り生活環境の改善を図った。

●自己評価

避難所という臨時的な施設であることから、いかにして早急に対応するかということを感じた。

●参加者の声

- ・組み立てるだけで使用できる什器は、希望に応じて様々な型式にも対応できるので非常に役立った。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
什器組立			
535本	10人	4人	14人
実施場所：大分県日田市			



組手什(くでじゅう)の組み立て

学校教育環境向上のための緑化事業 (東浦町立藤江小学校)

東浦町立藤江小学校

愛知県知多郡東浦町

●事業概要

アドベンチャーランド(学校林)斜面の枝の中には立ち枯れたり危険な木も増え、子どもたちや教師の手には負えなくなってきた。この地域の里山として愛されるためにも整備を行うこととした。また、学校の敷地にある藤江竹炭同好会も15年たち、小学校の総合的な学習や委員会と一緒に活動することも定着してきた。

●事業成果

①アドベンチャーランド整備

子どもたちがより快適に活発にアドベンチャーランドを利用できるようになった。また、掃除の時間などで斜面の整備もしやすくなり、楽しんでいる。また、整備により、春にタケノコが顔を出す。大きく生長した竹も切りやすくなった。そして、散歩に来た地域の方も設置した階段を上って楽しんでいただいている。地域の「里山」としてより幅広い方々と関わりをもつことができた。

②藤江竹炭同好会との協同事業

地域の同好会のお年寄りとの竹炭の活動は今年度で15年を迎える。今では委員会・総合的な学習の時間と幅広い学年がお世話になっている。今年度炭焼き窯が壊れたが、緑の募金のおかげで学習活動をする事ができた。

●自己評価

児童・保護者のみならず、地域の方々にも愛される場所となっている。

●参加者の声

・自然の中で安全に遊びやすくなった。(PTA会長)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	間伐面積	県内	計
0.13ha	0.13ha	45人	45人
実施場所：愛知県東浦町			



地域の人にも親しまれる里山に整備

九州北部豪雨復興支援事業(学校・仮設住宅団地等緑化・木製品提供)

(公財)福岡県水源の森基金

福岡市中央区天神

●事業概要

目的は、平成29年7月に発生した九州北部豪雨による被災地域において、地域の復興を支援するため、学校や仮設住宅団地等周辺の緑化により、子どもたちや被災者の共同生活の充実を図ると共に、緑の大切さや木の温もりを感じてもらふ事業である。主な活動は、被災地域の小中学校及び仮設住宅団地へ福岡県産木材を使用した木製テーブル、木製ボックス等の贈呈を行ったものである。

●事業成果

被災後、復旧状況を考慮しながら、迅速に対応して被災した人たちが身近で必要とするものを提供することで、被災地域の人たちに寄り添うことができた。

●自己評価

本年度活動の木製品贈呈については、仮設住宅団地、小中学校の要望を予め調査しており、好評を博した。今後も、被災地域の要望等を汲んだ緑化事業を行う必要がある。

●参加者の声

運搬設置を行ったが、福岡県産のスギ・ヒノキ無垢材を使った製品は、重くて運ぶのは少し大変だったが、その分被災された方の心が和むように感じられた。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
木製品提供 78セット	28人	28人
実施場所：福岡県朝倉市、東峰村		



木製テーブルセット

学校教育環境向上のための緑化事業 (多摩市立愛和小学校)

多摩市立愛和小学校 緑の少年団

東京都多摩市愛宕

●事業概要

目的は、「学校林『愛和の森』を安全な教育活動の場にするため」また「『愛和の森』を地域・保護者との交流を深める場にするため」の整備である。整備の内容は、①老木の伐採・剪定、②湧き水の土留め(2か所)、③遊歩道の整備、④階段作り、⑤果樹の植樹、⑥「A I W A」の植え込み作りである。主に春休みの期間に整備を行った。

平成30年4月23日には、記念式典を実施した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28～29年)

「『愛和の森』を安全な遊びと学びの場にする」という目的を掲げ、地域・保護者にも協力を仰ぎながら活動を進めた。

②今年度新たに得られた成果等

昨年までの活動で「学校林には児童や地域・保護者だけでは整備が難しい場所があること」「実行資金がないこと」が分かったので、本事業によりそれらの整備を実施した。児童は安全に森の学習や遊びを行えるようになり、地域の方々や保護者も森の心地よさを感じ始めている。

●自己評価

遊歩道には危ない場所がなくなり、今後の森での遊びや学びの充実が期待できる。また、校名の植込みや階段・果樹園の設置により、児童と地域が楽しみながら安全に整備活動を行うことも期待できる。

●参加者の声

- ・森遊びをする児童が増えた。(教員)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	都内	計
0.003ha	141本	0.006ha	15人	15人
樹種：サツキ、ブルーベリー				
実施場所：東京都多摩市(市立愛和小学校敷地内学校林)				



サツキ、ブルーベリーを植樹

げんきの森づくりと森の学習活動

(特非) 森林遊びサポートセンター

札幌市南区藤野4条

●事業概要

目的：学校林で森林環境教育から、自然や森林を大切にすることを育む。内容：げんきの森づくり(地拵え作業5年生・植樹作業2年生)。森の学習：子ども樹木博士認定。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成19～29年)

平成16年台風被害の復旧と子どもたちの森林環境教育活動の継続により森の整備も進み、植樹した花木の開花は子どもたちの喜びでもあり、さらに森に親しみ、保護者を含めて森を大切にすることを共有する。

②今年新たに得られた成果等:

学校林約9haの内約0.5haのシラカバについては後継樹を植えて林分の構成のバランスを図った。森の中の歩道整備を行い安全で安心して森の活動ができた。前年まで植えつけた木々の下刈手入れを行い成育の促進を図った。子ども樹木博士認定を行い木の名前を覚えることで森への親しみを深めた。

●自己評価

学校林「小鳥の村」のげんきの森づくり体験活動が、学校と保護者の恒例体験活動として定着したことは、学校と保護者のご協力と、活動経費の交付を受けての活動であり、計画通りにできたことを感謝している。

●参加者の声

- ・樹木博士の認定と地拵え体験で楽しかったが疲れました。(小学5年)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	計
0.1ha	25本	2ha	123人	123人
樹種：シラカバ、アオダモ				
実施場所：札幌市				



シラカバやアオダモを植樹

北広島市げんきの森～北広島エココミュニティ構想に根差した森づくり～

北広島木育研究会

北海道北広島市松葉町

●事業概要

目的は、北広島市のげんきの森をはじめとした森林において、生き物の生息・生育情報を調査し、森林活動の基盤を整備するとともに、これらの情報を活用しながら、植樹や育樹、木育を行うことである。主な活動は以下のとおり。

①げんきの森等での動植物調査、②げんきの森等での苗づくり、③げんきの森での植樹会（地元の幼稚園と協同）、④げんきの森等での木育教室（地元の幼稚園児が対象）。

●事業成果

動植物調査により、げんきの森をはじめとする北広島市の動植物情報が得られた。その内容を簡易な図鑑にまとめて、森林・木育活動の基盤を整備することができた。苗づくりでは、60株ほどのミズナラの苗木を育成した。北広島市内の幼稚園児等とともに、げんきの森での植樹会を実施した。年間を通して、森林内の散策や、間伐材を使った工作等の木育を行った。

●自己評価

動植物調査では、環境コンサルタントの指導により多くの生き物の特徴や生態を学ぶことができ、今後は自分達でも取り組みを進められるようになった。

北広島のげんきの森では、これ以上の植樹スペースが確保できないと指定管理者から言われ、今後の植樹場所を確保することが難しい状況である。

●参加者の声

・木育教室はとても楽しく、園児たちは終わった後も教室で図鑑を見て勉強していました。（20代幼稚園教諭）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	道外	計
0.002ha	60本	0.002ha	419人	1人	420人
樹種：ミズナラ					
実施場所：北海道北広島市					



ミズナラを植樹

町有林・げんきの森育樹事業

京極町森と緑の会

北海道虻田郡京極町

●事業概要

目的：通直な人工林育成を目指すため、12年生の町木ミズナラの枝打ちを実施。これまで各種助成事業により数種類の樹種を植樹したが、開花する樹種が入っていなかったことから、サクラを植樹。

内容：ミズナラの枝打ちとエゾヤマザクラ記念植樹を会員、北海道後志総合振興局、ローソン職員で実施。

●事業成果

①前年度までの成果等

平成17年度より、「京極みどりの少年団」等によりミズナラの枝打ち作業を行い、低年齢樹木の優良な成長促進に寄与し、小学生の森林に対する親しみの学習の場となっている。

②今年度新たに得られた成果等

エゾヤマザクラの植樹を行ったことで、将来「げんきの森」でのサクラの花が楽しみとなった。

●自己評価

行事は無事終了した。今後は、枝打ちが一通り行われた後の育樹会の内容について検討する必要がある。

●参加者の声

・森で木の手入れをする機会がないので、よい経験になった。（みどりの少年団員）

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	道内	道外	計
0.1ha	3本	0.3ha	0.3ha	46人	1人	47人
樹種：エゾヤマザクラ						
実施場所：北海道京極町						



ミズナラの手入れ作業

みんなでつくる・未来へつなげる森と水辺の里山づくり事業（2年目）

（特非）登別自然活動支援組織モモンガくらぶ

北海道登別市鉾山町

●事業概要

本事業は、地域住民に里山づくりを知ってもらい、里山をキーワードに様々な方が関わりやすい場を提供し、人が関わり育ててゆく森を100年後の子どもたちにつないでいくための活動を推進していくことを目的とし、主な活動は、①植樹等の体験活動の実施、②コーザンふるさと里山写真展、③体験活動の場「炭焼き窯づくり」の活動を行った。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成29年）

子どもたちと創る里山ゾーンでは、水車小屋、小川を整備し多世代が集える場の創出ができた。勉強会では、林業関係者とのつながりが創出され、学びを深めることができた。

②今年度新たに得られた成果等

体験活動は145人が参加、コーザンふるさと里山写真展は30人が応募。里山づくり活動をひとつの手段として、地域の環境保全活動の推進につながってきている。

●自己評価

里山を利用する、活動に参加する、ボランティアスタッフ（提供する側）として場を創る、という様々なステージで里山づくりへの関わりが創出でき、また、地域における環境保全活動を通じたネットワーク構築につながっている。

●参加者の声

・森からいただいた種で苗木をつくる作業が楽しかった。里山の循環を学んだ。（30代保護者）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	計
0.08ha	60本	0.08ha	231人	231人
樹種：ミズナラ、キタコブシ、ホオノキ、カエデ類				
実施場所：北海道登別市				



ミズナラ、キタコブシ、ホオノキほかを植樹

こどもからお年寄りまで元気になる森づくり事業

羽幌みんなでつくる自然空間協議会

北海道苫前郡羽幌町

●事業概要

事業の目的は、幅広い世代にげんきの森を利活用してもらうことである。主な活動は以下の通り。

①みんながげんきの森に携わり、植樹・森の維持管理作業や動植物の観察などを通じた世代間の交流を行う。②町内への転入者や家族の節目を迎えた方々に、ビオトープ「自然空間はぼろ」を知ってもらい、記念植樹などを体験し関心を持ってもらうことで、会員の拡大を目指す。③地元・羽幌高校との連携を強化し、生徒が植樹や下刈り作業の他、樹種や生育状況の調査を実施し、今後の維持管理に活用する。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成16～29年）

75haの町有地を借り、自然を観察し、守るべき自然を体感できるビオトープを目指して活動してきた。

②今年度新たに得られた成果等

4月に町内に転入してきた方に対し、ビオトープの説明会と植樹会を行っている。新会員の掘り起こしやビオトープの理解を深めてもらうことを目的としている。

また、今年度は羽幌高校との連携の中で、生徒が育樹活動の他に、樹種や生育状況の調査を行い成果をまとめた。

●自己評価

植樹や下刈り、樹木調査など、ビオトープ、げんきの森に関わる人々を増やすことができた。

●参加者の声

・子どもと一緒に散歩に来たい。（30代女性）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	道内	計
1.6ha	423本	611人	611人
樹種：サクラ、カラマツ、クルミ、キハダ、ミズナラ、ヤチダモ、アカエゾマツ			
実施場所：北海道羽幌町（ビオトープ「自然空間はぼろ」）			



記念植樹会

木育フェスタ in 桜ヶ丘森林公園

てしかが自然学校

北海道川上郡弟子屈町

●事業概要

桜ヶ丘森林公園は、弟子屈小学校の学校林としても位置付けられているが、児童の定期的な利用はない。また今年度、クロスカントリーコースとしても新たに散策路が整備されたが、地域住民への周知は進んでいないため、その周知と環境整備を目的に当事業で、①桜ヶ丘森林公園での植樹②クロスカントリーコースの試走会を開催した。

●事業成果

植樹活動やクロスカントリー試走会については、各スポーツ少年団に呼びかけ、4団体21人の参加があった。陸上競技指導者の指導の下、競技の枠を超えて、効果的なトレーニングの場として同コースの周知ができた。

●自己評価

胆振東部地震の影響があり、当初計画していた木育プログラムは実施できなかった。内容を縮小しての開催となったが、参加児童にとっては、単調なグラウンドを走るだけでなく、起伏や植生の変化に富んだ森の中のコースを走るのは新鮮であったようで、笑顔で走る姿が見られた。同コースは、森の中を走るといふこの地ならではのトレーニング方法が地域の伝統になるよう、今後も周知を図ることが望まれる。

●参加者の声

・カエデの紅葉がきれいだったので、走るだけでなくゆっくり歩く散策としても今後利用したい。(少年団の引率者・30代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	道内	道外	計
0.3ha	21本	36人	1人	37人
樹種：エゾヤマザクラ				
実施場所：北海道弟子屈町（桜ヶ丘森林公園）				



エゾヤマザクラを植樹

地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」の推進

(特非) 共存の森ネットワーク

東京都世田谷区松原

●事業概要

目的は、①主に「聞き書き甲子園」に参加した学生が、森林を育み活用する暮らしを営む「森の名手・名人」の知恵や技を学びながら、地域の森と共にある暮らしの活性を図ること②森づくり・地域づくりに関心のある若者のネットワークを広げることである。主な活動は以下のとおり。

①新潟県村上市にて、ブナ林の手入れ、自然観察、木工クラフト、②千葉県市原市にて、県有林の整備活動と地元住民との関係づくり、③東京都檜原村にて、林業体験、林業従事者に対する聞き書き取材、成果発表会。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成22～29年）

平成22年より、大学生・高校生を中心に、森づくり・地域づくりの活動を広げ、7か所において活動を展開した。

②今年度新たに得られた成果等

今年度は、活動地域を3つに絞り、量ではなく質に目を向けて活動できた。活動歴の長い新潟県や千葉県では、地道に里山づくり・森林整備の活動を続けながら、地域との関係性を深め、学生の新規参加者も着実に増やせた。

東京都檜原村の活動では参加者層を「中学生」に広げた。

●自己評価

東京の活動に関しては、新しい参加者層へのアプローチとなり、良い試みだったのではないかと考える。

●参加者の声

・自然の豊かさを感じることができた（千葉・高校生）
・また檜原に遊びに来たい。（東京・中学生）

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
10本	1.5ha	3ha	1ha	131人	74人	205人
樹種：ブナ						
実施場所：新潟県村上市、千葉県市原市、東京都檜原村						



林業体験（東京都檜原村）

活樹祭・親子森林教室 石垣島里山づくりプロジェクト

(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

●事業概要

石垣島は独特の生態系が育まれてきたが、近年の台風や豪雨による土の流出により、生態系に大きな影響を受けている。荒廃した農地に森を育てることで、陸上の生態系を豊かにするとともに、海洋生態系の保全にも寄与するための森づくりを行う。初回の今回は植樹を中心に島の環境を知る視察・調査行い、今後は“里山”をモデルとした森づくりを進めていく。

●事業成果

本プロジェクトでは、今回が初回の活動となった。これまでサンゴの保全について、マングローブや花壇による事例はあったものの、森をつくることによる例はなかった。さらに、本プロジェクトだけでなく、クラウドファンディングや活動に関心をもった方々が集まりだし、プロジェクト以外にも植樹や環境づくりの整備活動を進めることもできている。本プロジェクトが、サンゴ礁保全のよいモデルとなることを期待している。

●自己評価

計画では、母子家庭の親子を招き、石垣島の自然環境を学びながら植樹活動を進める予定であったが、台風により中止をせざるを得なくなってしまった。植樹はスタッフで計画通りに進めた。

実績とりまとめ表

作業内容			
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積
0.25ha	200本	0.5ha	0.5ha
樹種：シナモン			
実施場所：沖縄県石垣島梶海			



シナモンを植樹

東日本大震災復興祈念・大槌学園 環境緑化事業

(公社) 岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通

●事業概要

東日本大震災の大津波で校舎が全壊した小・中学校の子どもたちは、約5年の間、仮設校舎で学校生活を送った。その後、小・中学校は、昨年4月に義務教育学校「大槌学園」として開校し、その年の9月に町内産の木材をふんだんに活用した新校舎が完成した。しかし、校舎は山林を造成して建設したため、周囲は裸地の状態であった。

そこで、東日本大震災からの一日も早い復興と、学園の子どもたちが緑に囲まれた豊かな環境のもとで健やかに成長することを願い、学園周辺の環境緑化を実施した。

●事業成果

新校舎に植樹の緑が美しく映え、子どもたちが気持ちよく学園生活を送る事ができている。

植樹作業を子どもだけではなく、PTA活動として行った結果、学園が今まで以上に地域の学校として身近なものになった。

●自己評価

ほぼ計画通りに実施することができた。

釜石地方森林組合の方々には、子どもたちでは植樹が難しい法面の植樹などをしていただき、大変ありがたかった。

●参加者の声

・親子でツツジを植樹した。終わった後は、達成感でいっぱいだった。

・草が生い茂っていたグラウンド周辺や、子どもたちが降りるロータリー周辺が、植樹により明るくなった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.31ha	2047本	157人	2人	159人
樹種：ツツジ、サツキ、シャクナゲ				
実施場所：岩手県大槌町				



ツツジ、シャクナゲほかを植樹

「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業

(公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤道理雨宮

●事業概要

緑とのふれあい等を通して、沿岸被害住民と山村住民の交流も図りながら、東日本大震災からの復興を誓うと共に森林づくりの重要性を普及する。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成27～29年)

沿岸被災住民と山村住民の交流のきっかけとなり地元米川地区住民の方々と絆が深まった。沿岸被災住民の皆さんには、森林づくりの魅力を感じてもらえた。

②今年度新たに得られた成果等

料理教室は、被災地の方々に大変好評であった。被災地の方々から家に引きこもりがちで交流の機会が少ないとの話を受け、今後も一層被災地の皆さんの癒やしとなるようなイベントを計画する必要があると感じた。

●自己評価

所期の目的は達成できたものと思われる。日程設定の点で、今後はさらに工夫していきたい。また、参加者の方々には、森林に興味を持っていただいたので、沿岸被災住民と地元住民の交流を図りながら、被災者の癒しとなるような森林作業体験イベントを計画したい。

●参加者の声

- ・山に来て人と話し合えて交流を深め、自然の中での森林体験で心が癒やされる。(南三陸町・80代女性)
- ・米川の方々との交流により震災復興に頑張る気持ちの後押しとなった。(南三陸町・70代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.2ha	600本	0.2ha	120人	120人
樹種：ヤマザクラほか				
実施場所：宮城県登米市東和町(米川生産森林組合有林)				



ヤマザクラほかを植樹

東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！ Project-D

(公財) 日本環境協会

東京都中央区日本橋馬喰町

●事業概要

目的は、被災地の子どもたちを応援する気持ちを届け、復興を支援するとともに、地域の生態系に配慮した緑化に貢献することである。主な活動は、被災地(岩手・宮城・福島)に植える広葉樹の苗木を、被災地周辺でとれた種子を使って育て、植え戻すことである。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成23～29年)

プロジェクトで育ててきた苗木をすべて植え終えることができた。活動を通して、苗木の里親や植樹等参加者に、これからも被災地を応援しようという気持ちをもってもらうとともに、地域の生物多様性を維持することの大切さを理解していただけた。

②今年度新たに得られた成果等

福島県郡山市で補植を行い、活着できなかった、あるいは枯死した部分の手当てができた。初期に植えた苗木が背丈を超えて3m近くになっているのを確認し、成長を実感することができた。

●自己評価

本格的に保育のステージに入った。長期間にわたり補植・施肥・除草等を継続できるよう、地元の団体との連携を強めていきたい。

●参加者の声

- ・何もしないとこんな藪になってしまうんだとびっくりした。草刈りの大切さがわかった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.3ha	100本	1.43ha	120人	69人	189人
樹種：コナラほか					
実施場所：岩手県北上市、宮城県東松島市、福島県郡山市					



コナラほかを植樹

東日本大震災復興祈念・大槌学園 環境緑化事業-2

(公社) 岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通

●事業概要

東日本大震災で大きな被害を受けた大槌町では、4小学校と1中学校が一つとなった義務教育学校「大槌学園」が開校し、町内産の木材をふんだんに活用した新校舎が完成した。しかし、校舎は山林を造成して建設したため、周囲は裸地の状態であった。そこで、子どもたちが緑に囲まれ、健やかに成長することを願い、環境緑化を実施した。

昨年度は、この事業で学園の東側周辺にツツジやサツキなどが植えられ、春には美しい花が咲いた。今年度は、学園の南西側にアジサイやサクラを植樹し、環境緑化事業をさらに進めていく。

●事業成果

アジサイを植えたことで、とてもよい環境ができた。すべての学年の教室からアジサイを眺めることができ、気持ちよく学園生活を送ることができている。

また、サクラは、震災後に支援で30本ほどいただいたが、町内の別な場所に仮植えしていた。今回の緑化事業で校舎西側の法面に移植することができた。

●自己評価

植える場所が山の斜面や法面であったため、釜石地方森林組合の方々に植樹をしていただいた。

●参加者の声

- ・たくさんの花々で彩られ、とても気持ちがいい。(学園生)
- ・斜面等であったため作業を行えなかったが、子どもたちが明るく元気に楽しく学べることができている。(教諭)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.1ha	430本	116人	2人	118人
樹種：サクラ、アジサイ				
実施場所：岩手県大槌町（大槌学園）				



サクラを植樹

熊本地震復興支援事業(学校・仮設住宅団地等緑化・木製品提供)

(公社) 熊本県緑化推進委員会

熊本市中央区水前寺

●事業概要

平成28年熊本地震による被災地域において、地域の復興を支援するため、学校や幼稚園、保育園、仮設住宅団地等周辺の緑化により、子どもたちや被災者の共同生活の充実を図るとともに、緑の大切さや木のぬくもりを感じてもらう事業とした。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年)

前年度は、地震被害地域の要望のあった学校等や仮設住宅団地等の箇所に植樹2本及びプランター、ベンチ、木製遊具等592個を配布し、緑や木製品による潤いや木のぬくもりを被災者に届けることができた。

②今年度新たに得られた成果等

今年度は、昨年配布できなかった地域を中心に、植樹13本及びプランター、ベンチ、木製遊具等54個を配布し、緑や木製品による潤いや木のぬくもりを被災者に届けることができた。

●自己評価

昨年配布できなかった地域を中心に配布することができ喜んでいただけた。今後は、復興支援住宅が建設されており、そういうところを中心に配布できればと考えている。

●参加者の声

- ・ベンチ・木製遊具：地域の住民や園児達が木のぬくもりを感じながら生き生き過ごし、遊ぶことができ非常にありがたい。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
植付本数	県内	計
13本	165人	165人
樹種：サクラほか		
実施場所：熊本県熊本市、宇土市、御船町、大津町		



サクラほかを植樹

森と緑と湖のマチ、そらの森づくりプロジェクト

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

北海道釧路市新川町

●事業概要

目的は、遊休地となっている弟子屈空港跡地を地域住民や観光客が楽しむための森にすることであり、主な活動としては①自然を活かした観光資源の充実を図るための植樹活動、②環境に対する意識向上と共生社会の実現をめざした木育教室の開催である。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成23～28年)

そらの森プロジェクトは開始してから6年目となった。空港跡地の4分の1程度まで植樹は進み、植樹活動の参加者も延べ350人を超え、森づくりの夢は順調に進んでいる。

②今年度新たに得られた成果等

今年も例年通り空港跡地に植樹を行い、昨年からはじめて国道沿いのシラカバ並木の植樹も延長して、森づくり活動をさらに視覚的に訴えることができた。今年度は地元のロータリークラブも合同で植樹活動を行い広がりもつくることできた。

●自己評価

育成不良の樹木が散見された。今後はそういった樹木を育てる方向にも力を入れていきたい。前年の木育教室は間伐材を使ったカスタネットづくりが好評だったため、今年はカッティングプレートの作成を行った。実際に体験してもらって、「木」が生活に密着していることを学んでもらえたと思う。

●参加者の声

- ・今年植えた木が来年どうなっているのか楽しみ、来年もまた来たい。(20代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	計
0.3ha	320本	0.7ha	155人	155人
樹種：シラカバ、マカバ、アカエゾマツ、ハルニレ、ドロノキ				
実施場所：北海道弟子屈町(弟子屈空港跡地)				



シラカバ、マカバ、アカエゾマツほかを植樹

八幡山桜(はな)の森整備事業 紅葉の森整備事業

手ノ子区協議会

山形県西置賜郡飯豊町

●事業概要

目的は、農地としての再生が困難な元採草地を「里山の森」に再生すること。桜の森、早春・初夏・初秋の花木の森、新・深緑の森、紅葉の森などを造り、雪解けから降雪までの期間、人々が楽しめる里山に整備する。今年度は、昨年度の「新・深緑の森」に「紅葉の森」づくりに着手した。また、「森づくり」と「里山を考える」集いでは、今年度も森づくりの意義と里山再生について学んだ。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成23～28年)

平成23年度から始めた「桜(はな)の森」整備は、オオヤマザクラの森、エドヒガンの森の森、早春の花木の森と新・深緑の森が完成した。完成後に枯損した分の補植が必要。

②今年度新たに得られた成果等

昨年度の新・深緑の森、今年度の紅葉の森の整備を通じて得たことは、「森づくりは、数世代にわたる息の長い取り組み」ということを再確認した。また、森づくりに都市との交流が必要ということを感じた。

●自己評価

当初計画を順調に遂行できている。長雨による農作業の遅れもあって参加者が少なかった。特に、児童生徒、町・県外の参加にテコ入れが必要と思われた。

●参加者の声

- ・木を植えるのが楽しかった。(小学生男子)
- ・都市住民の参加も大事との話が印象的だった。(60代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.65ha	130本	1.4ha	77人	77人
樹種：モミジほか				
実施場所：山形県飯豊町				



モミジほかを植樹

宇宙から見える森づくり(きぼうの桜)

(一財)ワンアース

茨城県龍ヶ崎市平台

●事業概要

千年成長する緑の資源「きぼうの桜」(宇宙を旅した山高神代桜や三春滝桜等)を、東日本大震災で被害を受けた地域に植え、復興のシンボル、新しい観光名所、風化しない避難の目印として後世に残すことが目的である。

具体的な活動は、苗元と被災地各自治体の縁繋ぎ、苗の無償提供の調整、植樹のための園地整備、地域住民の心に深く刻まれる植樹祭、そして社会へのアピールであった。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年～29年3月)

山梨県北杜市から宇宙神代桜の苗をもらいうけ、計画通り園地整備をした予定地に植樹した。

②今年度新たに得られた成果等

植樹する地域の首長らは、山梨県北杜市や福島県三春町を表敬して直接苗をもらいうけ植樹祭を行った。

【浪江町および富岡町】4月11日の植樹祭当日は両町とも、多くの住民が参加し、土かけ水やりなどを行った。

【釜石市】4月14日に植樹祭を行い、多くの参加者があった。

【七ヶ浜町】ツツジ150本によるハート型の植え込み柵の整備を実施し、きぼうの桜園地として完成させた。

●自己評価

昨年の成果をさらに規模拡大し、緑の資源の地域復興への活用及び社会へのアピールを達成できた。今後は活動をさらに広げ、市民レベルへの緑の保護と活用に関する知識普及の側面においても貢献したい。

●参加者の声

・三春滝桜に負けないくらいの名所になってほしい。(浪江町植樹祭・区長)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.16ha	604本	400人	400人
樹種：サクラ			
実施場所：岩手県釜石市、宮城県七ヶ浜町、福島県浪江町、富岡町			



サクラを植樹

どんぐりの木植樹会

(特非)森の自然学校助川山保全くらぶ

茨城県日立市西成沢町

●事業概要

大規模森林火災の跡地に開設された森林公園において、繁茂したヤシャブシ系の広大な単層林の中に、クヌギ・コナラ系の里山林群落を創成する。

18年間、子どもたちや市民と共にクヌギ・コナラの植樹を続けてきた。植樹地の決定・除伐・地拵え・作業道整備を経て春先に植樹会を開催する。夏には直近5年分の植林地の下刈りを実施する。間伐材はシイタケ原木と遊歩道・作業道の階段用資材・木工工作材料として利用している。

●事業成果

3回に分けて、クヌギ150本、コナラ150本を植樹した。植林地すべてで、クヌギ・コナラが順調に生育している。地元小学校6年生の卒業記念植樹が定着して、小学校からも感謝されている。今後4年分の植林予定地を確保済みで地拵えを少しずつ進めている。苗木の自家生産が軌道に乗りつつある。

●参加者の声

- ・成長が楽しみ。夏に見に来たい。(小学6年女子)
- ・1年間の活動の締めくくりとして最高の舞台である。(林業探検少年団指導者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.1ha	300本	2.5ha	540人	540人
樹種：クヌギ、コナラ				
実施場所：茨城県日立市(助川山市民の森公園)				



クヌギ、コナラを植樹

カエデの植樹による山村と都市の交流

お菓子な郷推進協議会

埼玉県秩父市宮側町

●事業概要

秩父地域に自生するカエデから樹液を採取し、国産メープルシロップ（秩父カエデ糖）を生産し、秩父カエデ糖を用いたお菓子を創出し、林業と商業の協働連携、林商工連携事業に取り組んでいる。持続時にカエデの樹液を活用するため、スギ・ヒノキの間伐地にカエデの植樹を都市住民と協働連携で取り組み、森林の再生を目的としている。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成25～30年）

現在の植樹地は、秩父市と森づくり協定を締結した、市有林であり、継続的にスギ・ヒノキを間伐跡地にカエデを植樹。継続的にカエデの植樹を実施している事により、テーマ性を持った森となりつつある。

②今年度新たに得られた成果等

4年前より大苗（樹高2m超）のカエデ（イタヤカエデ・イロハモミジ）を植樹することにより、大苗が植樹地のシンボリックな樹となる事が新たに判明した。小苗を食害から守るためのサブリガードの効果も顕著に見られた。

●自己評価

反省点：間伐地のため、植樹地の地ごしらえが必要。

今後の課題：植樹地の下刈りの充実。

●参加者の声

- ・植樹により、森への関心や興味がわいた。（都市住民）
- ・今後、こういった機会があれば積極的に参加したい。（都市住民）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	間伐面積	県内	県外	計
0.5ha	100本	0.9ha	6人	3人	9人
樹種：イロハモミジ、イタヤカエデ					
実施場所：埼玉県秩父市（市有林）					



イロハモミジ、イタヤカエデを植樹

十日町市民協働の森づくり植樹祭

十日町市民協働の森づくり実行委員会

新潟県十日町市本町

●事業概要

目的は、市民スキー場の跡地が荒廃し豪雨時には国道253号に土砂流出が発生し、市民生活に甚大な影響を与えているため、防災と里山の再生を図るための植樹・生育活動を行なうことである。主な活動は以下のとおり。

①十日町市のイベントに参加し、緑の募金活動と森づくりの啓蒙活動。②防災と里山再生のためクリ苗木の植樹活動。③育樹活動として下草刈り。④市民憩いの里山活動として「風の森」命名フェステバルを行った。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成24～28年）

環境に興味のあった大勢の子どもたち、市民、企業が、森づくり活動に積極的に参加した。市民の自発的な行動で、森の大切であることを、植樹活動で市民が学んだ。

②今年度新たに得られた成果等

なかなか樹木が生えないエリアの植樹であったが、樹木医の指導により肥料・埋土の改良で植樹できた。「風の森」フェスティバル開催や各種イベント参加により、国際ロータリーの植樹活動の誘致など、幅広く森づくり活動の広がりの可能性を確認した。

●自己評価

当初予定した植樹は台風の影響で延び、参加予定のボランティアに迷惑をかけたが、安全第一であり、やむを得なかった。今後は、長期天気予報などの情報収集をしたい。

●参加者の声

- ・木が実をつけ、動物が飛び回る光景を見たい。（60代男性）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.4ha	845本	2.2ha	535人	535人
樹種：ブナ、クリ				
実施場所：新潟県十日町市				



ブナやクリを植樹

SDGs環境フォーラムと木づかい体験 木工教室の開催及び富士山麓の自然： 生物多様性の現地調査の実施

(特非) 土に還る木森づくりの会

静岡県御殿場市新橋

●事業概要

当事業は“だれでも参加できる安全で楽しい持続可能な森づくり”をめざしている。今年度は新たに「SDGs環境と木づかい体験フォーラムと総合学習授業」を実施した。

活動の内容、①森をつくること（植栽植樹ほか）、②森を守り育てること（間伐ほか）、③森と木を生かすこと（木工作品制作及び森歩き、自然観察、SDGs環境学習ほか）。

●事業成果

高校生を対象に開催した、“SDGs環境と木づかい体験フォーラムと総合学習授業”を三高校において実施しました。学校側からも高い評価をいただいた。

●自己評価

①30年前に残土が入り、荒れた森が見違えるように整備され、美しい広葉樹の森になってきた。

②三高校を対象にした、SDGs環境と木づかい体験フォーラム・総合学習授業は、概ね計画どおりに開催できた。今回は自分たちで製材作業するために簡易製材機を導入して、材料を準備した。今後も安全確保を第一に、製材技術の向上に努めたい。

●参加者の声

木づかい創作木工作品制作体験は、自分の感性・創造性・デザイン力などを発揮できるので“楽しかった”と生徒たちが話していた。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.4ha	120本	1.0ha	0.2ha	374人	352人	726人
樹種：コナラ、モミジほか						
実施場所：静岡県御殿場市						



コナラ、モミジほかを植樹

猿投山北西山麓斜面の環境林整備

猿投の森づくりの会

名古屋市中区富士見町

●事業概要

名古屋近郊にある猿投山北西山麓の県有林「やまじの森」民有地「山桜フィールド」「東大赤津演習林」を環境林として継続的に整備・維持する。環境林として間伐・除伐、整理伐を実施。イベントにより森の大切さを啓発。14年に及ぶ森づくり経験や調査を生かすためノウハウ集を作成。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成16～28年）

人工林は毎年0.5～1.05ha程度ずつ間伐を実施。遊歩道も案内看板や道標を設置し一般の人が安全に環境林の中を観察しながら歩くことができるよう整備。幼稚園児の森林内観察体験、森の中の音楽祭、法人への森づくり体験指導などによる啓発活動を行ってきた。

②今年度新たに得られた成果

幹線林道添いの人工林（スギ）が林床に陽が入り明るくなった。東海自然歩道管理者に協力し、ナラ・マツの枯死木伐倒により安全なハイキング道が維持されるようになった。森を訪れるハイカーが飛躍的に増加した。林内作業のノウハウの伝承が可能となった。

●自己評価

ほぼ予定通り作業は進行。環境林として林道や観察道添いの手入れは維持できているが全体から見ると未手入れ部分の方が多い。問題解決のためには会員増強など規模の拡大が必要だが高齢化も進み難航している。

●参加者の声

・環境林づくりに参加の会員は生きがいを感じている。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
除伐面積	間伐面積	観察道・作業道整備	県内	計
0.2ha	0.5ha	6.8km	1139人	1139人
樹種：スギ、ヒノキ				
実施場所：愛知県瀬戸市				



間伐

森は海の恋人 「うなぎの森植樹祭」事業

(一社)大阪府木材連合会

大阪市西区新町

●事業概要

生物の命は海で発生し、山と海は川でつながり一体となっている。森をきちんと管理することがいかに生命の連鎖に必要なということの人々に体感してもらい併せて大阪の淀川に絶滅危惧種のうなぎを復活させる為に森林保全活動を行うことが目的である。主な活動は、ナラ枯れなどの被害で森林が荒廃している大阪の北摂の高槻市榎田地区にて、広葉樹植栽を行うと共に防シカ柵の設営を行う。

●事業成果

今年度新たに得られた成果等：業種の垣根を越えて、木材関係者のみならず、漁業組合、ボランティア団体、ロータリークラブ等が参加し、大きなつながりを形成することができたのは今後の更なる拡がり期待できる。また、各種のマスコミ等にて大阪でも森は海の恋人活動を実践していると掲載していただき、一般の方へPRできたのは今後の活動の更なる発展につながるものと期待している。

●自己評価

参加者が220人と多数となり、植樹の指導等が行き渡ったかどうか反省される。

●参加者の声

- ・森と川、海がつながっていることや森の循環について学ぶ良い機会になりました。(学生)
- ・植樹により淀川のウナギが増えてほしい。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	除伐面積	間伐面積	府内	計
1.2ha	220本	1.2ha	1.2ha	220人	220人
樹種：ヤマザクラ、ヤマボウシほか					
実施場所：大阪府高槻市					



ウナギの森植樹祭

豊かな自然の復元を願って=生物 多様性豊かな森づくり

(一社)ブナを植える会

神戸市灘区鶴甲

●事業概要

ブナの苗畑づくり、ブナの植樹、育樹のための草刈りなどを、緑の少年団や小学校などの野外活動・環境教育の一環として行う。

●事業成果

①昨年までの成果等

試行錯誤しながら環境学習を行ってきた。

②今年度新たに得られた成果等

続けてきた環境学習の成果に確信を持てるようになってきた。

●自己評価

これまで植え育てているブナが立派に育っている。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	樹勢回復	除伐面積	県内	計
3本	80本	0.3ha	100人	100人
樹種：ブナ				
実施場所：兵庫県香美町				



ブナを植樹

「ひろしま里山未来博」記念植樹祭

(特非) ひろしま人と樹の会

広島市西区鈴が峰

●事業概要

広島県の中山間地域を対象に開催された「ひろしま里山未来博」の一環として記念植樹を行った。里山の営みや豊かな自然に光を与える植樹を通して魅力を発信した。一人1本を植樹することで「山と人」との関係を見直し、もみのき森林公園を訪れる人の増加や地元山村の活性化を図る契機とした。主な活動としては①「ひろしま里山未来博」を記念した式典を開催した。②小室井山山頂付近に記念植樹(レンゲツツジ)を行った。③植樹に当たっては、事前に地拵え、安全に登山するため登山道の整備を行った。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年)

平成28年は初めての山の日祝日を記念した植樹祭を行った。苗木に給水するペットボトルを持って山に登り一人一本レンゲツツジの苗木を植えた。

②今年度新たに得られた成果等

夏の植樹活動であったが熱中症対策に専門の看護師や登山ガイドを配置するなどの注意を払い、体験参加者は健康を損なうことなく活動を行うことができた。

●自己評価

多くの方と共に山の恩恵や里山に対する理解を深めることができた。

●参加者の声

- ・花が咲くころまた来たい。(小学生)
- ・小室井山の山頂がレンゲツツジの園になるのが待ち遠しい。(50代女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	地拵え面積	下刈面積	県内	県外	計
0.1ha	200本	0.1ha	1.6ha	222人	2人	224人
樹種：レンゲツツジ						
実施場所：広島県廿日市市(県立もみのき森林公園)						



レンゲツツジを植樹

「山野草のエキ」保存による里山交流事業

「山野草のエキ」保存会

山口県周南市大字大潮

●事業概要

目的=唯一地域の宝である「山野草の花が350種も咲く森」を保護し、生きた山野草の図鑑化を進め多くの方に喜びを提供。

内容=花の写真プレートをつくり山野草横に立てる事、森に新たな苗を植栽、見学者に分かりやすく、そして、ベンチや手すり等を整備する事で、安心して見学できる環境を整えられた。

●事業成果

①前年度までの成果等

過去の活動はほとんど有害鳥獣被害対策や遊歩道や倒木整備に追われ、それなりに大切で基本的な活動だった、しかも5人でスタートしたボランティア会員も20人以上に増え継続的な成果が期待できる。

②今年度新たに得られた成果等

山野草の花350種が咲く生きた図鑑化を目指し、具体的に見える化が進んでいる事に今後に期待、西日本一の山野草の森が名実と共に実現できそうで、今後の期待と注目度もアップしている。

●自己評価

達成状況=95%

反省点=山野草の花の写真入りプレートがもう少し鮮明に仕上がれば良かった

●参加者の声

会員や見学者の皆さんからは、今回の活動によって将来への期待がさらに高くなったとの声をいただいた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
1500ha	1145本	57人	57人
実施場所：山口県周南市			



山野草のプレートを設置

森づくり活動による 都市・山村交流ふれあい事業

(公社) 徳島森林づくり推進機構

徳島市川内町

●事業概要

目的は、自助努力によって適切な森林整備が難しい森林に対し、企業や地元市町村の住民が一堂に会し“県民総ぐるみで森づくり活動”を行うことで参加者が環境保全の重要性を知り、次世代へ継承できる森林を整備することである。

①主伐後の森林への広葉樹の植栽。②未整備林や過密箇所へのヒノキの間伐。③整備が行き届いていない雑木林の整備。④森林環境教育、県産材を利用した木育広場、木工クラフト、間伐材での丸太切り体験など。

●事業成果

①昨年度までの成果等

平成26年度からは「協働の森へ行こう」を合言葉に、企業・団体が一堂に会するイベントを開催している。

②今年度新たに得られた成果等

今年度初めて県内3箇所で開催した。多くの参加者があり、県民総ぐるみでの森づくり活動に一層近づく成果をあげることができた。

●自己評価

本活動を通じて、確実に環境意識や森林整備への意欲が高まっていることを実感した。雨天時のイベント進行(植栽等)について、安全確保や事前準備が重要であり、今後の活動においても課題となる。

●参加者の声

- ・自然のすばらしさを再認識した。(小学生保護者)
- ・家族で植樹し、良い記念となった。(40代会社員)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.36ha	2720本	0.2ha	0.1ha	657人	13人	670人
樹種：トチノキ、ヤマザクラ						
実施場所：徳島県佐那河内村、美馬市						



トチノキやヤマザクラを植樹

炭焼と日本ミツバチの森づくりPJ

(特非) 北九環浄研

福岡県北九州市小倉南区中吉田

●事業概要

碎石所跡地を市民が親しめて地球環境に貢献する緑地に復元する目的で、植林地、炭焼き場所、講習会場、炭化材料集積場所を借用し、地域の方々の参加を得、環境問題を話し合いながら事業を実施した。温暖化対策に土壌に炭素を貯留する方法がフランスから提起され、日本古来の伝統文化である炭の炭焼体験、効能、使用法の勉強会は子どもからシニア世代まで多くの賛同を得た。近郊農家が農業を空中散布しており、日本ミツバチの採取には至っていないが、地域に無農薬有機栽培法のPRの効果が表れ将来ハチの定着が期待できると考えている。炭づくり、緑化作業は小規模手作業にて取り組み、障害者施設の見学体験会を実施した。また、子どもの自然体験として炭焼体験と炭埋設自然農園での植樹作業を実施した。初めての体験に好評であった。

●事業成果

炭作り、土作り、植樹、獣害対策、ミツバチの巣箱づくり、子どもやシニア層の体験、障害者の仕事づくりと初めての体験を経験した。また、森づくりやミツバチ飼育の専門家の指導を受け、新しい活動仲間とも協働できた。

●自己評価

想定外の獣害及び農業被害によるハチの収集困難性を体験した。碎石所跡地全体の緑化構想に繋げていきたい。

●参加者の声

- ・地球を冷やす炭≒クール炭を色々使用したい。
- ・屋外で身体を使ってする仕事は楽しい。(障害者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.1ha	60本	170人	20人	190人
樹種：花木、果樹				
実施場所：福岡県北九州市蒲生町				



子ども達の炭づくり体験

少年団による水源林整備及び自然体験活動

人吉・球磨自然保護協会

熊本県人吉市大工町

●事業概要

大都市と地元の緑のボランティアや緑の少年団、ローンオーナーが集合して、分収造林地に設置した山荘を中心に、森林に関する様々な知識を習得しながら、植林・間伐などの森林整備活動を行い、地球温暖化防止に果たす水源涵養林の必要性を啓発した。

●事業成果

このような取り組みは、今後多くの市民に森林の必要性を認識させるとともに、緑を主とした国内の温暖化ガスの削減推進に向けて、多大な貢献をするものと確信している。

●自己評価

地球温暖化防止に関わる水源林の仕組みを知る上で、非常に有意義な事業であった。今後は高齢者や緑の少年団の便宜をはかるために、植林地の尾根筋等に歩道を整備したい。

●参加者の声

・地球温暖化防止広報活動のために心をこめて風船につけるメッセージを書きました。今回の活動でしっかりと地球温暖化防止のことを学びました。また来年も参加します。(球磨郡あさぎり町立須恵小学校少年団長)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
3本	0.1ha	0.3ha	130人	30人	160人
樹種：ケヤキ、モミジ					
実施場所：熊本県あさぎり町（松尾国有林）					



ケヤキ、モミジを植樹

新たな林業「クロモジ」による都市山村交流

(特非) 南会津はりゅう里の会

福島県南会津郡南会津町

●事業概要

目的は、過疎・高齢化を始めとした要因で手入れ不足の森林において、アロマの精油が取れるクロモジの植樹を行うとともに、林道整備を都市住民と行うことで新たな森の活用モデルを考えるきっかけとする。主な活動は以下のとおり。①手付かず状態になっている林道を整備し、森林活動をしやすい場をつくった。②スギ林を間伐し、クロモジが生育しやすく、植樹しやすい環境整備を行った。③クロモジを植樹した。

●自己評価

当初目標としていた林道整備、クロモジの植樹については達成できた。しかし、都市住民との交流という点では、筑波大学の学生に手伝ってもらうのが主で、メンバーに広がりを持てなかったのが反省点。今後はより多くの人を巻き込み、知ってもらうことが課題。そうすることにより、新たな森林の活用モデルを多くの人に知ってもらうことで、森林へのコミットメントが増えていく可能性が期待できる。

●参加者の声

・林道整備は、開通した時の喜びがなんとも言えなかった。その後にその林道をマウンテンバイクでサイクリングしたが、最高に気持ち良かった。間伐材を運ぶのは大変だったが、クロモジが5年後、10年後に大きくなった状態をみるのが楽しみ。(大学生)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.2ha	1500本	0.76ha	0.2ha	4人	26人	30人
樹種：クロモジ						
実施場所：福島県南会津町						



クロモジを植樹

A-WASS 循環と共生の森づくり in ときがわ

木と建築で創造する共生社会実践研究会 (A-WASS)

東京都中央区東日本橋

●事業概要

長年にわたり施業・管理が十分に行われていない里山林において、森林整備と木質バイオマス利用を実践するとともに、都市住民と地元の山村住民とが、森林資源の循環的な利用の復活・再生に向けた方策を共に考えるための勉強・交流会（「とき森なりわい塾」）を開催した。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成27～28年度）

当研究会とときがわ町との間で「循環と共生の森づくり協定」を締結し、長期的な視点で森づくり活動に取り組む基盤が整った。また、「とき森なりわい塾」の開催を通じ、中山間地域の現状・課題と取組について理解が深まった。

②今年度新たに得られた成果等

大径コナラ木の伐採とそのチップ・薪材等としての処理が完了した。「とき森なりわい塾」等を通じた地元関係者との意見交換の結果、和紙原料となるコウゾや薪材の栽培を中心に跡地を活用する方向性が明確化し、助成終了後の自立的な活動継続に向けた関係者の理解が深まった。

●自己評価

地元の手漉き和紙づくり関係者や森づくりボランティア団体との連携が進み、今後、事業地においてコウゾ栽培を進めるなどの方向性が明確化した。今後もこれら関係者との連携の下で活動を継続・発展させていく基盤が整った。

●参加者の声

・自分が生まれ育った地元・故郷のことをより深く理解することができた。（ときがわ町出身の大学生）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
整理伐	チップ化	県内	県外	計
0.08ha	約4.5㎡	37人	31人	68人
実施場所：埼玉県ときがわ町（町有林）				



伐採木をチップに

三宅島復興支援緑化再生プロジェクト

日本山岳会「高尾の森づくりの会」

東京都八王子市宇津木町

●事業概要

三宅島は雄山の噴火と高濃度ガスによる被災で森林が大きなダメージを受け、被災森林の緑化が大きな課題となっている。当会は被災森林の緑化再生に取り組むため、08年に三宅村との間で「三宅島・雄山の緑化再生活動に関する協定」を締結した。この協定に沿って、同島の村有林を対象に植樹・森林整備を実施している。

●事業成果

①七島展望台村有林は、火山ガスによる枯損から、ようやくハチジョウススキ等の草本の回復が始まっており、この区域で、タブノキなど1000本の植樹を行った。苗木の活着は良くなってきており森林の回復が期待される。②自然観察園地として整備している甑村有林で植樹地の下刈、園地の刈払い、歩道整備などのメンテナンスを行った。

●自己評価

①これまでの植樹地で活着状況調査を行ったが概ね良好であり、植樹地の森林再生は着実に進んでいる。②甑村有林の園地整備については、散策コースとして村広報に掲載され、村民や村外からの来訪者にも利用されている。③地元三宅島の島民ボランティアの参加が定着してきており、今後もその拡充に努めたい。

●参加者の声

・被災地の緑は再生してきており、この活動を続けたい。（参加者）
・島外から来てボランティアで汗を流していただいております、一村民としても今後参加していきたい。（島内女性）

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	地拵面積	下刈面積	都内	都外	計
0.8ha	1000本	0.8ha	0.6ha	77人	18人	95人
樹種：タブノキ、ヤブツバキ、スタジイ、ヤブニッケイ						
実施場所：東京都三宅島三宅村（村有林）						



タブノキ、ヤブツバキ、スタジイ、ヤブニッケイを植樹

上下流連携の「森活」やまづくり事業

やまづくりくらぶ

東京都世田谷区若林

●事業概要

放置された群馬県川場村のスギ人工林を下流域の世田谷区住民が地元の地権者等と協力して整備する。その際に発生する間伐材を燃料に、里山の手入れで発生する広葉樹やタケとマツを原料として炭焼きを実施する。また、至近年に稼働が見込まれている同村立の木材チップボイラーによる熱供給プラントの燃料用に提供することで「循環型」の森づくりのサイクルを完成し、地元民との協同作業も含めて上下流が連携した持続可能な森の整備活動を確立する。

●事業成果

①昨年度までの事業

広葉樹の炭だけでなくマツやタケについても高品質の炭が出せるようになった。

②今年度新たに得られた成果

すでに間伐は終わったものの、燃料としては量が多すぎるスギ・ヒノキの間伐材については集積するなどの作業を進めた。地元住民との共同作業を進化させるため、間伐から炭焼きにいたる工程を学ぶ共同の勉強会を春に実施。

●自己評価

整備で出た炭材をすべて炭にできるサイクルを確立、その頻度も増加した。一方で、炭材の間伐や運搬・処理など炭焼き作業にかかる時間、また間伐材のボイラー燃料化に向けた搬送などに時間が取られ間伐量が減った。

●参加者の声

・体力がなくとも広葉樹等の整備はできるので、処理の道筋ができれば森の整備に貢献できる。(くらぶのメンバー・世田谷区在住50代)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
3.5ha	1.5ha	4.5ha	30人	148人	178人
実施場所：群馬県川場村					



スギの間伐

伊豆韮山金谷地区竹林整備事業

(特非) 日本の竹ファンクラブ

横浜市都筑区中川

●事業概要

伊豆韮山金谷地区にはモウソウチク、マダケを中心とした10haの竹林が広がっている。担い手不足から拡大した放置竹林を都市住民と地元住民の交流を通じ整備する。本年は2haの竹林を整備した。竹材は灯籠に加工して「韮山竹灯籠まつり」に利用する予定だったが中止となった。チップ化して竹林内に敷設及び近隣農家に配布、堆肥として活用した。

●事業成果

集落を覆うような荒廃竹林を皆伐し民家と竹林の緩衝地帯を作った。後方の竹林は伐採し明るく見通しを良くしたため、イノシシが出て来なくなった。作業には地域の方たちも積極的に参加するようになった。

●自己評価

予定通り2haの竹林整備を終えた。間伐作業やイベントに地域の人たちが積極的に参加するようになった。一方で間伐が進むもイノシシによるタケノコの食害がひどく、いい親竹が残らずきれいな竹林ができない。

●参加者の声

- ・都会の人たちとの協働作業は楽しい。(60代男性)
- ・地域の寄合より交流事業の方が出席率が良い。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
間伐面積 2.0ha	85人	83人	168人
実施場所：静岡県伊豆の国市韮山町			



竹林整備

国民参加による災害に強い森林づくり事業

(一社) Silva

横浜市西区北幸

●事業概要

当該地は、開発行為が行われていたが、業績不振に陥った民間会社から神奈川県へ無償譲渡された土地である。土地本来に生育する常緑広葉樹林に再生する気運が高まり、神奈川県は2008年より森林再生を市民による協働参加型による活動を始めた。具体的な内容は①通年の育樹、②通年の荒廃地の大地再生施工、③通年の各種調査(毎木調査・土壌動物調査・植生調査・出現順植物調査)、④植樹用マウンドの施工、⑤年間2回の公開イベント植樹・育樹祭事業、⑥実地訓練型「森林再生指導員」認定事業など。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成21年度～平成29年度)

平成29年11月の第13回湘南国際村めぐりの森植樹・育樹祭の開催により、累計5万本約1.6haの緑化に繋がった。

②今年度新たに得られた成果等

平成30年5月13日には第14回湘南国際村めぐりの森植樹・育樹祭公開イベントを開催し310名来場。自生種28種2000本を植樹した。

●自己評価

事業は予定通り実施できた。自生種を用いた混植・密植方式に連動した大地再生によるマウンド手当をそれぞれ、半年かけて行い、低コストの上に既存木や既存の土着生物を活かした取り組みが共感者を増やし始めている。

●参加者の声

・準備作業などからお手伝いしたい。(初参加の女性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
植付本数	570人	55人	625人
2620本	570人	55人	625人
樹種：自生種28種			
実施場所：神奈川県横須賀市、葉山町			



自生種を植樹

災害に強い西川広葉樹を育てる交流事業

災害に強い西川町広葉樹を交流で育てる会

横浜市金沢区柴町

●事業概要

目的は、カシノナガキクイムシ等による被害に対処するため、都市住民と地元山村住民との交流・協働により、災害・病虫害に強く、かつ、その用途が多岐にわたる広葉樹・樹種を選定・植栽すること。そして将来にわたり森林機能の維持・増強と地域の活性化に寄与することである。山形県西川町で主に以下の活動を行った。①広葉樹チャンチン・ホオノキを選定、②植栽予定地の灌木・雑草の刈払い・地拵等、③植栽、④都市住民と地元住民による、チャンチン等についての育成・管理の在り方、木質系資材・素材等としての用途・販路拡大上の課題等についての対話集会、有識者による研修の実施。

●事業成果

チャンチンは東北地方の内陸部では初めての樹種で、現地で実践的に行うテストとして、その結果は今後の取組に大きく役立つものと思われる。また、チャンチン、ホオノキは、東北地方内陸の西川町でも20～30年の短い伐期での栽培が可能になれば、地域の活性化に寄与することが期待できる。

●自己評価

地元住民の期待も大きく、今回のテスト的植栽に対し、興味と期待をもって参加する方が多い中、順調に植栽もでき、所期の目的は果たせた。

●参加者の声

・広葉樹の多様な活用方法を理解することができた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.3ha	60本	10人	21人	31人
樹種：チャンチン、ホオノキ				
実施場所：山形県西川町				



チャンチン、ホオノキを植樹

山村と都市住民の交流・協働による 海岸防災林やスキー場跡地等の森林 整備事業

(特非) 森のライフスタイル研究所

長野県伊那市荒井

●事業概要

手入れ不足の森林の整備をすすめていくためには、山村と都市の住民の交流・協働を重ねていく必要がある。そのため、以下の活動を行った。

①下刈り(千葉県山武市・海岸防災林)。②手入れ不足となっている人工林を薪が穫れる広葉樹の森へと再生(長野県佐久市・コナラの森)。③照葉樹林化が進む里山の再生(東京都八王子市)。④スキー場跡地の緑化(長野県長和町→天候不順のため延期)。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成25～28年)

防災林の再生が進んだ(山武市)。薪が穫れる広葉樹の森へと変化してきた(佐久市)。スキー場跡地の大部分が森へと再生されてきている(長和町)。

②今年度新たに得られた成果等

都市住民とのコミュニケーションが円滑に進み出し、森林の公益機能への理解が深まっている。その結果、ボランティアのリピート率が高まった。

●自己評価

海岸林造成の森づくりは、順調に生育している。

前年に秋植えを行った佐久市での広葉樹の森づくり。苗木の活着状況も順調な生育を見せている。

●参加者の声

・今回で5回目です。すくすく育ってほしい。(30歳代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
1ha	3000本	5.9ha	0.3ha	511人	225人	736人
樹種：コナラ						
実施場所：千葉県山武市、東京都八王子市、長野県佐久市						



海岸林での下刈り

山村住民と中京圏・都市住民との 協働による森林ボランティア活動 事業

森林・山村を守る中部圏都市住民の会

名古屋市昭和区滝川町

●事業概要

本事業の目的は、広葉樹林の整備・拡大を通じて、水源地域の防災・水源涵養機能を高めることにある。このため、岐阜県加茂郡白山地内に都市住民と地元山村住民が連携し10月に広葉樹の植樹を行うと共に、防護網で苗木を囲った。また、翌日には、同地区の見学を行った。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年)

白鳥町では、下刈り、スギ伐採等を事前に行った後、広葉樹を植栽、またシカによる食害対策として、筒状器材で防護する作業を行い、「森林の整備と山村の活性化」について対話集会を行った。

②今年度新たに得られた成果等

本事業による植栽地では、防護作業の成果もあってか、シカの食害はこれまでのところ見られず、苗木の成育も順調であった。とりわけ、広葉樹植栽は、施業方式上の新たな方向を地域で追及する有力な契機となり、データの収集・整備等にも寄与することを期待している。

●自己評価

広葉樹の植栽活動は、今後の地域の森林管理の在り方を探求し、今後の指針作り等に活用する上で、相応の役割りを発揮できると考えている。

●参加者の声

・これまで知らなかった森林のことを知ることができた。(都市部参加者 大学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.05ha	60本	0.05ha	19人	8人	27人
樹種：ヤマザクラ、アベマキ、コナラ					
実施場所：岐阜県加茂郡(財産区有林)					



シカ食害防止対策

グリーンベイ OSAKA 森を育てる活動 (海岸防災林の植樹整備)

(特非) グリーンベイ OSAKA

大阪市西区江戸堀

●事業概要

目的：大阪湾岸の都市部に沿った埋立地に、自然林に近い森をつくる。この森は南海トラフ地震などの大震災が発生した際に大阪湾岸の都市部を襲う津波の緩衝帯として機能する。また、平時には市民に緑を提供するとともに、小動物や鳥、昆虫や植物の新たな生態系も育む。さらに、CO₂削減やヒートアイランド現象の緩和にも寄与する。

内容：大阪府堺市の産業廃棄物最終処分場であった埋立地に植樹を行った。植樹予定面積は全体で6haで、今年度の植樹面積は1.3ha。

●事業成果

この地で植樹を始めて10年が経った。その間植樹に参加する人の数は平均して100人を超えている。リピーターのみならず、子どもの数も増加している。子どもの増加がこの活動の重要性を物語っている。今後の環境保全の意識を高めることにつながっていくと考える。

●参加者の声

- ・数年前に植えたところが森のようになっている。びっくりしました。(40代男性)
- ・子どもと参加できて楽しかった。子どもにこういう経験をさせたかった。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加人数	
植付面積	植付本数	下刈面積	府内	計
1.3ha	728本	0.26ha	123人	123人
樹種：ケヤキ、ムクノキ、ヤマザクラ、オニグルミ、クヌギ、コナラ、ヤマモモほか				
実施場所：大阪府堺市				



ケヤキ、ヤマモモほか14種を植樹

揖保川源流の森づくり

兵庫ドングリ千年の森をつくる会

兵庫県明石市材木町

●事業概要

揖保川の自然風土を後世に引き継ぐ活動を通して、地域住民の森林に対する意識を高め、地域で交流をはかり、地域の森づくりを推進することを目的としている。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成13～28年)

平成13年度～平成28年度までは、毎年500本～1500本のドングリ苗木を育て、公園や森林に植樹した。平成19年度からは宍粟市の森林に植えたが、シカの被害が多く発生したので、その対策を行いながらの植樹活動になっている。

②今年度新たに得られた成果等

500本の苗木を宍粟市波賀町に植樹した。シカ対策のため苗木を金網でガードする作業も実施した。

●自己評価

苗木は2年以上育てた高さ1.5m程度が主で比較的しっかりした苗木を植えた。子どもたちや若い方の参加が少ないので、緑の大切さを知っていただくために、広報活動を増やしていきたい。

●参加者の声

- ・ドングリ拾いや植樹会では別のイベントと重なるケースが多くなり、スケジュールの都合で活動の時間が制限されたりするのが残念。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
1ha	500本	2ha	370人	370人
実施場所：兵庫県宍粟市、明石市、姫路市、神戸市				



網を苗木の周りに巻いてシカ対策

大浦干拓防風林保全活動

(特非) 森と木の研究所

鹿児島市桜ヶ丘

●事業概要

目的は、松くい虫被害などで荒廃しつつあった大浦干拓防風林を、干拓地で耕作する土地改良区の耕作者をはじめ地域の人々と協働して保全活動を行った。

保全を図るため、①抵抗性クロマツなどの新植と中下層の防風効果を確保するためウバメガシなどを植栽。②既存樹の生育を期するため下刈り作業を実施した。

①前年度までの成果等(平成27～28年)

地域の人々と抵抗性クロマツなど1400本を植栽した。保全対象地に居住する住民は、これまで防風林の重要性は認識していたが、自ら植樹活動に参加してさらにその意識が高まった。

②今年度新たに得られた成果等

防風保安林の重要性に気付いた地域の人々の提案で、今年度は未立木地にも新たに防風林を育成することとなった。

●自己評価

ほぼ計画通りの活動ができた。今後、下刈りなどの保育作業を地域の人々自ら確実実施していけるかが課題である。

●参加者の声

- ・専門家の植樹指導を受けて本格的な植樹活動ができてよかった。(多くの参加者)
- ・防風林が整備されてうれしい。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.3ha	900本	0.3ha	37人	37人
樹種：クロマツ、ウバメガシ、マサキ、シャリンバイ、ハマヒサカキ				
実施場所：鹿児島県南さつま市大浦町				



クロマツ、ウバメガシほかを植樹

「地球に緑を 桜島を緑に」どんぐりの照葉樹森づくり 第17回 桜島どんぐりころころ植樹祭

桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会

鹿児島市下竜尾町

●事業概要

錦江湾近隣の学校で「緑の少年団」を有する学校(20団体)を実行委員が定期的に訪問し桜島に既存しているどんぐり種採種し種蒔き・鉢上げ・鉢替え等の育苗体験活動を計画的・継続的に体験させ生物の神秘さを味わい、3年間育苗した苗を桜島に植栽する体験活動で森林の役割と地球温暖化防止及び砂防等に関心を高めることを目的としている。

主な活動は、次のとおりである。①下刈り作業。②第17回桜島どんぐりころころ植樹祭。③追肥活動・補植活動。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成14～平成28年)

植栽地は国立公園内(溶岩採石場跡地)で雑草が繁殖していた箇所を、工事で出た客土で整地して植栽、海岸防災林として生まれ変わった。

②今年度新たに得られた成果等

5年連続CO₂吸収量認証の交付を受け、団員は誇りにし、地球温暖化に関心をもちながら取り組んでいる。

●自己評価

計画通り植栽できた。今後一層の充実した植栽活動を進める必要がある。

●参加者の声

- ・学校での育苗活動した体験は植物の神秘さを味わい「豊かな心」の育成に効果があった。(教諭)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.26ha	1021本	1.8ha	692人	7人	699人
樹種：ウバメガシ、アラカシ、マテバシイ					
実施場所：鹿児島市桜島(市有地)					



ウバメガシ、アラカシ、マテバシイを植樹

天売島・持続可能な未来の水源林づくり事業

(一財)天売島おらが島活性化会議

北海道苫前郡羽幌町

●事業概要

はげ山から水源林に蘇った天売の森を島民の手によって後世に引き継ぎ、また、森の恵みを島民や島を訪れる人びとに享受していくことを目的に以下の活動を行った。①枝打ち、間伐、②木材利用、森林空間利用、③主伐、地拵、植樹、下刈り、④事業のPR活動。

●事業成果

森林環境教育では、森の手入れの必要性や島内での木材利用ができることを学んだ。炭焼き・きのこのほだ木づくりでは、木材の有効利用としての活用や島民(島内)が楽しむことに使えることを学んだ。チェーンソー・刈払機講習では、担い手づくりの第一歩を歩むことができた。記念植樹の開催などを通じて、森への関心を高められた。

●自己評価

悪天候等のため山取苗の植樹や主伐作業ができなかったが、その他は予定通り実施できた。スケジュール調整が難しく、臨機応変に対応しているが、取組の広がりには、更なる周知を行い集客を行う必要がある。森林の手入れにより産出される木材の有効利用は始まったばかりで、試行錯誤しながら行っており、引き続き支援が必要である。

●参加者の声

- ・島の森が混んでいて、保水力が低下していることを知り、手入れの必要性や大切さを感じた。(50代男性)
- ・去年きのこづくり(植菌)をしたほだ木から、今年シイタケが発生し驚いた。(中学生女子)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	道内	計
0.1ha	2本	0.1ha	0.2ha	132人	132人
樹種：イチイ(オンコ)					
実施場所：北海道羽幌町天売島					



森林環境教室(枝打ち)

今別町ふるさとの桜樹勢回復再生事業

今別町緑化推進委員会

青森県東津軽郡今別町

●事業概要

目的は、町内会の高齢化のために整備等が不十分になっている町内のサクラの名所海峡さざなみ公園・海峡あすなろ公園のサクラを整備することである。主な活動は以下のとおり。①サクラへの薬剤散布、②サクラの剪定。

●事業成果

剪定をしたことで、サクラの枝の混合が解消され、光が入りやすくなった。それにより、公園が全体的に明るくなり、地域住民の憩いの場としてより良い場所となった。町民からもスッキリして見栄えが良くなったという声があがっている。

●自己評価

薬剤散布及び剪定に関しては、予定通り終えることができ、両公園とも光差し・見栄え共に改善された。しかし、公園のみに限らず、町内に整備が行き届いていないところがあるため、継続的に整備をする必要がある。

実績とりまとめ表

作業内容
樹勢回復
632本
実施場所：青森県今別町



サクラの剪定

みほの里山環境整備事業

美保野小学校地域学校連携協議会

青森県八戸市大字美保野

●事業概要

①児童や地域住民、市民に里山の自然観察及び憩いの場を提供し、自然科学、環境教育、自然や郷土を愛する心の教育を推進する。②美保野小学校校地内の里山を中心とした環境整備を通して、美保野小学校児童、保護者、地域住民、地域の施設団体が一体となって地域を活性化する体制づくりを推進する。

●事業成果

台風被害により、クリ林の木が倒れたり多くの枝が折れたりしていた。また、国蝶オオムラサキのすみかとなるエゾエノキも枯れ、フラワーロードの花苗も必要だった。また、サクラが病気にかかり、近隣の施設から苦情がきていた。この事業により、間伐や下刈り、散策道の整備を行った。また、ヤマザクラやエゾエノキの植樹、キノコの食菌、フラワーロードの花植えも行った。重機や機械に頼らなければならない事も、この事業で整備することができた。

●自己評価

木が倒れ、枝が垂れ下がってとても里山とは言いがたかったが、伐採や間伐などの整備を予定どおり実施できた。以前のような整備された里山にもどり、児童も安全に種々の活動を行うことができています。植樹や植えかえ、苗植えも行い、以前より整備され、景観もよくなった。病気のサクラの木を伐採することもできた。今後も剪定・間伐・下刈りなど定期的な整備が必要である。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	計
20本	1ha	1ha	200人	200人
樹種：ヤマザクラ、エゾエノキ				
実施場所：青森県八戸市（美保野小学校）				



ヤマザクラ、エゾエノキを植樹

西長野古米沢の森林再生事業

(株)花葉館・植栽グループ

秋田県仙北市角館町

●事業概要

当該スキー場は、事業廃止後は何の手だても講じられず荒廃地化していた。この状況を改善すべく、当該地隣接の温泉施設“花葉館”を中心に、近隣住民並びに各種団体・グループと共に(株)花葉館・植栽グループを結成した。仙北市角館町のシンボルであるサクラの植栽を毎年実施し、森と緑の景観の保全、資源の大切さを認識を深め、幅広い年代の交流の場とすることができた。将来的に市民に親しんでもらえる森林公園をめざしている。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成21年～28年）

継続して実施してきたことにより多方面に周知されてきた。サクラの開花時期は、散策スポットとしても年々人気が高まってきている。

②今年度新たに得られた成果等

親子で参加する方も多く市内でも本事業の認知度が浸透してきている。

●自己評価

各関係機関、団体、会社、グループ、個人のご支援・ご協力のもと、無事に植樹を終えることができた。今後は苗木の育成・保全について専門家のご指導を戴きながら進めていきたい。

●参加者の声

- ・将来、満開のサクラの下でお花見したい。(20代男性)
- ・小学校に入学した頃に植えたものが今立派になっている。今日植えた樹もきれいな花が咲いてほしい。(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.3ha	30本	0.6ha	60人	60人
樹種：オオヤマザクラ				
実施場所：秋田県仙北市角館町（旧角館スキー場）				



サクラを植樹

「そだてよう！どんぐりの森」プロジェクト

男鹿ツーリズムプラットフォーム

秋田県男鹿市船越

●事業概要

自分たちの地域の森を、その地域の人たちが中心となって育てていく活動を通じて、自然の大切さ、自然との共生、自然環境の素晴らしさに気づききっかけ作りとして今回のどんぐり植樹を位置付け、持続可能な自然環境を将来に引き継ぐことをねらいとしている。平成26年に幼稚園・保育園の園児たちが「森の教室」でポットに蒔いてどんぐりから育った苗木を園児が植樹し、森林再生活動に繋げようとする植樹会やどんぐり観察会を開催した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26年～29年)

玉ノ池保育園、若美幼稚園、若美南保育園、五里合保育園、船越保育園、脇本保育園、船川保育園の園児たちがどんぐりをポットに蒔き、育ててきた。

②今年度新たに得られた成果等

平成29年11月、成長したどんぐりの苗木を園児たちが植樹した。翌年6月には植樹会場のどんぐりの森でどんぐり観察会を行った。

●自己評価

植樹会は、天候にも恵まれ、とても良い植樹会となり満足している。植樹会場の北浦地区の保育園は4年前の森の教室に参加できず、今回の植樹にも参加できず、とても残念に思われていた。どんぐりが育ったら、地元の子どもたちに植樹してもらい、地域との関わりを深めていきたい。

●参加者の声

・最初はドキドキしたけど上手にできた。(園児)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.05ha	500本	0.1ha	0.05ha	244人	1人	245人
実施場所：秋田県男鹿市						



園児たちが植樹

権現堂しだれ桜保全事業

権現堂地区会

山形県上市市権現堂

●事業概要

上市市指定天然記念物である権現堂しだれ桜は、地域のシンボルとして親しまれており、近年は県内外から多くの観桜者で賑わっている。平成17年1月の大雪による大枝棄損、平成21年の2度の強風被害、そして今冬1月の雪害による大枝の棄損等、上部枝の被害が年々拡大してきている。このままでは樹木全体のバランスが崩れ樹勢維持が厳しい状況になることから、新たに上部大枝に支柱を設置し強風・雪害から守る保全事業を行った。

●事業成果

これまで下部枝への備えはある程度できているものの、上部枝の対応は枝張りの拡大の割には十分でなかった。近年の異常気候や強風・雪害による大規模な被害が懸念される中、この度の上部枝への新たな支柱設置による補強工事は地区民の注目するところであり景観維持に大いに期待されている。

●自己評価

今回の支柱箇所は5箇所であるが、大枝の位置からして2本立ちが不可能な所が2箇所あり、止むを得ず1本立ちとなった。サクラの位置からして想定外の厳しい作業環境で止むを得なかったものの、計画の段階でもう少し精査すべきであった。

●参加者の声

・今回の補強工事で台風・大雪に対して対応できるのではないかと期待する声が多かった。(除草作業に参加した老人クラブの会員)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
樹勢回復 1本	28人	28人
樹種：シダレザクラ		
実施場所：山形県上市市		



大枝に支柱を設置

川内ふるさと触れあいの森づくり

川内村商工会

福島県双葉郡川内村

●事業概要

東日本大震災に端を発した原子力発電所の事故による汚染により、川内村民の多くは今まだ避難生活を余儀なくされている。そうした現状から、①地域の絆とコミュニティの再構築のために集う場所をつくる。②村民が慣れ親しんだ里山を身近に感じられる癒しの場所・ふるさとの森をつくる。これらを目的に植樹した。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成28年度）

川内村の樹種を植樹することで、家族と入所者さんが散歩するさいに昔話のきっかけとなり、会話が弾み、緑を見ることで落ち着きある生活を営んでいる。

②今年度新たに得られた成果等

スコップ等で作業するさい、参加者自らが声を出して周りに注意喚起をし安全に対しての意識が高くなった。

●自己評価

- ・植樹する際、何年後かの生育状況を考えながら、樹種の配置をする必要がある。
- ・車椅子で散歩することを踏まえて、スロープは整備作業を継続して行う。

●参加者の声

- ・入所者と散歩したい。（特養職員・40代女性）
- ・木々が生育して他の動植物が観察できるようになり教育の場としても活用されればいいと思う。（60代男性）
- ・村内の子どもたちと入所者との交流の場所になってほしい。（50代女性）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.02ha	225本	44人	44人
樹種：コナラ、シラカバほか			
実施場所：福島県川内村（特別養護老人ホームかわうち）			



コナラ、シラカバほかを植樹

大生神社の社叢整備事業

鹿行森林クラブ

茨城県潮来市大塚野

●事業概要

目的は、大生神社の社叢が荒廃している為に、枯損木の処理や傷んでいる古木の再生により地域の信仰の対象である神社及び社叢を整備することである。

主な活動は、①神社総代との打合せ、②関係者全員での“お祓い”、③枯れ枝の整理、④高位置折れ枝の処理、⑤大径枯損木の伐採、⑥不要木の除去、枯れ枝処理を行った。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成29年）

地域の神社総代からの信頼を得られ、整備活動に積極的な協力をして頂いた。神社の月例祭礼に間に合うように不要木処理を行い、感謝された。高所作業車を使う安全に配慮した作業技術は参考になった。

②今年度新たに得られた成果等

樹木医の枯れ枝処理や樹勢涵養の技術は、大いに参考になった。全体として、地域住民との関わりや信頼関係を深められ、由緒ある神社の社叢の樹勢回復が見違えるようになり、損傷の激しい御神木が新たな時を刻み出したようになった。

●自己評価

樹木医との交流、意見交換、技術習得の機会が得られたことは、今後の活動に大いに役立つものであった。

●参加者の声

- ・神社の周囲がスッキリして、防犯上も安心して参拝できるようになった。（65歳男性）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	除伐面積	県内	計
1.5ha	1.5ha	46人	46人
実施場所：茨城県潮来市（大生神社）			



社叢

連取の笠松保全活動

群馬県樹木診断協会

群馬県伊勢崎市波志江町

●事業概要

目的は、地域の象徴的巨木：県指定天然記念物「連取の笠松」の樹勢回復を図ることで、地域全体の活性化に資するため主な活動は、地域住民が長年にわたり保全活動を行っている「連取の笠松」（別名老松）と隣接して生育し常に一体として手入れをされている「若松」に対し、根元部の土壤改良及び施肥を行った。

●自己評価

参加予定者が高齢者が多く作業の進行に不安があったため、事前に実施できる作業を行って効率よく進行できる準備を行った。会からも弁当、お茶を用意してもらい、時間が長引いても完了できるようにした。参加者は毎年保全活動に参加している熟達者が多く、意欲的に作業に取り組んでもらえた。

●参加者の声

- ・1717年に植えたという記録があり、今年は300年目にあたる。300周年を祝って誕生日プレゼントができ大変喜んでいる。地区のシンボルである笠松を守り、次世代に引き継いでいきたい。（地元区長）

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
土壤改良・施肥	県内	計
1本	36人	36人
樹種：クロマツ		
実施場所：群馬県伊勢崎市（菅原神社）		



根元部の土壤改良と施肥

生物多様性のある里山の森づくり

埼玉県立浦和第一女子高等学校 麗風会

さいたま市浦和区岸町

●事業概要

人の手が入っていなかった里山を整備し、現状の自然を生かしながら森を再生する。また、世代を超えて森林の恩恵を学び、守り育てていく。あわせて専門家の指導により、生物多様性の保全に努め、地域本来の植生を取り戻し、地域の人々にとっても憩いの場となるよう努めたい。

●事業成果

下刈り、林内整備作業を行うことにより、森林づくりの大切さや樹木に対する興味、樹木の生育により環境などに興味をもつことができた。参加した人が森林に親しみながら森林の持つ力（国土の保全、水源かん養など）について体感し学ぶことができた。

間伐した木材から作成したコースターや、森林内に生育している絶滅危惧種・準絶滅危惧種のポストカードを作成して、森林活動の様子とともに展示し、来場者に好評を博した。

●自己評価

農林公社の指導の下、安全に作業を行うことができた。夏場の下刈り作業では、気温上昇のため午後の作業を打ち切った。こんなところからも自然相手の作業の難しさを痛感した。3月には、森林内散策、参加者全員のダンスを行い、森林の恩恵を満喫した。

●参加者の声

- ・生物部の活動として参加。久しぶりの野外、短いノコギリで木を切るのも楽しかった。（高校生）
- ・林内整備作業のあと森を見渡してみたら、見違えるほどキレイになり爽快だった。（50代女性）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	除伐面積	県内	計
0.61ha	0.5ha	513人	513人
実施場所：埼玉県寄居町			



林内整備

旧岩崎家末廣別邸の森再生維持事業

旧岩崎家末廣別邸管理支援ボランティア末廣倶楽部
千葉県富里市日吉台

●事業概要

本会は、国登録有形文化財「旧岩崎家末廣別邸」の景観を取り戻すため、市と連携して敷地の維持管理作業を支援し、末廣別邸の森の再生と、同別邸を広く周知するための活動を行っており、今年度実施した主な活動は以下のとおりである。①敷地内の下刈りと枯れ枝類の収集、②倒木整理に伴う薪作り（市民に無償提供）、③落ち葉などを利用した堆肥作り（市民に無償提供）、④実生苗木の育成、⑤伐採竹を利用した柵作り、⑥小学生ボランティア体験、⑦植物観察会（2回実施）、⑧富里市主催特別公開支援（2回実施）。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成28年度）

平成28年度より本会と市職員による現地活動（基本週2回付・木曜日の午前中）によって倒木整理や竹林の伐採などを続けて来たことにより、山野草の増加が確認されている。

②今年度新たに得られた成果等

会として機材の新規購入が図れ、特に下刈りと倒木整理は作業工程を組みやすくなった。また、各種体験事業を実施したことにより、多くの市民が末廣別邸の自然に興味を持っていることが確認でき、入会者の獲得にも繋がった。

●自己評価

体験事業などは予定通りに実施することができた。

旧岩崎家末廣別邸の保護に対して理解者を増やすことができたと考える。

●参加者の声

- ・市民がこのような形で関わっているとは知りませんでした。機会があれば作業に参加したい。（60代女性）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
下刈面積	倒木整理面積	苗木育成	県内	計
1.0ha	0.5ha	43株	519人	519人
実施場所：千葉県富里市（国登録有形文化財「旧岩崎家末廣別邸」敷地）				



ヒノキ林の下刈り

桜の弘法山、森林再生事業

市民による森林づくり実行委員会
神奈川県秦野市桜町

●事業概要

はだの一世紀の森林づくり構想の推進に当たり、市民主体の植樹・育樹・活樹事業を実施することにより、市民の森林・里山の循環及び保全に対する理解を深めることを目的に毎年植樹事業を実施している。森林を市民共有の財産としてとらえ50年かけて再生し、さらに50年かけて適正に維持管理することにより、人と自然が共生した秦野らしさのある森林づくりをめざしていく。

●事業成果

平成元年～平成19年度 照葉樹の森づくり事業

平成20年～ 秦野市植樹祭として実施

荒廃が進む弘法山の再生をめざし、今年度は権現山中腹で植樹祭を開催した。伐採木は、登山道の補修等に活用し、資源の循環に努めた。昨年度の植樹地は、整備後、日が入り稀少植物（キンランなど）が見られるようになった。

今回の植樹地は整備前、うっそうとしていた森林が、整備後は、日が入り明るくなり、植樹地内にも人が入れるようになり、自然に散策路ができた。

●自己評価

- ・昨年度の反省点が改善できた。（植樹地区分、指導配置、自然観察会の開催）

●参加者の声

日頃、見落としていた様々な野草の花を見ることができ、自然観察会ができて良かった、楽しかった、数年後に自分たちが植えた木が生長することが楽しみなどの感想をいただいた。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.25ha	155本	0.2ha	0.2ha	202人	21人	223人
樹種：ヤマザクラ、イロハモミジ、コナラ、コブシ						
実施場所：神奈川県秦野市（市有林）						



ヤマザクラ、イロハモミジ、コナラほかを植樹

阿賀町中ノ沢地区天然スギ巨木の森整備事業

(特非) お山の森の木の学校

新潟県東蒲原郡阿賀町

●事業概要

目的は、阿賀町中ノ沢渓谷森林公園「天然スギ巨木の森」の整備・活用を通しての森林公園及び山村中ノ沢の活性化であり、主な活動は、①事業イベントを通しての「天然スギ巨木の森」のPR、②既存遊歩道の再整備、③「天然スギ巨木の森」までの新たな作業道整備、④森林公園内の植生調査である。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成27年度～平成28年度)

新潟大学農学部の協力によりスギ巨木の森整備ルートの測量及び整備構想が提案され、町長を初め多くの関係者の出席を受けての事業キックオフイベントが開催された。その後、地元住民及びボランティアの協力により、丸木橋の設置、小枝の階段づくりが進められた。

②今年度新たに得られた成果等

天然スギ巨木の森整備作業道の完成後にオープニングイベントを開催、地域活性化の一助となった。

●自己評価

新潟大学の協力による実地測量・植生調査とボランティア組織「裏五頭の天然スギに集う会」によるNPOが作る自然と人に優しい道づくりは、そのコンセプト及びでき映えは高く評価できる。今後は、整備した森の維持と更なる活性化に向けた活動を継続させたい。

●参加者の声

- ・実地測量は大変でした。(20代女性)
- ・オープニングイベント、沢山の人達の参加の中、無事終了でき良かった。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
草刈り	道づくり	県内	県外	計
500m	300m	114人	1人	115人

実施場所：新潟県阿賀町（生産森林組合共有林）



遊歩道整備

鬼太鼓の森再生事業

鬼太鼓の森づくり協議会

新潟県佐渡市千種

●事業概要

「鬼太鼓の森」は、佐渡島の伝統的芸能である「鬼太鼓」で使用される太鼓やバチ等の材料となるケヤキ等を国有林に植栽し、保育するなどの森林整備活動を継続している。平成19年に造成されて以来、当協議会とボランティアにより活動を実施してきたが、植栽木周辺のスギ等による日照不足や積雪圧の影響で植栽木の生育状況は思わしくない。

今年度は、被陰木であるスギを伐採するとともに、一般市民の関心を高めるためのイベントを開催した。具体的には、ケヤキ植樹や鬼太鼓の演舞の鑑賞、「鬼太鼓の森」の木(スギ)を使用したコースター作りを行った。

●事業成果

スギの伐採を行ったことでケヤキ等の植栽木の光環境が改善された。また、ケヤキ大苗を斜面へ植栽したことから積雪圧の影響は低減される考えられる。さらに、植樹イベントに参加した人達に対し、鬼太鼓の森の存在やその目的について伝えることができた。

●自己評価

スギの伐採等は計画通りに実施され、十分な光環境が確保された。一方、イベントへの一般参加者数が目標に届かなかったため、参加したくなるイベント内容の検討や更なる「鬼太鼓の森」の周知・PRが必要である。

●参加者の声

- ・「鬼太鼓の森」という場所があることを今回初めて知った。今後も参加したい。(40代会社員)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.04ha	60本	1.6ha	0.04ha	32人	2人	34人
樹種：ケヤキ						
実施場所：新潟県佐渡市						



ケヤキを植樹

「ふるさと絆の森」再生事業

石川フォレストサポーター会

金沢市古府

●事業概要

目的及び活動内容は以下の通り。

小松市「原生の森」：平成27年に全国植樹祭が行われた会場の育樹活動を行うと共に、隣接する樹林区域の除伐を行うことで、安全に楽しく憩える森を提供すること。

輪島市道下：「能登半島地震」の震源地に近い、道下地内の仮設住宅跡地には復興を象徴するメモリアルパークとなっている。法面を中心に、森林再生の取り組みを行うことで地域のシンボリック空間を提供すること。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成25～28年）

「原生の森」では植樹祭の翌年平成28年より植樹区域の下刈りを行うことで、植栽した樹木は順調に生育している。

輪島市道下では、植栽した樹木は順調に生育している。

②今年度新たに得られた成果等

「原生の森」では、下刈りに加えて隣接する竹林からの侵入竹除去作業も開始することで、参加者は継続した保育作業の重要性を再認識した。

輪島市道下では、植樹後4年目の樹木の枝打ち作業も開始した。

●自己評価

「原生の森」では、樹径30cm強に及ぶ樹林帯の伐採木の玉切りを行い筋置きを行ったが、傾斜地につき、その移動時に危険を伴った。次回からは、傾斜地の大径木の除伐作業は、ベテラン会員のみによる作業区域とし安全を確保する。

●参加者の声

・下刈り前後で景観が改善され達成感を感じた。(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	除伐面積	県内	計
2.53ha	0.35ha	139人	139人
実施場所：石川県小松市、輪島市			



下刈り

越前和紙の里 景観整備事業

五箇地区まちづくり協議会

福井県越前市大滝町

●事業概要

目的は越前和紙の産地らしい景観づくりを行うものである。主な活動は、和紙の原料であるミツマタ・ガンピの植樹と下刈り。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成27年）

越前和紙の里景観整備事業として、和紙の里のシンボルロード周辺約400mに和紙の原料となるミツマタ・ガンピの苗を計250本植樹し下刈りなどの整備も行った。

②今年度新たに得られた成果等

今年度は、和紙の神様を祀る大瀧神社周辺や和紙の観光施設周辺に植樹を実施した。また、平成27年度に行った植樹事業に共感いただいた方々の土地にも植樹することができた。景観づくりの重要性など認知いただくとともに、この事業が広がる可能性を確認できた。

●自己評価

地域の住民の方から、空きスペースにミツマタを植えたという声やもっと植樹エリアを増やしたらという声上がるなど、景観整備に対する意識が高まり、計画通りの植樹ができた。

●参加者の声

- ・和紙の原料について知ることができた。(小学6年)
- ・和紙の里らしく景観が整備されると、きれいな街並みになると思う。今後も協力していきたい。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
1ha	400本	0.5ha	100人	100人
樹種：ミツマタ、ガンピ				
実施場所：福井県越前市				



ミツマタ、ガンピを植樹

ふるさとの森林再生事業

笈松区自治会

福井県丹生郡越前町

●事業概要

目的は、昔に和紙の原料として栽培していた（獣害に強い）ミツマタを植栽し復活させることで、獣害対策とあわせて良好な景観をつくり、笈松地区の活性化を図る。主な活動は以下のとおり。①植栽地の草刈等の事前準備。②ミツマタ苗の植栽。また今後は以下の活動を行う予定。①目印を付け、苗木周辺を草刈。②（和紙原料として収穫できそうであれば）町内・外から一般参加を募り、収穫体験会を実施し、原料として県内和紙組合へ出荷。

●事業成果

地域一丸となって、道ぎわ周辺の草刈から始まり、ミツマタを植栽することで、区民の地域活性化における意識を向上することができた。またミツマタをきっかけとして、町内外の方々との交流の可能性を確認した。

●自己評価

ミツマタ植栽自体は順調に進んだが、集落センター周辺での植栽本数が想定より多くなり、苗木が不足することになった。今後は、ミツマタから種子を採取し、自ら苗を育成したい。

今回、区民を主として、若干名地区外からの植栽参加があった。地区の高齢化を考慮すると、今後は和紙原料としての収穫体験会等を企画し、地区外との交流をすすめていく必要がある。

●参加者の声

- ・植栽後、ミツマタが根づいている。これからは楽しみ。(70代男性)
- ・晴天だったので、気持ちよく汗をかいた。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	草刈、清掃	県内	計
1100本	0.2ha	60人	60人
樹種：ミツマタ			
実施場所：福井県越前町			



ミツマタの植樹

彦谷の里 里山保存継承事業

自治会二本木区

岐阜県高山市清見町

●事業概要

昔より里山として利用されてきたが、人手が入らない森林となり生態的にも生産機能からも不健全な林となっている。そのため森林の持つ多面的機能の向上を図るうえには、どのような施業や人のかかわり方が必要であるかを検証するため、試験区を設定し、調査比較及び森林施業を行い、地域の3分の2を占める広葉樹林の見本林やガイド林の整備により多くの人が入山し関心を持つ山として整備した。

●事業成果

①前年度までの成果等（昭和59年～）

モデル林整備後、30数年経過し設置、当時は林業技術者等の研修場所として利用されていたが近年は、活用がなされていない状態であった。

②今年度新たに得られた成果等

入山できる環境整備を行ったことにより、広葉樹の整備の必要性や里山に親しむ活動場所としての位置づけが確立された。多くの方に親しんでいただくことができる環境整備と広葉樹の大径材施業についての間伐について、数値的資料を次世代に繋ぐことができた。

●自己評価

作年度までは、活動の場所の整備が中心であったが、今年度からは多くの方に、入山して活動できる場所となった。

●参加者の声

- ・ブナの原生林から湧き出す水を見て感動した。(小学生)
- ・広葉樹の施業について、これからの課題が見えた今後も観察していきたい。(林業を学ぶ学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
2ha	1.0ha	1.4ha	76人	93人	169人
実施場所：岐阜県高山市清見町					



森林整備

富士のさと森づくり事業

(特非) 土に還る木森づくりの会

静岡県御殿場市竈

●事業概要

施設規模が18万㎡と広大で、全国の青少年教育施設として中核的な施設でありながら、施設エリア内の樹木、自然環境の整備は不十分であった。平成26年度より「富士山麓の施設に相応しい森づくり」と「青少年の拠点施設にマッチした森づくり」を計画的に実施する。

●事業成果

①施設内の植栽計画（ゾーニングと既存ゾーンの見直し）を立案し、ほぼ計画通りの植栽を達成できた。②施設内の常緑樹を伐採、枝打ち、間伐し景観が改善された。③遊歩道の整備を行い、自然観察コースの充実が図れるようになった。④キャンプ場周辺の樹種転換を計画通り、ほぼ達成できた。⑤スギ、ヒノキを伐倒し、キャンプ場周辺の景観が改善された。⑥クヌギ、ミズナラ、イロハモミジの広葉樹の植栽を予定通り実施した。⑦伐倒後のヒノキを活用し、ベンチ・木製遊具・歩道を制作し環境整備を行った。

●自己評価

平成29年度は外注業者による高所作業の伐倒業務委託などNPOの伐倒や伐倒後の材料活用、樹種転換は計画通り達成し。ただし、地方関係団体（財産区等）は作業日程の調整が難しかった。

●参加者の声

・ふじの麓の人工林を本来の姿に戻し、多様な森づくりが始動され、資源の有効利用にも取り組まれ感激しました。（御殿場市民活動支援センター）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	間伐面積	県内	県外	計
3ha	150本	2ha	10人	19人	29人
樹種：イロハモミジ、ミズナラほか					
実施場所：静岡県御殿場市					



イロハモミジ、ミズナラほかを植樹

学校のシンボル「メタセコイヤ」の樹勢回復

知立市立知立中学校PTA

愛知県知立市広見

●事業概要

シンボルツリーであるメタセコイヤの樹勢回復をめざした土壌改良工事を樹木医や造園業者に依頼して行った。

主な活動として、下記の通りである。①平成28年度の土壌改善工事の効果の確認。②土壌改良およびタフパーキング設置範囲の拡充。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成28年度）

昨年度の事業で根の伸張を阻害していた縁石を撤去したこと、および、水分や栄養分、空気の通り道の確保等、土壌改善を図ったことで、幹から放射線状に細かい根がたくさん伸びていることが確認できた。

②今年度新たに得られた成果等

昨年度行った土壌改良の範囲の外側に新たに土壌改良工事を行った。それによって、健全な根の育成が期待できる。事業について広く発信することで、保護について、また、地域の環境保護への意識を高めることができた。

●自己評価

計画通り、樹勢の回復のための活動を実施することができた。今後も、地域、学校で継続的に保護に向けて、積極的に取り組んでいくことが重要である。

●参加者の声

・来年度、元気に葉を茂らせるメタセコイヤを見るのが楽しみだ。（60代男性）

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
樹勢回復	県内	計
1本	12人	12人
樹種：メタセコイヤ		
実施場所：愛知県知立市（知立市立知立中学校）		



土壌改良

名勝三多気の桜維持管理事業

伊勢地景勝・史跡保存開発事業委員会

津市美杉町

●事業概要

国指定の名勝「三多気の桜」は、かつては2000本余りあったとされているが、現在は400本足らずとなり、古木も多く、周囲の環境変化による樹勢の衰えが見られる。また、多数の個体にヤドリギが寄生しており、根系の侵入によって腐朽が進む事が懸念される。さらに、ヤマザクラに寄生するヤドリギが美しい桜の景観を損ねていることから、ヤドリギを除去し、名勝にふさわしいサクラ並木を維持することで眺望景観を保存する。

●事業成果

当該事業で45本のヤドリギを除去した結果、サクラ並木の眺望景観の形成を図ることができたが、当該地区のヤマザクラには、まだまだヤドリギが寄生しているため、今後も継続して除去を行っていききたい。

●自己評価

ヤドリギを除去することができ、4月のサクラシーズンに合わせて素晴らしい眺望景観の形成を図ることができた。

●参加者の声

・開花シーズンには、各地からたくさんの方が来てくれるので、それまでに景観を損ねているヤドリギを除去いただいでよかった。(三多気の桜景観保全会会長60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
ヤドリギ除去	8人	8人
45本	8人	8人
樹種：ヤマザクラ		
実施場所：津市美杉町		



ヤドリギの除去

海津大崎のサクラ並木樹勢回復事業

美しいマキノ・桜守の会

滋賀県高島市マキノ町

●事業概要

近年、テングス病の蔓延や観光客による地面の踏み固めなどにより樹勢の衰えが目立ってきたため、テングス病の罹患部分剪定、枯れ枝の除去および土壌改良を行い樹勢の回復を図る治療を行った。

テングス病の見分け方や剪定後の処理方法、土壌改良の方法など正しい知識と今後の会員自らが行う保全作業について樹木医による現地指導を行った。

●事業成果

テングス病罹病枝や枯枝の剪定、土壌改良により樹勢の回復が図られた。

●自己評価

特に樹勢の衰えが目立っていた区間について実施することができたが、一部高圧電線付近の剪定は見合わせた。勉強会(現地指導)では、これまであまり意識していなかった踏圧に対する保全の方法を学ぶことができ、保全意識の向上と技術の習得につながった。

●参加者の声

・実際の作業を目の当たりにして、これで桜守の活動も頑張らなあかんし、観光客の方にもこういった手入れをしていることを知ってほしいと思った。(60代男性)

・これまでテングス病ばかりに目が行っていたが、踏圧による影響も大きいことを理解でき、その対応方法も教えてもらったのでよかった。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
樹勢回復	26人	26人
71本	26人	26人
樹種：ソメイヨシノ		
実施場所：滋賀県高島市マキノ町		



土壌改良及び現地指導

上宮津スギの森保全事業

上宮津21夢会議

京都府宮津市字小田

●事業概要

目的は、宮津市杉山に遺存する貴重な天然スギの群落を探究し、この群落を維持するための普及啓発と多様な森林機能の保全活動を行うことである。主な活動は以下のとおり。①空中写真等による天然スギの分布調査、②天然下種の誘導と採種、挿し木による種苗生産、③育樹祭の開催と天然更新した若齢林の刈り出しや枝打ち、ツル切り。

●事業成果

①自然の森の魅力を、地域住民等に紹介することができた。②採種作業は高所作業となること、また豊凶があることから、一般参加による取り組みとしては困難。挿し木は幼齢天然スギから穂木を採ることで、一般参加の作業として可能。③ネマガリダケを刈り払うことで環境が良くなった。若木の枝打ちやツル切りも健全木の育成に効果が出ている。④杉山育樹祭では、一般市民等80名の参加で、地域特有の森の魅力発信とこれを守る活動ができた。

●自己評価

事業は概ね計画どおり進めることができたが、①天然スギ分布図づくりは情報収集にとどまり今後の課題となった。②群落維持のために必要な天然下種更新、挿し木苗づくりは可能性が見出せた。③保育作業により順調に生育を続ける若齢林は展示林としたい。

●参加者の声

・森を育てる作業ということで、子どもも張り切って刈っていました。次の世代へ良い状態で残していけるよう、日々の手入れが必要だと感じました。(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	府内	計
0.3ha	564人	564人
実施場所：京都府宮津市、京都市、福知山市、京丹後市		



森林整備

妙見山のブナ林バッファゾーン整備事業

能勢妙見山ブナ守の会

大阪府豊能郡能勢町

●事業概要

大阪府の天然記念物「妙見山のブナ林」は大変希少な森であり、毎年たくさんのハイカーが訪れているが、近年シカの被害などで後継樹が育たず存続の危機にある。そのため当会ではブナ林内のコアゾーンでギャップ更新を促進すべく整備をしてきたが、ブナ林の拡大は難しい状況にある。そのため、本事業においてはコアゾーンに隣接する場所をバッファゾーンと設定し、長年放置されている人工林を本来の環境に適したブナ林に戻していく作業の端緒とする。

●事業成果

ブナ林に隣接し長年放置されていた人工林に手を入れる事ができ、ブナ育成のためのギャップが得られた。今回、防シカ柵を設置し、現地で採れたブナの実生苗を植樹することができ、自然な植生が回復することをめざす。

今回の事業によりブナ林を広げていくためのきっかけができたと同時に、防シカ柵を設置したことで今までシカの食害で妙見山から消えていた様々な植生のシェルターとなることを期待する。また、本事業はハイカーが多い大阪府自然遊歩道沿いで実施したため、多くのハイカーにブナ林の大切さやシカの食害について考えるきっかけになってくれるのではないかと。

●自己評価

今後は広報活動にも力を入れ、できるだけ多くの方に関わっていただきブナ林保護の輪を広げていきたい。

●参加者の声

・苗が大木になるのかと深い感慨を得た。(会員)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	除伐面積	間伐面積	府内	府外	計
0.002ha	10本	0.5ha	0.5ha	15人	9人	24人
樹種：ブナ						
実施場所：大阪府能勢町						



防シカ柵内での植樹

豊かな自然の復元を願って=ふるさとのブナ林再生事業

(一社) ブナを植える会

神戸市灘区鶴甲

●事業概要

スキー場の上部に私たちが植えてきたブナを守り、ブナ林を再生していく。

●事業成果

①昨年までの成果等

植えてきたブナが大きく育っている。

②今年度新たに得られた成果等

この取り組みを多くの人に知ってもらうため、私たちが植え育ててきたブナ林の入口に標柱を立てた。

●自己評価

森を見ると、育樹作業を続けてきて良かったと感じている。

●参加者の声

・ブナ林の再生に協力できてうれしい。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
標柱の設置	17人	17人
実施場所：兵庫県香美町		



植樹したブナが成長してきた

憩いの場としての健全な森林づくり

(特非) 森づくり奈良クラブ

奈良市高畑町

●事業概要

目的は、人工林の間伐を行い、雑木の除伐による景観を回復し、憩いの場として整備。人工林の間伐に際しては、選木から搬出までの基本と機器(チルホール・引っ張りだこ)の取扱方法の研修を同時進行、加えて、チェーンソーの手入れ・目立ての講習実施。一般参加者には、雑木の除伐、間伐材の枝払い・皮むき・玉切りを作業を通して、楽しさと整備の必要性を体感してもらった。

●事業成果

作業地の人工林は傾斜がきつく、雑木は人工林内と遊歩道との間にある沢沿いに多く、足場が悪く、また久しぶりの本格的な間伐でもあり、安全を期して、作業の基本からの研修を同時進行で実施。結果安全に対する意識と技術力の向上がみられた。機器の取扱いも習得。完了後の現場は、陽が入り込み明るくなり、道行くハイカーからは感謝の言葉がかけられた。体験会に参加の皆さんには、作業の楽しさと、整備の必要性を体感してもらい、次回活動参加の動機付けにもなった。

●自己評価

所期の目的は達したものの、メンバーの技術、並びに小グループでの作業に対する認識の差があり、作業中の目配りがかなり必要であった。

●参加者の声

- ・ノコギリの使い始めは、苦勞したが慣れてくると面白い。(参加した子どもの保護者)
- ・皮の剥きたての木肌は、赤ん坊の肌のように気持ちいい。(小学低学年女子)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.3ha	0.6ha	164人	24人	188人
実施場所：奈良県大和郡山市矢田町(県立矢田山自然公園)				



間伐材の皮むき

吉野 落葉樹・どんぐり苗返しの森造り森林再生事業

(特非) 地球と未来の環境基金

東京都千代田区神田須田町

●事業概要

奈良県吉野町において、「森林多様性の自然環境」を目指し落葉樹林を再生することである。また、同再生において、地域の子どものための環境教育の場のモデル事業地とすることも織り込んでいる。

主な活動は以下の通りである。①立ち木伐採後荒廃し、中低木性の樹種が植生している場所で除伐、地拵え。②地域の子どもたちが森でクヌギのどんぐりを拾いポットで育苗。③子どもたちが育てた苗木と調達した苗木を地拵えした場所で植栽。④植樹した場所の下刈り。

●事業成果

子どもたちが森で拾ったどんぐりを育苗する活動が、スギやヒノキなど針葉樹を中心としたエリアで実現した。皆伐後、再植林ができず荒廃していた場所が落葉広葉樹として、子どもたちの環境教育の場となったことについて地主の方も喜んでいて。また吉野町教育委員会との連携も実現でき、今後の森づくりの活動基盤が整った。

●自己評価

どんぐりの苗をポットで育てる活動については、子どもたちが通う保育園等で育苗に関する知識が不足していたことから、生育状況が良くなかった。

●参加者の声

・自分で拾ったどんぐりが苗木になって、それを森で植えるという体験は、子どもの記憶にも残り、人間形成上でも良い影響が出そうだ。(参加幼児の親)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.4ha	150本	0.8ha	34人	11人	45人
樹種：クヌギ					
実施場所：奈良県吉野町					



クヌギを植樹

境港市竹内西緑地マツ林復元・整備事業

竹内マツ植樹隊

鳥取県境港市竹内町

●事業概要

目的は、荒廃した竹内西緑地をかつての美しいマツ林に復元させ次世代に残すことである。事業対象敷地は、全体で約5万7000㎡あり、開墾・整備してマツを植樹し、境港の原風景の白砂青松を取り戻す作業を継続中である。また、整備した緑地も利用し、ゆったりと散歩のできる遊歩道を配置したマツ林を創ることを目的とする。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成25～28年)

平成25～28年度の4年間に開墾・整備し3550本の耐性クロマツの苗木を植樹し、また既に整備した部分の下刈りを実施している。

②今年度新たに得られた成果等

今年度、8500㎡開墾し1000本の苗を植樹した。

●自己評価

ほぼ計画通りにできた。今後の課題としては、若者ボランティア会員の加入促進と民間企業よりの活動資金の支援が必要になってくる。また、整備したマツ林の活用方法を官民で協議する段階。

●参加者の声

・毎年開墾整備した面積が広がり、除草に人手が必要。若い人の勧誘が急務。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.85ha	1000本	3.05ha	463人	463人
樹種：クロマツ				
実施場所：鳥取県境港市				



クロマツを植樹

「森の名手・名人」故栗栖誠氏 山林復興事業

日本林業技士会 島根県支部

松江市宍道町佐々布

●事業概要

「森の名手・名人」故栗栖誠氏山林復興事業は、同氏が所有した山林を林業技士会が中心となり実施した。同氏の山林経営を考慮しながら、まず、研修に必要な車道・林内道の機能を回復させた後、優先的に作業する必要がある約4haの作業計画を立てた。車道整備を実施し、林内道は同氏が様々な工夫をしているため、その意図をくみ取りながら作業をした。その後、林業関係者に呼びかけ、ボランティアを中心に2日間のべ21人参加で整備を行った。危険な箇所や高度な知識を必要とする整備も実施した。現在、林業経営者のモデル森林として活用を図っている。

●事業成果

特徴的な部分の草刈りがすべて完了したため、現在は、栗栖氏の取り組みの検証や、林内に繰り広げられた様々な工夫を学ぶ研修などの開催も可能な状態になった。すでに、地元の浜田第2中学校では研修をこの春実施予定である。他にも県林研や個々のグループも視察を計画しているところがある。偉大な林業家の英知を再び学ぶチャンスができたことが、何よりも成果である。

●自己評価

ほぼ、計画通り達成できた。全面的に応援いただいた島根県林業研究グループ連絡協議会に感謝したい。

●参加者の声

・あらためて、山林に施されている工夫の多さに驚きました。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
下刈面積		
4ha	21人	21人
実施場所：島根県浜田市長見町		



林内作業路の整備

鯖釣山自生椿群生林整備事業

宇賀地区活性化推進協議会

山口県下関市豊浦町

●事業概要

目的は、鯖釣山の登山道沿いに自生ツバキ群生林があるが、ツバキの整枝剪定や補植が必要であり、あわせて風雨や獣害による登山道の傷みが激しく補修を要することである。主な活動は以下のとおり。①登山道へ枝が伸びている箇所への剪定。②過密箇所の間伐。③新たに苗木の植栽。④登山道の必要箇所に仮設階段の新設や木の階段が腐食している箇所は、耐久性のあるものに交換。

●事業成果

鯖釣山の登山道は、石が多く滑りやすい状況となっていたが、仮設階段の新設及び既存の木の階段が腐食している箇所は、新規仮設階段に交換したことにより登山者は登りやすくなった。また、日当たりが良い場所にツバキがない場所があり、そこを中心に新たに苗木を植栽した。今回の事業を通して、地元の多くの人達の協力の元、鯖釣山の整備の大切さを学んだ。

●自己評価

計画通りに完了した。今後の課題として、木が密集し日当たりの悪くなり、木の育ちが悪い所もあり、間伐を計画的にする必要がある。

●参加者の声

・鯖釣山に登る人にとって、階段の増設は負担なく登れるので良かった。
・ツバキ以外の雑木が多く、景観を良くするためにもっと間伐をする必要がある。(60代自治会役員)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	計
0.3ha	50本	2ha	0.1ha	128人	128人
樹種：ヤブツバキ					
実施場所：山口県下関市豊浦町					



ヤブツバキの植樹

緑の景観事業による里山創生

「鹿野の風」プロジェクト

山口県周南市大字大潮

●事業概要

目的=疲弊する里山を緑の景観で創生、地域全体が癒しの里として付加価値を高め、良い意味で他地域との差別化、長い視野で地域再生に寄与すること。

主な活動=店舗や事業所に統一感のある雑木(株立ちコナラ)を景観を意識して継続して植える。

●事業成果

①前年度までの成果等

近年は雑木を店舗等に植える事で人が集まり、景観やセンスが良くなる事を住民に浸透。

②今年度新たに得られた成果等

今回はメリハリを付けて、1ヶ所に8本と3本植え、その1ヶ所から造園業者が本格的に雑木空間を作る手はずとなり、雑木の魅力が徐々に浸透してきている。

●自己評価

雑木を植えたモデル店舗や事業所を増やし、雑木を植える気運を高めたい。

●参加者の声

- ・雑木を植え続ける事が大事。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
植付本数	17人	17人
16本		
樹種：コナラ		
実施場所：山口県周南市		



店舗前などにコナラを植樹

三蒲の環境美化活動

美しい三蒲を創る会

山口県大島郡周防大島町

●事業概要

国道から海の見える故郷づくりを目標に環境美化活動に取り組んだ。①植樹したサクラやツバキの保全作業として国道法面や植樹場所の除草作業を春と秋に実施。②神社参道の伐採開墾作業を行い、地元小学生と植樹祭を開催。③里山づくりとして竹林30aを開墾し4月に小学生を招待しタケノコ掘り開催。④タケ伐り大会を地元住民や他の環境保全団体と開催。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成19～30年)

12回植樹祭開催で890本植樹。生長したサクラの下で花見をする方や車を止め海の景色を写真に収める人等、景色を楽しんでもらう事ができるようになった。多くの人に綺麗になったと声をかけてもらえる。

②今年度新たに得られた成果等

美観活動の資金の足しにと取り組んだ竹林整備により、農地にイノシシの出没がなくなるなどの成果が出てきた。竹林整備の指導や講演等の依頼があり、他団体との交流が盛んになった。

●自己評価

今年度の計画はほぼ完遂できた。一層の環境美化活動に取り組んでいきたい。

●参加者の声

- ・植樹祭やタケノコ掘りに招待いただき、生徒の自然に触れる教育に大変役立っています。(教員)
- ・植樹木に付けたネームプレートは良い思い出になります。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	計
0.02ha	40本	0.1ha	0.03ha	770人	770人
樹種：シダレザクラ					
実施場所：山口県周防大島町					



サクラを植樹

島ノ川溪谷緑化推進事業

島ノ川溪谷等修景緑化推進委員会

高知県高岡郡中土佐町

●事業概要

目的は、森林のもつ多面的機能の発揮、地域振興、地域住民の森林整備への理解を深めることである。主な活動は以下のとおり。①ミツマタ、モミジ、カエデの植樹。②植樹前に目的を説明したうえで作業を行うことにより、参加者の森林整備の重要性、困難さに対する理解を深める。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年)

溪谷沿いに植樹することで、森林の持つ多面的機能の発揮、景観形成に資することができた。ミツマタの植樹は初めてで不安もあったが、つぼみを確認することができ、継続的に植樹を行う判断ができた。

②今年度新たに得られた成果等

今年度は初めて地域ボランティアを募集して事業を実施した。中土佐町内で一般公募の植樹イベントは例が少なく、初めて植樹を体験した方も多かったため、今後の継続しての参加及び中土佐町内での植樹活動の広がり期待できる。

●自己評価

計画通りの本数を植樹することができた。例年に比べ冷え込みが厳しく、溪谷に来ることをためらった住民が少なくなかった。例年凍結しない箇所が凍結しており、重機の搬入ができなかった。

●参加者の声

・植樹は初めてだったがスタッフの方が丁寧に教えてくれた。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.5ha	545本	15人	15人
樹種：ミツマタ、モミジ、カエデ			
実施場所：高知県中土佐町			



ミツマタ、カエデほかを植樹

岡垣町(一丁溜池周辺地区)の放置竹林伐採・植樹プロジェクト事業

岡垣緑のまちづくりの会

福岡県遠賀郡岡垣町旭台

●事業概要

岡垣町有地を作業の場所として活動している。元々この場所は、この団地を開発する業者が購入した土地であるが、30数年前に岡垣町が取得し、放置されていた。侵入竹等で荒廃した場所となっていたため緑化と美化のため活動場所として整備し植樹している。

①放置竹林の伐採。②荒地(雑木伐採)整備。③植樹後の下刈り。④景観を考慮した樹種の植樹。

●事業成果

①前年度までの成果等

平成26年から平成29年までの作業で、全く人が入れなかった荒地に植樹し、3年目を過ぎると美しい景観と植樹した木々の緑が生き返った土地の価値を見出した。

②今年度新たに得られた成果等

近くに住んでいる町民が入会し、草刈りや植樹に参加してもらえるようになった。近隣の住民から「ウメが咲いている景色がとても心地よい。見違えるように綺麗に整備していただいて感謝しています」との感想を寄せられた。

●自己評価

100%に近い成果を上げられたが、会員の多くは60歳を超えるメンバーで、今後の活動が継続できるか不安である。また、植樹するための苗木購入にかかる費用が継続できるかが不安である。(複数会員の意見)

●参加者の声

・来年の植樹祭も参加します。(50代女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	計
0.3ha	250本	0.7ha	0.4ha	360人	360人
樹種：照葉樹、ウメ、ミツマタ					
実施場所：福岡県岡垣町					



ウメ、ミツマタほかを植樹

衣干百年桜樹勢回復事業

衣干会

佐賀県唐津市ニタ子

●事業概要

百年桜が樹勢する場所は、平成11年に旧火葬場を衣干山さくら公園として整備開園されたことから、地域住民が集える場所として百年桜を中心に地元住民が集える公園とするためサクラの植樹を行ってきた。

しかしながら、老木化が進み地元での維持管理だけでは対処できなくなったため、樹勢回復を行うことにより永く後世に引き継いでいきたい。

また、樹勢回復後は、これまで以上に花が咲くように樹木医の指導のもと地元団体を中心に維持管理に努め、多くの人が集える場所としていきたい。

●事業成果

老木である樹勢回復はもちろんのことであるが、樹木医の助言・委託業者の技術などを衣干会また、地域住民の方々が学び考えることができ、これからの維持管理に役立てていけることが大きな成果だった。

●自己評価

百年桜の樹勢回復については、想像以上の成果だったと思うが、それ以上に地元住民の緑化推進の意識が増し協力的になったのが大きな成果が出たと思う。今後は若手の意識向上をこれから考えていかなければと思う。

●参加者の声

- ・見違えるような花芽を付けはじめた。植樹場所も災害非難場所でもあるため、多くの人々が集える場所とイベントや清掃活動などを行っていきたい。(会員)

実績とりまとめ表

作業内容	
樹勢回復	
1本	
実施場所：佐賀県唐津市	



サクラの樹勢回復

紙屋の里山等再生事業

紙屋有志会

宮崎県小林市野尻町

●事業概要

紙屋小学校と中学校は、森林に囲まれ隣接しており、学校林も近くにあるが、学校近辺の森林は、タケが侵入したりスギの風倒木があるなど放置状態にあった。このため、紙屋地区の区長やボランティア等で組織する「一徳協議会」とPTAが連携して、学校の近隣の森林の伐竹、広葉樹の除伐、スギ風倒木の除去、記念植樹などを実施した。

●事業成果

学校近隣の緑化や里山の再生、沿道の美化、外国人を交えた植樹活動をしたことによって、地域住民が緑化活動や地域の再生に対して、関心を高めた。また、有志会の活動に対して、電力会社、NTT、警察、地元行政も理解を示し、人的・物的支援をしてくれた。さらに、里山を再生した箇所に膨大な量のゴミが捨てられていることが判明し、撤去作業を行うとともに、ゴミ不法投棄の監視カメラも設置した。これらのことが、住民に拡がり他の場所での緑化活動や里山再生の要望が多数寄せられた。

●自己評価

計画予定地は、全て実施でき地元の評価も高かった。しかし、作業時間が長すぎるとの不満の声が上がった。今後は楽しみも入れた活動にする必要がある。今年4月から新たに4人が加わった。

●参加者の声

- ・日本に働きに来た思い出になる。(外国人就労者)
- ・住民から喜ばれる仕事を委託してもらって感謝する。(シルバーセンター)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.1ha	38本	1.2ha	0.1ha	173人	6人	179人
樹種：ヤマザクラ、ヤエザクラ						
実施場所：宮崎県小林市						



サクラを植樹

武岡台の森環境整備事業

鹿児島市立武岡台小学校

鹿児島市武岡六丁目

●事業概要

学校林「武岡台の森」は、全ての学年の森林環境学習の場として活用され、特に低学年の生活科では、春夏秋冬それぞれの森の様子を観察し、森で思い切り遊ぶ活動を行っている。しかし、近年カシノナガキクイムシの被害が進行し大径枯損木が発生するなど、森林環境学習の場としては危険な状況となっている。

目的は、本校の特徴ある学校林を活用した森林環境学習・体験学習の場の安全確保及び充実である。

主な活動は、①大径枯損木の伐採・集積・除去、②緑陰学習コーナーのベンチ整備、③シイタケ栽培体験用のホダ場の整備である。

●事業成果

枯損木や風倒木竹の伐倒・玉切・集積・除去を実施することと緑陰学習コーナーのベンチ整備により、安全で快適な学習環境を確保できた。また、毎年実施しているシイタケ栽培のホダ場を整備できた。これにより、全学年の児童が自然豊かな環境で環境学習や森林学習等を行うことができた。

●自己評価

光が差さない、木には良くない環境であったが、心地よい光が差すようになり、森林の環境としても児童の学習環境としても良好な状況になった。

●参加者の声

・町の中にある学校で、整備された自然環境で学習できる子どもたちは幸せである。(愛校作業参加者)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
0.01ha	3本	0.2ha	1.4ha	370人	370人
樹種：ソメイヨシノ					
実施場所：鹿児島市立武岡台小学校学校林「武岡台の森」					



サクラを記念植樹

国 際 協 力

地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業

(特非) サヘルの森

東京都町田市原町田

●事業概要

村人が自分たちで利用できる小さな林づくりで里山の再生を図り、里山の持続的な利用で、生活の安定化を図っていくことを目的としている。①住民による里山の再生は、84か所をまわって、村人に直接の苗木配布、植林ワークショップ、苗木の生育状況の確認を行った。②篤農家研修と里山再生モデルの実践では、3カ村9名の技術研修を行い、実践に結びつける支援協力を行った。③試験地・見本林での植生回復技術及び栽培技術の開発では、在来種の実生を確認し、保護対策の検討を行った。④里山の保護では、里山の伐採利用されている樹林を視察した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成25～28年)

点在する地域苗畑を支援することにより、苗木供給が速やかになり、15～2万本余の苗木を配布、植栽できた。

②今年度新たに得られた成果等

村・学校・地域を含む84か所で苗木の配布・植栽でき、緑化の意識を高めることができた。地域苗畑の協力で技術研修ができ、苗木づくりの準備を始めることができた。

●自己評価

これまでに育苗技術研修を受けた村人は、8割は有用樹植林などに取り組みを始めている。

●参加者の声

・菜園に植えたユーカリが大きくなった。もっと苗木がほしい。(テネンザナ・男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	マリ	計
植付本数	7300人	7300人
2万2200本	7300人	7300人
樹種：ユーカリ、バオバブ		
実施場所：マリ・バマコ北部、バマコ南部、ファナ地域		



試験地での植栽

日本ーラオス友好の森展示林造成事業

高尾グリーン倶楽部

東京都八王子市南浅川町

●事業概要

このプロジェクトは、ラオス国と締結したMOUに基づき、地元樹種による展示林を造成してかつての自然林を復元するとともに、共同で植樹祭を行い植林を通じた国際交流と森林保全の普及啓発を行うこと、及び植栽後20年経過した森林を対象に間伐を導入し、その展示林を造成して熱帯地域での森林管理手法を検証することを目的としている。目的達成のため、植樹、間伐の展示林造成を行った。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成23～28年)

バンビエン市所在の森林研修センター(FTC)所管の森林を対象に、22.5haの植樹展示林を、また平成26年からは6haの間伐展示林を造成した。

②今年度新たに得られた成果等

今年度はモザイク状に群状植樹して展示林の造成を行った。植樹祭は7月17日、日本とラオスから120名が参加した。また、中高校生を対象に森林講座を行うなど交流を深めた。1月の間伐では、間伐の意義、選木の方法、伐木技術などについての討議と現地での実技講習会を行った。

●自己評価

年度計画どおり植樹及び間伐を実施することができた。大学と共同で間伐の効果を検証していくことにしている。

●参加者の声

・子どもたちに森林保全の大切さを教える良い機会になった。(村長)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	ラオス	計
3ha	3333本	8.0ha	101人	944人	1045人
樹種：トンキンチク、シタン、アフゼリア、ビルマカリン、メラワンほか					
実施場所：ラオス・ビエンチャン県バンビエン郡					



トンキンチク、シタン、アフゼリアほかを植樹

平成29年度 緑の国際ボランティア研修 (タイ国)

(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

国際緑化活動の重要性や緑の募金が果たす役割について理解を深めることを目指し、9日間の緑の国際ボランティア研修をタイ国にて実施した。研修員はバンコク、パトンタニ県、サラブリー県ほかにおいてタイ国中部・東北部の開発に伴う森林伐採地を訪問し、NGOが取り組む植林活動地の視察、植林体験、地域住民との意見交換等をした。

●事業成果

①前年度までの成果等 (平成21年～28年)

これまでに8回の緑の国際ボランティア研修を東南アジア諸国にて開催し、何れも研修員のみならず現地の住民にとっても有意義な研修を開催することができた。

②今年度新たに得られた成果等

植林活動地を初めて訪問し、各県の現地住民のみならず民間企業（ローソン）とも交流し、協働して植林活動に従事したことで、多様な人々との相互理解ができた。

●自己評価

多くの研修員から有意義な研修だったとの声が聞かれ、緑の募金や国際緑化活動の重要性についての理解を深めたことが確認できた。今後は、本研修を継続することにより、国際緑化活動に対する理解をさらに普及していきたい。

●参加者の声

- ・植林活動や地域人々や子ども達との交流、学生とディスカッションをしたり、内容の濃い9日間だった。(研修員)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	タイ	計
5.4ha	7560本	2.0ha	30人	237人	267人
樹種：緑化樹種（在来樹種）					
実施場所：タイ・チャイナート県、ナコーンラーチャシーマー県					



現地中学生との交流活動

タイ国ナコーンラーチャシーマー県における森林再生を目指した植林事業

(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

ナコーンラーチャシーマー県において、薪炭材の確保や非木材林産物の収穫を通じた地域住民の生活安定と自然環境および生物多様性の保全を両立できる森林再生・保全システムを根付かせていくことをめざして活動を実施した。

- ①地域住民、民間企業と協働での在来樹種の植林。
- ②持続可能な森林管理に向けたステークホルダー間におけるワークショップの開催。
- ③森林管理住民グループの形成に関する支援。
- ④地域住民の持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修。

●事業成果

地域住民と協働して協力を得て植林（補植を含む）を実施するとともに、持続可能な森林管理に向けたワークショップの開催、森林管理住民グループの形成に関する支援、地域住民の持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修等を実施した。多くの地域住民が参加し、持続可能な森林管理についての知識や関心が高められた。

●自己評価

事業計画を達成することができたが、植林樹木の活着率を高めるための灌水や植林地のパトロールが重要になる。

●参加者の声

- ・植林のみならず、参加者間での交流もでき、有意義な活動であった。(植林に参加した地域住民)
- ・楽しかった。またぜひ参加したい。(植林に参加した小学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	タイ	計
5.7ha	8200本	3.0ha	12人	81人	93人
樹種：タンジョン、コルクノウゼンほか					
実施場所：タイ・ナコーンラーチャシーマー県					



在来樹種を植樹

タイ国チャイナート県における森林再生を目指した植林事業

(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

タイ国チャイナート県において、薪炭材の確保や非木材林産物の収穫を通じた地域住民の生活安定と自然環境および生物多様性の保全を両立できる森林再生・保全システムを根付かせていくことを目指して以下の活動を実施した。

①地域住民、民間企業と協働での在来樹種の植林。②持続可能な森林管理に向けたステークホルダー間におけるワークショップの開催。③森林管理住民グループの形成に関する支援。④地域住民の持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修。

●事業成果

地域住民、民間企業（株式会社ローソン、Saha Lawson）と協働して協力を得ての植林を実施するとともに、持続可能な森林管理に向けたワークショップの開催、森林管理住民グループの形成に関する支援、地域住民の持続可能な森林管理に関する知識や技術の向上を図る研修等を実施した。多くの地域住民が参加し、持続可能な森林管理についての知識や関心が高められた。

●自己評価

事業計画を達成することができたが、今後、植林樹木の活着率を高めるための灌水や植林地のパトロールが重要になる。

●参加者の声

・地域の自然について生徒の関心が高まったことが実感できた。今後も活動を継続してほしい。（植林に参加した小学校の教員）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	タイ	計
0.9ha	1270本	0.4ha	18人	172本	190人
樹種：インドセンダン、ビルマカリン、ユカン、バナバほか					
実施場所：タイ・チャイナート県					



在来樹種を植樹

カンボジア国クラチェ州における生物多様性の保全を目指した植林事業（フェーズ2）

(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

大規模な森林伐採によって森林と生物多様性の減少が著しいアンチャン村において、以下の活動を実施した。①地域住民と協働での在来樹種の植林。②ワークショップの開催（森林と生物多様性保全の重要性に関する啓蒙）。③森林管理住民グループの形成支援指導。④地域住民の持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修。⑤持続可能な森林管理に必要な知識・技術と森林と生物多様性の保全の重要性を記したパンフレットの配布。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成28年）

ワークショップや研修を通して地域住民が森林や生物多様性の保全に関する重要性の理解を深めることができた。

②今年度新たに得られた成果等

地域住民が中心となった森林資源の保全活動に貢献することができた。

●自己評価

事業計画を達成することができたが、苗木については、3割ほどが高温や水不足ほかの影響により枯死した。今後も、管理体制の向上のための指導を継続していく。

●参加者の声

・もっとワークショップを開催して森林に関する知識を教えてほしい。（地域住民）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	カンボジア	計
5.71ha	7980本	1.5ha	3人	203人	206人
樹種：メンガ、ケランジィ、ビルマローズウッド、ピンカド					
実施場所：カンボジア・クラチェ州アンチャン村					



メンガ、ケランジィほかを植樹

地球温暖化防止と日中友好の 森づくり事業

(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

緑化拠点地は、「沙蒿」や「沙米」が植生している半固定砂丘地帯となっている。今年度は現地林業局へ植林作業を行い、協力企業社員による現地視察および維持管理状況の確認を実施した。

●事業成果

①前年度までの成果等

今年度は、全体計画5年間の5年目。今まで植林した苗木は順調に生育している。

②今年度新たに得られた成果等

国連の砂漠化対策条約の第13回締約国会議(COP13)がオールドス市で行われた。今回、植林場所が会議出席者の視察対象になり、大規模植林の成功例として評価された。

●自己評価

緑化活動は継続して取り組まなければならない重要な課題であり、国の「国民参加の森林づくり」はその重要な推進手段の一つとして位置づけられている。その意味では、この事業が日中両国の国民の環境意識の高まりと両国民の交流と相互理解に一定の貢献を果たしている。また、今回活動場所が国連主催のシンポジウムのモデル地区としても取り上げられ、世界からも一定の評価を得られた。

●参加者の声

- ・これまで植えてきた箇所が立派に育っていることに改めて感動した。これからも現地と協力しながら環境を守り、日中友好にも寄与していきたい。(協力企業社員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
0.7ha	500本	4人	120人	124人
実施場所：中国・モンゴル自治区エジンホ口旗				



マツを植樹

インドネシア 森林と水保全のための「まちの森」づくりと環境教育推進プロジェクト

(公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

●事業概要

インドネシア・マドゥラ島において、水保全に向けた植林活動と持続的な環境保全活動を促進するため、環境教育・啓発活動を実施。主な活動は以下である。「まちの森」における植林活動、14の学校における植林活動・環境教育活動・水保全学習の実施、雨水貯水設備設置(1校)、エコキャンプの開催、校舎整備(1校)。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26～28年)

活動校では、緑化が進み学習環境が改善されるとともに、ゴミ分別の指導に力を入れた。

②今年度新たに得られた成果等

陸地や海辺にマングローブを植栽し約4haを緑化。「まちの森」づくりにおいては、校内での植林が難しい学校や地域住民も新たに活動に参加でき、環境保全の意義と技術を広く伝える機会となった。

●自己評価

2018年4月から11月まで一切雨が降らず、「まちの森」の苗木は大きな被害を受けている。枯死した苗木については、雨期が始まれば早急に補植を行う。コーディネーターたちは各校を回り、環境を継続して守り育むことの大切さやその手法を伝え、主体的な活動を促している。主体的な環境保全を継続できる地域体制を構築していきたい。

●参加者の声

- ・大切な水や自然を守っていきたい。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	日本	インドネシア	計
3.91ha	4226本	1900本	0.28ha	17人	2548人	2565人
樹種：チエマラウダン、アカシア、マホガニー、マングローブほか						
実施場所：インドネシア・東ジャワ州マドゥラ島スメネブ県、パメカサン県						



小学校での植林活動

ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃造林事業

(特非) むさしの・多摩・ハバロフスク協会

東京都武蔵野市吉祥寺東町

●事業概要

ハバロフスク地方シカチアリャン地区にチョウセンゴヨウを3000本、ハバロフスク市内ゴーリキー地区に市制160周年を祝して160本のアカマツなどを、太平洋国立大学構内に8年生エゾマツ20本を日本人と現地市民と共に植えた。

●事業成果

①昨年度までの成果等(平成26～28年度)

1998年から4地区に友好の森を作り、シラカバなどの林地に6～8年生の苗木の樹下植栽を行ってきた。苗木は良く活着しており、多くの青少年が参加した。

②今年度新たに得られた成果等

昨年より始めたシカチアリャン地区では洪水で流された場所に本来の樹種であるチョウセンゴヨウの3年生の苗木を植えた。

●自己評価

地元の多くの参加者が集まり計画通りに実施できた。今後の課題としては、ツアー日程をコンパクトにするなどして、さらに多くの日本人参加者が集まるようにしたい。

●参加者の声

- ・教室の勉強だけでなく、すぐに実践として植樹を行えたのが良かった。(20代ロシア人参加者)
- ・各所における植林において、現地の多くの市民(大人も子どもも)が参加したことに意義があった。(40代日本人参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	ロシア	計
1.1ha	3180本	57人	173人	230人
樹種：チョウセンゴヨウ、エゾマツ、アカマツ				
実施場所：ロシア・ハバロフスク地方シカチアリャン地区、ハバロフスク市				



チョウセンゴヨウ、エゾマツなどを植樹

河北省環境保全協力事業

(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

2001年より豊寧県において協力事業の実施により、3000haの緑化に成功している。地域緑化や水源地の保全に一層取り組むため、中国が進める緑の環境と社会発展(緑の文明)の一体化政策を通じて、新たに地域を拡大し、涿州市において、環境保全事業の協力を進める。今回は、地元の参加を軸に日本企業及び中国政府の協力を得て、環境保全事業の推進に取り組んだ。

●事業成果

今回の活動では、ニレの植林を行った。日本からのボランティアと共に、協力企業の現地従業員や地域住民が植林活動をすることで、環境意識を高める機会となっている。また涿州市金胡楊園林緑化工程有限公司が、植林後も一貫して管理を行っているため、苗木の生育状況も良好である。

●自己評価

地元有限公司との連携により、着実に事業を進めることができている。緑化に優れた樹種を植林することで住民の理解と協力を得やすい。日本からの参加者を多く集めることに努めたい。今後も植林活動を通じた交流が盛んになるように取り組みたい。

●参加者の声

- ・地元の人達の熱意は我々にも十分に伝わり好感が持てた。(日本からのボランティア)
- ・日本の皆さんの長年の植林活動に感心・敬服している。今回の活動がきっかけに、社会貢献活動に積極的に参加していきたい。(中国・日本語学科の大学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
1.0ha	600本	7人	49人	56人
樹種：ニレ				
実施場所：中国・河北省涿州市				



ニレを植樹

モンゴル森林火災被災地再生事業

(特非) GNC Japan

東京都港区南青山

●事業概要

目的は、モンゴルの森林火災被災地において豊かな生態系を持つ森林の早期復元と維持であり、主な活動は①森林火災被災地（セレンゲ県）にて在来アカマツの植林の実施②2004年愛・地球博モンゴル国際植樹祭における植林地において、大苗による再植林、保育、保護等の活動を実施。植林は春季に地域住民ボランティアの協力を得て行う。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成16～29年）

森林火災被災地において森林再生を行うため、183haに在来アカマツを植林。また山引き苗による大苗の再植林・保全を毎年行っている。

②今年度新たに得られた成果等

植林ボランティアは、昨年セレンゲ県森林組合の呼びかけにより集まってくれた地元の方々をきっかけに若者が多く集まった。今後の森林保全に対する議論も行われた。

●自己評価

今年も計画どおり植林できた。継続して植林しているからこそ、効率も良くまた活着も良い。環境問題の悪循環を止め、好循環にしていきたい。今年中央県で学生と街路樹の植林をした。これを機に来年はボランティアの人数を増やし、さらに充実した活動をしたい。

●参加者の声

・世界中で異常気象が続く中、植林は問題を解決してくれる手段だと思う。今年植林をした場所が立派な森に育ってくれることを願う。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	モンゴル	計
7ha	5050本	2ha	26人	82人	108人
樹種：ヨーロッパアカマツ					
実施場所：モンゴル・セレンゲ県アルタンボラグ村、スフバートル市					



ヨーロッパアカマツを植樹

モンゴルにおける北方型生活環境保全林の造成事業

蒼いウランバートル技術支援実行委員会

札幌市中央区北3条西

●事業概要

モンゴルでは、温暖化や乾燥化などの気候的要因に加え、過放牧や都市化による森林減少が深刻化し、植生の劣化や消失、土地生産力の低下、黄砂現象の頻発化などによる被害が深刻化している。このため、国をあげて緑化に取り組もうとしているが、植樹に対する知識や技術が極端に乏しく、専門家がいなことから、緑化がうまく進んでいない現状にある。

このため、緑化の実践的な技術の向上を図るための技術講習会等を開催するとともに、住民参加による生活環境保全林の造成に取り組み、植林技術者の養成及び住民の緑化意識の醸成を図る。

●事業成果

昨年のワークショップ、植樹を実施したことにより、参加者に、樹木を植え、育てていくことを大切に思う意識が芽生え始めた。

●自己評価

計画どおりの植樹ができた。ただ、これまで木を植樹して育てていくという意識が少なかったため、生活環境保全林の造成事業ではあるが、人材育成をおざなりにはできない。観察することの大切さを伝えていきたい。なぜ木が枯れるかということを知るために。

●参加者の声

・昨年も植樹に参加した。この取り組みで、ウランバートルが緑に包まれば良い。
・木を育てていくことに関心がわいてきた。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
植樹	日本	モンゴル	計
528本	11人	86人	97人
実施場所：札幌、モンゴル・ウランバートル			



住民参加で植樹

苗木生産・供給をベースとした住民主体のコミュニティー完結型緑化事業（継続）

（特非）フー太郎の森基金

福島県相馬市尾浜

●事業概要

目的：年々目減りする緑に危機感を持ちながら、苗木確保の難しさから植林の実行には至らない。本事業では住民自ら苗木を生産し、自分の家や畑の周りに植樹することを促した。木を植えることで住民の経済的自立を支援し、住民が自ら持続的に活動できるプログラムを実施した。

主な活動 ①屋敷林造成：ラリベラ市内2地区の10家庭が屋敷林事業に参加。②山岳地帯の植林：苗木を育て、山岳地帯を中心に植林した。③市内への苗木配布。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成28年）

10家庭が苗畑を造成、7種類3万5000本の苗木を育てた。山岳地帯は6万本植林した。

②本年度得られた成果等

①屋敷林造成：アカシアなど6種育て、自宅周りや自分の所有する畑などに植えられた。②山岳地帯の植林：アシエッテン山周辺に植えられた。③市内への苗木配布：特に高地アシエッテン周辺の農家にはリンゴの苗木を配布した。

●自己評価

今年は雨季が後半にずれ込み、大変だったが、十分な成果は出せた。果樹は現金収入につながるので人気が高い。

●参加者の声

・リンゴ苗をもっと増やしてほしいとの声があった。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付本数	苗木生産	植付本数	植付面積	エチオピア	
1万7918本	8万8290本	6万6000本	15ha	235人	
樹種：アカシア、シシャイニスモル、イトスギ、ドピアリスほか					
実施場所：エチオピア・アムハラ州ラリベラ市					



山岳地帯での植樹

小学校周辺の防風、防寒を目的とした植林事業

（特非）エクアドルの子どものための友人の会

埼玉県飯能市中山

●事業概要

目的はカヤンベ県の2校において学校教室、菜園の防風、防寒を目的とした植林の実施であり、主な内容は以下の通りである。①実施校の生徒、先生、保護者、地域住民が参加し、地域の環境緑化に努める。②苗木の植林とその後の育成作業実施。③生徒、地域住民が環境への意識を高めるための取り組み。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成27～30年）

過去2年間でアンデス山脈の厳しい気候環境にある学校周辺に延べ4000本の植林をしてきた。地域全体で植林の重要性が認識されている。

②今年度新たに得られた成果等

3年目となりスタッフの経験値も上がり、スムーズに計画実行することができた。植林共同作業を通して、学校関係者、保護者、地域住民との関わりが深まってきた。

●自己評価

前向きな手応えを感じる事ができた。また、今後他校、他地域でも同様の活動が展開できると確信していることから、未来に向けての活動に繋げていきたい。

●参加者の声

・取り組みを通して地域社会に貢献できたという達成感を得ることができた。また、植林で生活環境を改善することができたことに喜びを感じている。（参加した生徒）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	エクアドル	計
1.2ha	2000本	16人	220人	236人
樹種：Cholan、Tilo				
実施場所：エクアドル・カヤンベ県				



学校や菜園周辺に植樹

中国内モンゴル自治区錫林郭勒盟 正蘭旗烏日図嘎查フィサンダク 沙地地域における沙丘からの流沙 防止のための植林

(特非) 日本沙漠緑化実践協会

東京都千代田区外神田

●事業概要

目的は、沙漠化を防止するための植林である。植林することで沙丘の移動や流沙も防止でき、農地も砂に埋もれることから守られる。活動内容は、現地農民たちと協力の上、まず砂止め用に草方格(ワラや枝を基盤の目状に埋める)を作り、その中に苗木を定植し、その後、定期的に灌水。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成29年)

草方格を作って植林し、現地農民たちも積極的に灌水作業をしたお陰で、昨年から今年にかけて降雨量が少なかつたにもかかわらず育林状態は良好である。

②今年度新たに得られた成果等

今年は1960年以来の早魃と言われていたが、灌水も定期的なすることによって苗木の根付きもよく、農民たちの労苦も報われた。

●自己評価

昨年今年と早魃がひどく、現地農民の積極的な関わりを得られたことは、この上なく評価している。課題としては、マツの特性として、その成長が他の灌木類に比べ遅いことである。

●参加者の声

- ・植林を継続してほしい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
地拵え	植付面積	植付本数	中国	台湾	計
10ha	10ha	3万7000本	25人	17人	42人
樹種：障子松、サージ					
実施場所：中国・内モンゴル自治区錫林郭勒盟正蘭旗					



障子松やサージを植樹

ブルキナファソ・バム県における 村落植林プロジェクト

(特非) 緑のサヘル

東京都千代田区神田紺屋町

●事業概要

目的は、地域住民の生活に必要な調理用薪材の確保が困難になっている状況の改善を図り、かつ成長後の用材販売という現金収入手段を創出するため、未利用地に生活林を造成することである。主な活動は、以下のとおり。①7村において、植栽希望者に対するユーカリ苗木の配布。②3村の植栽希望者に対する、かん水用水運搬用具の配布。③実施状況の追跡調査。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26～28年)

植林を行う住民が居住する村は、位置的に見た場合には連続した広がりを見せており、支援を継続してきた成果であると言える。また、既に支援の終了した植栽実施者の中には、用材販売により利益を得ている住民がいる。

②今年度新たに得られた成果等

新たに参加した住民が、3村4人いた。すでに参加している村の中ではなく、近隣村の住民であったことが、地域での広がりを裏付けている。

●自己評価

苗木や用具の配布、状況調査のタイミング等、全ての作業はほぼ計画どおりに実施できた。

●参加者の声

- ・植え方や管理方法の指導まであり有益だった。(新規に参加した村の実施者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	ブルキナファソ
23.75ha	1万5610本	999人
樹種：ユーカリプトゥス、カマルデュレンシス		
実施場所：ブルキナファソ・中央北部州バム県		



ユーカリほかを植樹

インドネシア・東スンバ県における緑化推進のためのマングローブ植林事業

(特非) 地球の友と歩む会

東京都千代田区富士見

●事業概要

海岸のマングローブを回復するために次のことを行った。

- ①マングローブの根元に魚介が棲みつくことを知らない人たちに伐採され自然環境が破壊されてしまった事実を住民に話した。
- ②自然環境を回復する植林活動に住民たち自身が参加した。
- ③環境保全のために海岸の見回りやごみ拾いを行った。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28～29年)

平成28年度にも2500本のマングローブの苗木を植林している。地元住民が見回りやごみ拾いを定期的に行っているため、大部分の苗木は活着し成長している。

②今年度新たに得られた成果等

今年度は植林活動に軍や警察関係の人たちが加わった。これらの人たちが植林したマングローブを伐採する住民はいないので、盗伐防止につながると考えられる。

●自己評価

昨年は植林イベントを日曜日にしたため住民の大部分がキリスト教徒であるスンバ島の人たちは教会へ行き、所属する教会が海岸から遠い人は参加できなかった。今後も日時などを配慮したい。

●参加者の声

- ・今回は子どもにも自然の大切さをわかってもらいたかったので連れてきました。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	インドネシア	計
3ha	3500本	300人	300人
樹種：マングローブ			
実施場所：インドネシア・東スンバ県カル村			



マングローブを植樹

セレゲレン苗木生産センターにおける育苗及び砂漠化防止のための植林普及事業

(特非) エコアライアンス 21

東京都世田谷区上祖師谷

●事業概要

この地域では防風林造成の経験が浅く、植樹後の幼苗が家畜により食害を受け、植樹後の定着が困難である。高木(ポプラ)による強風の緩和と地表風による土粒子の飛散を防止し、家畜の食害を防ぐために低灌木・有刺植物のカラガナの組合せた防風林を造成するとともに、カラガナを冬期の家畜飼料として有価植物とする計画である。本事業は環境保全と安定的な農畜産業の両立に貢献するものとする。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成24～28年)

現在、計画地区の外周は高木のポプラを植樹を完成している。また育苗施設として温室を整備し、継続的な育苗が可能である環境整備を行ってきた。苗木生産センターの基盤を整備し、在来種ポプラの苗木のみならず、カラマツやモミの苗木の栽培試験を行う計画である。

②今年度新たに得られた成果等

マツ、カラマツの植栽試験：活着率・20%程度

カラガナの栽培試験：発芽率・30%程度

●自己評価

苗木生産は任せてもできるレベルまで来た。砂漠化の論文を読んでもらい、作業の意味が理解できたようだ。

●参加者の声

- ・現地の人々と協働作業の機会が得られて良かった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	下刈面積	日本	モンゴル	計
150本	0.7ha	10人	15人	25人
樹種：マツ、カラガナ				
実施場所：モンゴル・中央県ズーモット町				



育苗

マダガスカル、アンジアマングラ ーナ監視森林とその周辺地域での 植林事業

日本アイアイ・ファンド

東京都文京区本郷

●事業概要

目的は、マジュンガ州アンジアマングラーナ監視森林地域の保全とアンジアマングラーナ村の水源涵養である。主な活動は、①適正樹種を選抜し、種子を収集すること、②植林用苗床の整備と指導、③植林地の整備と植林活動の指導、④周辺住民へ植林の意義を啓蒙すること、である。

●事業成果

①5haに計5000本を植林した。植林地に牛を放牧させないための柵を設置した。「緑のマダガスカル」イベントに参加した。②昨年度までは試験的に少数行っていた固有種の植林を増加させた。苗を乾燥から防ぐためサッチャナヤシの葉で日陰を作る方法を「メトド・マンギラナ（ひかる方式）」として確立した。

●自己評価

平成28年度は、ラミーとアカシアの活着率はそれぞれ61%（昨年度42%）、39%（昨年度51%）だった。しかし昨年度に試験的に実施した「ひかる方式」は非常に高い活着率（90%以上）であった。

●参加者の声

多くの村民から「継続的な植林を望む」という声が寄せられている。新規の植樹用苗生産希望者が出てきた。小学校校長より「子どもたちを植林に参加させたい」との意向が伝えられている。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	マダガスカル	計
5ha	5000本	5ha	280人	280人
樹種：ラミー、アカシア、シトロン、ラフィア、バオバブ、マンゴほか				
実施場所：マダガスカル・マジュンガ州アンジアマングラーナ村				



ラミー、アカシア、シトロンほかを植樹

ラオスの森と日本の消費者を結ぶ 薪炭林作り

(特非) 炭の木植え隊

東京都中央区新川

●事業概要

ラオスは日本の飲食店で使われている天然炭の一番の出荷国である。そのラオス産木炭（白炭）の多くを利用している店のオーナーなどとラオスに行き薪炭林の造成、伐採、炭やき、更新作業などを地元の農民と共に行う。

●事業成果

2017年7月にラオス・ビエンチャン県ボンソンプン村で炭の原木（マイ・テュー）の植林を行った。翌日には、専門家によるセミナーを開催した。同年12月には、植栽箇所と同じ郡内で薪炭林造成の技術指導と村の生活支援活動に協力し、あわせて2010年に植栽したマイ・テュー林の更新指導を行い、未成林の箇所10ha分の苗木を農民に追加配布した。2018年6月には、マックナオ村において約200人が参加して植林を行った。

●自己評価

2年続けて日本大使の参加をいただき、2年目にはラオス農林大臣、林野局長の参加も賜り、本事業の周知と日本側の支援に多くの感謝が述べられた。反省点とすれば、日本からの参加者は予想より多かったものの、ラオス白炭を使って焼き鳥店主の参加はなかった。消費者や実際のユーザーにラオスまで来てもらうかが課題である。

●参加者の声

2017年の植林箇所は2010年に植林した箇所に近く、参加者をそこに案内したが「今年植えた木が7年後にこんなに大きくなることを実感できてよかった」という声があった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	間伐面積	日本	ラオス	計
20ha	2万本	0.1ha	50人	390人	440人
樹種：マイ・テュー					
実施場所：ラオス・ビエンチャン県ボンソンプン村、ビエンチャン市マックナオ村					



マイ・テューを植樹

パレスチナ自治区ナブルス県における防塵林植樹を通じたオリーブ畑・環境保護事業

(特非) パルシク

東京都千代田区神田淡路町

●事業概要

目的は、採石場からの粉塵被害によりオリーブ生産量の減少と住民の健康被害が報告されている当該地域において、防塵効果が高いイナゴマメの木を植樹し、住民の環境問題への意識向上、オリーブ畑の保護・生産量の回復を目指すことである。主な活動は、①大気汚染度調査、②粉塵の飛散が著しいオリーブ畑の一角にイナゴマメを植樹。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成28年)

オリーブの植樹、またオリーブ農地の周囲への石垣設置により、地域の緑化と農地の保水性向上に貢献した。

②今年度新たに得られた成果等

地域住民の環境問題や緑化への関心を高めた。昨年度植樹した若いオリーブの周辺や、地盤の弱い傾斜地にイナゴマメを植樹することで、石垣設置とあわせて、地域の農地の保水性向上や土壌改善に貢献した。当該地域計6か所のポイントにて専門家が大气汚染度調査を行い、WHO、パレスチナ/イスラエルの平均基準値と比較した。

●自己評価

昨年度よりも枯死数が大幅に減少した。地元学生が参加し、農家や町役場職員との交流を深めることができた。

●参加者の声

・雨が少ない過酷な土壌環境にも耐えることができる植物があると知り、大変勉強になった。(日本人ボランティア)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	パレスチナ	計
3.3ha	600本	8人	43人	51人
樹種：イナゴマメ				
実施場所：パレスチナ・ナブルス県ジャマイン町				



植樹後実をつけたイナゴマメ

第3期トングリ村における人材育成を伴う生態混交林再生事業

(一社) 地球緑化クラブ

東京都日野市日野

●事業概要

モンゴルセレンゲ県トングリ村にて、違法伐採により失われた森林の再生及び生態系の回復を目的として複数自生種の高木と低木を植栽し、生態混交林を造成する。並行して育苗施設を整備し、自生種苗の自給化及び近隣地域に対しての供給源として活用する。

また、村民に対し植林及び育苗事業の実践による人材育成を行うことで、事業の自立化と継続性を図る。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成27～28年)

前2期の事業としては在来種である高木と低木の植栽をした。高木の苗木に関してはポット苗を使用することにより移動時の根の乾燥を防ぎ、活着率向上を図った。

②今年度新たに得られた成果等

これまで高木植栽用の穴は手作業にて行ってきたが、今年度からは掘削ドリルを用いた。これにより作業効率向上とともに、安定した作業が実現できた。

育苗事業については管理を含めた作業にも慣れたことで、高木・低木共に順調に進められている。特に高木の育苗は良好で、来年度からは苗木自給化の目途がたってきた。

●自己評価

苗木の一部が家畜に食べられる被害があった。防護柵の破損を早期に発見し、修復作業を実施する必要がある。

●参加者の声

・植林作業の大変さを改めて実感した。(日本人男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	モンゴル	計
6ha	1万9100本	10人	110人	120人
樹種：カラマツ、シベリアマツ、ニンテニアオ、エゾウワミズザクラ				
実施場所：モンゴル・セレンゲ県トングリ村				



カラマツ、シベリアマツほかを植樹

ケニア共和国イシンヤ地区の 3小学校での「一緑運動」

(認特) ICA文化事業協会

東京都世田谷区祖師谷

●事業概要

ケニア・イシンヤ地区住民は遊牧民であり、植林への意識が低い。近年は慢性的な干ばつ被害に加え、家畜の過放牧により多くの樹木が失われている。そのため、同地区の3小学校で各生徒が1本の苗木を植え、育てる「一緑運動」を実施し、児童、保護者、住民の緑化意識の向上を図った。

●事業成果

児童、教師、教育委員、保護者が参加して植樹。植樹時には現地専門家とボランティアが植樹指導を行った。参加者の協力により植樹を円滑に実施した。また、用具が提供されたため作業が容易となった。苗木は果樹や薬樹などの多目的樹とした。

●自己評価

事業地は18ヶ月間降雨がないため、植樹する苗木は耐乾・耐暑性のあるものとした。加えて、苗木を果樹や薬樹としたことで、薬材や食品として利用できることから、栄養と環境保護の両面から地域課題の解決を図った。学校での植樹は環境教育にも貢献するため、効果は大きい。反省点は、手押し車や水やりホース等の用具を含めれば、児童の水やり労働が楽になり、苗木の世話への負担が軽減でき、活動の持続性を高めることができたと思われる。

●参加者の声

- ・植樹指導は木への知識を増やし、家庭でも容易に実施することができるため、効果は大きい。(学校関係者)
- ・自分の苗木の世話を継続して行う。(児童)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	ケニア	計
2.3ha	2160本	626人	626人
樹種：ニーム、モリンガ、プラム、オリーブ、マンゴー、アボガド、オレンジほか			
実施場所：ケニア・イシンヤ県			



ニーム、モリンガ、プラム、オリーブなどを植樹

カンボジア世界遺産プレアビヒア寺院 周辺地区での植林活動(第7年目)

アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

東京都千代田区神田駿河台

●事業概要

本事業の目的は、プレアビヒア寺院の価値を増幅させる役割を担う遺跡近傍と眼下の森林の回復と保全である。本事業は7年度目となり、3年前から実施している植林方針の①「花の咲く木」、「実のなる木」を中心に地域住民・児童、協会傘下の日本人学生が参加し植林と下草刈りなどの活動を実施、②カンボジア農民の自立と日本人ボランティア学生の育成を目指す活動である。活動は、協会と住民が共同で開発を進めるエコパーク地区にて実施した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成23～28年)

植樹対象のエコパーク地域は地域住民のシンボル地域となりつつあり、植樹の意義が住民にも伝達されつつある。

②今年度新たに得られた成果等

参加する住民は植林に対する意識が高くなり、積極的に樹種の提案を上げてくるようになり、また植樹範囲の計画を策定するなど、自立性が見られるようになった。

●自己評価

地域住民から植樹範囲の提案、樹種の提案がなされるようになり、今後の公共施設や道路周辺での住民による積極的な植林活動に結びつくと思われる。

●参加者の声

住民からは、植樹はもとより、農業の活性化、森林を通じた環境改良、将来の観光開発にかかわる地域開発なども協力してほしいとされている。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	日本	カンボジア	計
5.0ha	2626本	7ha	5.5ha	50人	137人	187人
樹種：タケ、チーク、メンガほか						
実施場所：カンボジア・プレアビヒア州エコ村						



タケ、チーク、メンガほかを植樹

マレーシア・サラワク州における地域住民参加型マングローブ林再生事業

(公社) 日本マレーシア協会

東京都千代田区平河町

●事業概要

目的は、マレーシア・サラワク州クチン湿地国立公園にて近年の開発によりマングローブ林が劣化した地域において、地域住民参加型の育苗、植林、保育によるマングローブ林再生を行うことである。主な活動は以下のとおり。①事業地域の植生や劣化状況並びに地域住民との関係を調査し、地域に合った育苗・植林・保育方法指導するほか植林後の状況確認も行う。②活動地域に隣接する村落の住民と対話を行い、住民参加型活動への合意を得る。③地域村落に簡易苗床を造成し、村人が育苗、植林を行う。地域住民、大学生等が参加するボランティア植林を1回開催、その他の時期に地域住民が植林を行う。

●事業成果

近隣村落と対話を行い、村人が育苗、整地、植林作業に参加する住民参加型活動として行った。3月マレーシア・サラワク大学生、日本の大学生も参加して、ボランティア植林を実施した。

●自己評価

当初の計画通りに、住民参加型活動の基盤が構築できたことは大きな成果である。ボランティア植林は多様な参加者で実施することができた。課題として、育苗数が計画分の6割程度になったことがあげられる。次期は計画分を多少でも上回れるように取り組みたい。

●参加者の声

- ・漁場を自らの手で守っていききたい。(地域住民)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	マレーシア	計
2.5ha	5000本	10人	53人	63人
樹種：オオバヒルギ				
実施場所：マレーシア・サラワク州クチン市				



オオバヒルギを植樹

インドネシア・西カリマンタン州におけるテンカワン植林事業

国際炭やき協力会

東京都羽村市羽中

●事業概要

目的はアブラヤシプランテーションの拡大で急速に熱帯雨林が消失しているインドネシアで、それに対抗する動きを作ることである。活動は以下の通り。①日本人参加者11人と現地サハン村の村民約100人によるテンカワンの植林大会。②サハン村の人たちが先祖から受け継いで来たテンカワンの森の見学。③熱帯林が消失して日本人が何を感じているか、またサハン村の人たちがどういう思いで伝統林を守っているかの意見交換会。

●事業成果

サハン村にとって初めての外国人との1000本の共同植林大会であったが、外部の人間と一緒に植えた木を守っていく約束を交わしたことで、森林保全の意識がより高まった。また、ずっと守ってきた伝統林を外部の人たちに高く評価されることで自信となった。

●自己評価

予定していた1000本の植林は達成できた。県知事代理や郡長も出席し、盛大な会となった。初日は雨だったため予定していた児童との共同作業は中止し、村民との共同作業となったが約100人が集まってくれ、滞りなく植林作業を進めることができた。

●参加者の声

- ・インドネシアの森の劣化を防ぐお手伝いが少しでもでき嬉しい。(40代会社員)
- ・来年も一緒に植林大会をやりたい。(農民リーダー)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	インドネシア	計
3ha	1000本	22人	150人	172人
樹種：テンカワン				
実施場所：インドネシア・西カリマンタン州ベンカヤン県				



テンカワンの植樹

ガーナ植林・日本式炭焼普及プロジェクト

(特非) ガーナ農林工芸振興協会

東京都豊島区駒込

●事業概要

森林減少が進むガーナ中部で、植林により森林の再生を図り、砂漠化防止、農地の地力維持に貢献するため、ニーム（インドセンダン）等の植栽をマンクランソ村で継続した。今後ニーム間伐木や製材工場のオガクズを炭にするため、日本式炭窯を一基増設した。また、ニームの成長量の測定を継続し、植林について林業試験場と情報交換を続けた。さらに、半乾燥地への移行帯で植栽箇所を確保するため、現地NGOや市長と話し合いを進めた。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成27年7月～29年6月）

平成27年度はニームの植栽に着手、日本式炭焼き窯の作設を実施。

②今年度新たに得られた成果等

2年前に植栽したニームが成長しており、間伐、炭焼の見通しがたった。マンクランソでは追加の植栽用の土地を確保できなかったが、今後展開を予定している移行地帯で土地の確保の見通しができた。2基めの炭窯が完成した。

●自己評価

移行帯でのNGOとの話し合いが進んでおり今後の発展に期待している。ガーナ政府との一地域一品の取り組みの検討の動きがあり、今後に期待している。

●参加者の声

現地を訪問した大学関係者一行からは、日本の炭焼窯を見学し、炭焼きの改善につながるとして期待が示された。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	ガーナ	計
0.6ha	5000本	2.4ha	2人	45人	47人
樹種：ニーム					
実施場所：ガーナ・マンクランソ村、テチマン市					



2年前に植樹したニーム、平均樹高6.3m

カンボジア国モンドルキリ州の里山再生を目指した緑化推進事業（フェーズ2）

(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

森林開発により森林減少・劣化が進むカンボジア国最東部に位置するモンドルキリ州において、子ども達を含む地域住民と協働で荒廃地に植林し、人と自然が共生する里山の再生をめざすことを目的とした。主な活動は以下の通りである。①地域住民と協働で実施する在来樹種の植林。②地域住民の持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修の実施。③森林管理住民グループの形成支援・植林地管理指導。④小学生（135名）を対象としたワークショップの実施。⑤持続可能な森林管理に必要な知識・技術と里山再生の重要性を記したパンフレットの作成・配布。

●事業成果

①前年度までの成果等（平成28年）

41haの植栽、研修、ワークショップ、パンフの配付等。

②今年度新たに得られた成果等

住民や小学生が積極的に参加し、研修やワークショップを通して、森林保全の重要性や持続可能な管理についての知識や関心を高められた。

●自己評価

事業計画を達成することができたが、今後の植林地における継続的なモニタリングが必要となる。

●参加者の声

・継続して植林やワークショップを実施してほしい。(村長)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	カンボジア	計
3.5ha	5100本	1.0ha	3人	217人	220人
樹種：メンガ、ケランジィ、ビルマローズウッド、コキ、バドゥク					
実施場所：カンボジア・モンドルキリ州センモノロム市					



メンガ、ケランジィ、ビルマローズウッドほかを植樹

ヒマラヤ山麓伐採荒地に「笑顔は じける環境を子供たちへ！未来の 緑の森づくり」

(特非) ヒマラヤ保全協会

東京都新宿区西早稲田

●事業概要

本事業の目的は、ヒマラヤ山岳部の自然林を地元住民の力によって保全再生する体制を支援、構築ことである。本事業で行う主な活動は、山村集落内に苗畑管理委員会を設け、苗畑管理人の育成をするとともに、育苗の技術を伝え、全世帯住民による植樹である。また、国際環境デーに事業地教育機関と連携して環境教育プログラムを開催し、環境についての学ぶ機会を設け、植樹体験会を開催した。

●事業成果

①前年度までの成果等（～平成28年6月）

育苗、植樹が安定してきており、昨年度、新設したレスパル村でも苗畑管理委員会の立ち上げ、苗畑の設備も整った。育苗、植樹も順調に成果を上げていた。

②今年度新たに得られた成果等

雹害に見舞われ、苗が枯れてしまった。被害を最小限に抑えるための勉強会を開催した。一方、事業山村の住民の環境に関する関心は高まってきている。

●自己評価

新設したレスパル村は成果が出てきている。これまで進めてきた先行事業地も刺激され学び合いの相互関係が見られ良い関係性が生まれている。

●参加者の声

・村のために役立てられることが嬉しい。(苗畑管理人)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	ネパール	計
20.7ha	3万3100本	9人	983人	992人
樹種： パイナスベチュラ、シルム、ティムールほか				
実施場所：ネパール・ダウラギリ地方マヤグディ郡、パルパッド郡				



世界環境デーに植樹する学生

バングラデシュ国モヘシュカリ島における学校・モスク施設主移動による生態系 アプローチに沿った住民参加型植林

ラムサールセンター

東京都目黒区目黒

●事業概要

モヘシュカリ島は、エビ養殖地開発や塩田造成によってマングローブ林の消失が著しい。3年目の今年はサフラブール地区で、環境教育研修を行い、教師や生徒、地域住民参加による学校構内植林・マングローブ植林を実施した。

●事業成果

①前年度までの成果等（2015年7月～17年6月）

学校など26か所に植林。またマングローブ苗を育苗した。今年度は、その成功経験を見て、事業の実施への要望がよせられたサフラブール地域で活動を実施した。

②今年度新たに得られた成果等

5つの新たなコミュニティーベースグループ(CBG)を組織し、コミュニティー会合を4回開催。環境・気候変動教育、植林研修を実施。7つの学校で植林、CBGによる強塩耐性タイプのマングローブ苗の育苗と管理、植林。地域レベルワークショップ(参加者80人)を開催した。

●自己評価

①新たに15のCBGを組織、300人が所属。②様々な樹種を学校等施設に植林。③マングローブ苗を育苗。④マングローブを19haの沿岸域に植林。⑤13回の地域レベルワークショップを開催、240人が参加した。

植林活動により環境が再生されたことに加え、住民が植林した植物の役割を理解することができた。

●参加者の声

・様々な良い影響をもたらしてくれた。(教師)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	バングラデシュ
13.1ha	4万3800本	6.4ha	256人
樹種：モンキーボッド、グアバ、ユーカリ、ココナツ、マングローブほか			
実施場所：バングラデシュ・モヘシュカリ島サフラブール地区			



モンキーボッド、グアバ、ユーカリほかを植樹

ビラーン民族の村の持続可能な森林農業

(特非) ビラーンの医療と自立を支える会

横浜市青葉区鴨志田町

●事業概要

①ビラーン民族の村ポルールの山腹急斜面に在来種を植えた。②緩傾斜地にココヤシ等樹木作物を植えた。③長期の苗木維持管理のモチベーション維持と適正な技術習得のため理論と技術研修を実施した。

●事業成果

①事業地域は約10年前の小規模アグロフォレストリーモデル事業によるココヤシの収穫等、成果確認が可能で、受益者のモチベーションは事業当初から高く維持された。

②バナナの苗木は、上記の受益者が提供するなど、一度樹木作物を栽培すれば、株分けなどによる副次的収入もあることが分かり、新規参加住民の動機付けとなった。

③急斜面の在来種定植作業、手入れ等は、民族伝統のバヤニハン（共同作業班）で行い、30世帯を超える住民が間接的に事業に参加し、今後の事業の広がり期待できる。

④当団体が奨学金で育成したビラーン人農業専門家が自分の村の住民組織化や技術指導を荷い、今後の先住民族専門家育成のよいモデルケースとなった。

●自己評価

ミンダナオ対象戒厳令継続により事業責任者が渡航・モニターを実施できず、事業の進展や課題把握は現地協力組織頼みで、事業実施面というより報告作業上支障があった。

●参加者の声

・苗木を買うお金がないので本当に嬉しかった。実るまで大切に育てる。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	フィリピン
45ha	1万2750本	89人
樹種：タケ、ナブル、ラワン、ココヤシ、コーヒー、バナナ		
実施場所：フィリピン・サウスコタバト州バランガイ・アサンブション		



ココヤシ、コーヒー、ドリアンほかを植樹

町の緑を育て、守る ネパール・バネパ市の住民参加型都市緑化推進事業

(特非) ラブグリーンジャパン

神奈川県鎌倉市小袋谷

●事業概要

2年目の住民参加型の植樹活動を実施した。1) 植樹は、1年目に続いて市内で住民が日常的に利用する場所を選定し、その周辺を対象に実施した。2) 持続性確保の観点より、①維持管理が比較的容易、②成長が早い、③生存率が高いという条件を満たす15m以上の苗木を植樹した。3) 作業は作業スタッフを2名雇用して実施した。4) 地域の環境グループの主導により、住民に管理育成方法を啓発した。5) 「都市緑化」を紹介するリーフレットを作成・配布した。6) 日本からの訪問者に都市緑化への意見などを聞いた。

●事業成果

①昨年度までの成果等（平成28年度）

バネパの環境グループによる植林事業は本支援によって事業が具体的に計画され、家畜による被害などを未然に防ぐことが可能となった。住民の積極的な参加も増えている。

②今年度新たに得られた成果等

植林事業が行政と住民に理解されてきている。植林地区への選定に協力も得られ、苗木の管理はやりやすくなった。

●自己評価

住民に木を管理することの大切さが浸透してきている。市行政の関与も理解されて、今後は市の一部地域の植林事業関与が拡大することも可能となりつつある。

●参加者の声

住民から緑の復活を望む声が寄せられている。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
植付本数	ネパール
448本	225人
樹種：ヒマラヤサクラ、ジャカランダ、イチヨウほか	
実施場所：ネパール・カブレバランチョク郡バネパ市	



街道筋に植樹

インドネシア 中央カリマンタンの森林火災で消失した森林を再生するための植樹事業

F.C. Manis マニスファンクラブ

神奈川県三浦郡葉山町

●事業概要

森林火災や乱開発を抑制するために地域住民の環境意識の向上を目的に学校の学習活動を通して環境教育活動を行うことである。将来的に住民が自然保護区の環境保全を行うことを目的とする。今年度の事業では国立公園周辺地域の小中学校と地域住民が森林保護・保全を継続して行うために必要な「意識の向上」と「知識の定着」を目的とする。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成27～28年)

小中学生の未来の森づくりに対する意識や興味が高まり環境保全を意識できた。

②今年度新たに得られた成果等

緑化ポスター展と植樹イベント(10月)と植樹イベント(3月)を開催した。概略3点の成果を上げた。①学校組織と連携を得る機会を得た。②環境教育授業の枠組みを作ることができた。③国立公園に近接する村で環境保全活動の議論と植樹イベントの受入などを実践した

●自己評価

ポスター展には500人以上が来場、市民に環境保全の普及する機会を得られた。来年度への足がかりができた。

【課題】緑化運動推進の方法を検討し広報に注力する。

●参加者の声

・もっと木を植えたい。(中学2年女子)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	インドネシア
2.35ha	2000本	2.75ha	410人
樹種：ガハルほか			
実施場所：インドネシア・中央カリマンタン・クマイ町、ハラバン村			



小中学生も参加して植樹

家庭菜園を利用した持続可能な苗木生産の創出

(特非) 中央アジア森林草地保全研究所

静岡市駿河区大谷

●事業概要

過放牧等により荒廃した生態系を修復するため調査研究を実践し、森林と草地生態系の持続的に利用可能なシステムを地域住民と共に構築する。具体的には、一定期間植栽地や各種生態系への放牧を禁止するための柵を設置し、その内側に成長の早い野生種バラを植栽する。植栽木は果樹や建築材としてポプラほか。草地では家畜の侵入を制限するので、冬季の備蓄用として質の高い干し草が確保できる。バラ科植物は数年後に天然の柵として機能できるので、システムは次の荒廃した森林および草地生態系で再利用する。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26～27年)

林檎は60kgの収穫があった。数年後には市場に出せる程度の果実が生産できる見通しになった。

②今年度新たに得られた成果等

家庭菜園を利用した苗木圃場を作成。育成した苗木は2000本を超えた。

●自己評価

①自分たちで管理を始めている。②従来柵との比較等住民にあった管理法を模索する必要がある。③今年度から始めた家庭菜園を利用した苗木作りは大成功だった。

●参加者の声

参加者からこれまでの援助に対して感謝の言葉と事業に対する強い支持があった。自主的に果樹園を管理する意識が醸成されている。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積		タジキスタン	
20ha		90人	
樹種：アプリコット、マツ、ブドウ、ビャクシン、リンゴ、チェリーほか			
実施場所：タジキスタン			



苗木作業

上・下流部住民の交流による流域の森林再生 (第1年次)

(特非) イカオ・アコ

愛知県東海市大田川町

●事業概要

目的は、フィリピン西ネグロス州シライ市を流れるマリスボッグ川の流域において、流域の自然の回復と住民の環境意識の向上のためである。主な活動は、上流部及び沿岸部において植林活動と植林祭であった。植林活動には、日本人ボランティア、現地ボランティア、現地小学生、高校生などが参加して植林した。上流部と沿岸部の植林祭を行政と協力し開催した。上流・下流で開催した植林祭では、上流・下流の地域住民と共に行うことで、地域全体の啓発事業となった。

●事業成果

上流部の植林祭は、今年度初めて開催した。あいにく雨天の下、上・下流部の植林団体のメンバーがペアになり、山の斜面で植林を行うことで、山間部での植林の大変さを実感したとともに、上流部の空気の良さ水のきれいさなど、森林の恵みを実感する1日となった。

●自己評価

円高の影響で、予定より多くの本数を植林することができた。また、今年度は、日本人のボランティアを含めて植林活動への参加者が増えた。マングローブ祭りは500人、上流部での植林祭には300人の参加があった。

●参加者の声

- ・当日は雨で斜面は滑りやすかったが、土壌が柔らかく植樹しやすかった。(日本人ボランティア:20代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	フィリピン	計
7ha	9050本	200人	1400人	1600人
樹種：マヤブシギ、アボガド、ラワンほか				
実施場所：フィリピン・西ネグロス州シライ市				



マヤブシギ、アボカドほかを植樹

ルソン島北部山岳地方における森林再生とアグロフォレストリー

(特非) 平和環境もやいネット

大津市南比良

●事業概要

目的は、急激に森林破壊がすすむルソン島北部山岳地方のベンゲット州カパンガン町サグボ村において、原生林の保全、荒廃地の緑化、住民の生計手段確保を同時にすすめる植林を行うことにある。主な活動は以下の通りである。①アルヌス(ハンノキ)、カリエンドラ(オオベニゴウカン)ほかを植樹した。受益者は45名。②受益者を対象に、植樹や環境保全に関する講習会を3回開催した。テーマは以下である。(a)コーヒーの植樹と栽培方法と植樹地管理、(b)気候変動時代に必要な森林農法(アグロフォレストリー)、(c)環境負荷の少ない持続可能な農業。③事業終了後にも自助努力により苗木育成と植樹が継続できるように苗場の造成と苗木育成指導をサグボ村内3か所で実施した。

●事業成果

現地住民組織メンバーは、さらに苗場造成と育成指導についても高い関心を持って参加しているため、今後の継続発展が期待される。

●自己評価

経験豊富な現地の環境NGOが事業地の状況をよく把握していたことで、事業は地域のニーズに即したものになった。環境の多様性を保つと同時に、生活の安定を図る複合的な農業としてコーヒーを軸とした森林農法の技術指導はまさに住民の要望にフィットし大きな関心を集めた。

●参加者の声

- ・苗木が生育し、生活水準の改善に役立つことを信じている。同時に植樹により環境が改善されバランスが保たれていくことを期待する。(現地住民組織メンバー)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
植付本数	フィリピン
1万3200本	405人
樹種：アラビカ・コーヒー、トゥアイ、カリエンドラ、アルヌス	
実施場所：フィリピン・ベンゲット州カパンガン町サグボ村	



植樹方法を現地NGOスタッフが指導

モンゴル山火事跡再生困難地の森林再生促進事業

モンゴル森林再生促進研究会

滋賀県草津市下物町

●事業概要

目的：雨量が少ないことと火事による環境変化（乾燥化）で、再生困難なシベリアカラマツの火事跡が広がっている。この再生のため、倒木陰に植林、種を蒔き、自然の力で再生をする元となる母樹を育てること。主な活動は、①広大な焼け跡で30m間隔に倒木の方向を変えたり伐倒して、新たな陰を創り出し、②その陰に4m間隔で植林し、間に種を1m幅で100粒ずつ撒き覆土した。③5haの焼け跡へ540本の植林と、385カ所の種をまいた。④研修会を開き、この方法の内容と意義を説明した。

●事業成果

2017年秋9月に植え、2018年春6月に活着を調べることができた倒木陰への植林の結果は、食害による枯死を除いた植樹の活着率は9割を超えた。従来の焼け跡に普通に植える方法では活着率が4割だという。また、種を蒔いたところもいつもより数は少ないが発芽していた。種子の選別法も今後の重要な課題である。秋と春の2回、広く大規模に倒木陰をつくり、陰への植林や、種蒔きを行って、実際に定着している苗木や実生を見てその成果の一部も実感できた。今後この成果をモンゴルの森林関係者に広めたい。

●自己評価

倒木陰への植林の活着率は9割と従来方法の4割より飛躍的に上がった。

●参加者の声

・緑化を学べるのはありがたい。（モンゴル人参加者）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	除伐面積	日本	モンゴル	計
5ha	543本	0.3ha	3人	4人	7人
樹種：シベリアカラマツ					
実施場所：モンゴル・フブスグル県					



シベリアカラマツを植樹

アラル海旧湖底の砂と塩分移動防止のための植林活動

(特非) 市民環境研究所

京都市左京区田中里ノ前町

●事業概要

アラル海が干上がり始めたのは1970年代当初からであり、流入水が中下流域で農業用水として取水され、極度に減少した。50年後の現在では湖面積は1割以下となった。広大な旧湖底砂漠の表面に堆積した塩と砂が嵐となって、周辺地域を襲っている。この砂塩の移動を押さえ、旧湖底砂漠への植生進出を速めるための植林を行っている。

●事業成果

①前年度までの成果等

植栽用の溝を掘り、自然林で収集した実生苗や育苗苗木を植える方法と種子を播種する方法を実施してきた。

②今年度新たに得られた成果等

本年は、①種子散布、②天然実生苗植栽、③土壌を入れたポットに種子を蒔き、数ヶ月間、育苗したポット苗植栽の3方式を実施した。合計3haの植林である。ポット苗植栽が良好な活着結果であると聞いているので、再度現地調査をカザフの植物学者に依頼する。

●自己評価

ポット苗の生育が良好である。最近になって沙漠から砂が押し寄せる近隣の集落で国連機関が植林を開始し、我々の経験が生かされており、これからもよりよい植林方式の開発を兼ねたこの事業を進めたい。

●参加者の声

子どもたちがポット苗の水やりを手伝ってくれたり、サクサウールの生長の様子を植林地管理者の村人から課外授業を受けるなど、自分たちのことと思ってくれている。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	カザフスタン
3.0ha	967本	16人
樹種：サクサウール		
実施場所：カザフスタン		



子ども達も手伝ってサクサウールの苗を育てる

マダガスカルでの土砂流失防止の植林事業

(特非) アイユーゴー

大阪府泉南郡熊取町

●事業概要

本事業の目的は、樹木がほとんど見られない高地であるアンボヒダヴァ村の草原地帯を整備して植樹し、土砂災害防止と森林保全と再生を目的とすることである。作業道を造設し、乾期の山火事防止としての働きも兼ねるようにした。

●事業成果

地肌が多く見られる現場で、植栽の経験のない住民たちと植樹を行った。専門家たちには住民たちに植樹の指導に加え、管理についても指導を促した。獣道に作業道ができて通行しやすいと言った住民がいた。彼らはサイクロソンの厳しさを経験しているだけに豪雨による土砂の流失の危険性を良く知り、通行に関しては敏感なところがある。また、植樹を経験していない住民がまだ多くいるが、住民の間では徐々に植林事業の存在を知り始めている。

●自己評価

専門家が現場で住民に植樹の仕方を教えているとき、住民は一生懸命に説明を聞き入っている。教室でも指導するが、苗木を手にしたときのうれしさが現場では一層懸命にさせているのかと思った。昨年同様に小中学生が協力してくれた。

●参加者の声

- ・また続けてほしい。面白い。(中学生男子)
- ・植えることがよくわかったよ。楽しい。残りは自分でやるよ。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	マダガスカル	計
11ha	7600本	2人	850人	852人
樹種：アカシア、オレンジ、カエデ、ユーカリ				
実施場所：マダガスカル・アンボヒダヴァ村				



アカシア、オレンジほかを植樹

ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した水源涵養植林事業

(特非) 野生生物を調査研究する会

神戸市北区東有野台

●事業概要

目的は、アグロフォレストリーによる小農家の生計を向上させながら植林地域を拡大させること及び小農家生産者協会の地域の水源涵養林の整備である。トメアス総合農業協同組合と共に、2005年度から小農家の組織化を図り、苗畑整備と苗づくり等の指導を行ってきた。その結果トメアス郡に12か所の小農家生産者協会において苗畑整備ができ、アグロフォレストリー農法・植林が普及されつつある。また、水源涵養植林づくりを実施した。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成26～28年)

小農家の生計の向上と環境保全の啓発を兼ねて土壌流失による河川保全に水源涵養林の植樹を実施してきている。

②今年度新たに得られた成果等

本年度の植林は2ヶ所の会員を対象に8haの植林を実施した。肥料と石灰を植栽時に投入することで、生育の違いが鮮明となり、小農家の意識改革につながった。

●自己評価

計画通りに実行することができた。他方、農産物の価格が下落していることから小農家の生計面では厳しい状況となっている。

●参加者の声

- ・苗木の配布だけのプロジェクトではなく、肥料や石灰があることで、より効果が早く現れるので、その後の除草管理も早めに不要になりそうでありがたい。(小農家)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	ブラジル
8ha	8000本	32人
樹種：バナナ、カカオほか		
実施場所：ブラジル・パラ州トメアス郡		



バナナ、カカオほかを植樹

世界遺産の棚田を崩壊から守るための植林事業

(特非) NEKKO

兵庫県三木市福井

●事業概要

イフガオは棚田景観が美しく1995年に世界文化遺産として登録されている。しかし乱伐等で森林の荒廃が進み、棚田灌漑のための湧水が激減して水田の枯渇や土砂崩れなど、大きな打撃を受けている。このままでは棚田が崩壊してしまう、と住民有志が1995年頃から自発的に木を植え始めた。この“木を植える運動”に当初から参画し続けている。短期かつピンポイントで棚田や水源を保護する新技術を開発している。それが「NIWAKAT PUNTANUMAN(小規模多地域植林法)」である。この植林技術を普及させたい。

●事業成果

①昨年度までの成果等(平成26～28年度)

観光客や地元の小中学校が気軽に参加できる植林の方法を確立できた。予算さえあれば現地の職員だけで苗木の準備や植林の実施が可能になった。

②今年度新たに得られた成果等

SNSで本事業を知った人たちが、サークルや家族単位での植林を希望する問い合わせが増えている。この方法の方が予算も少なく、その後の情報拡散についても反響が大きいと感じている。

●自己評価

誰もが気軽にSNSにアクセスしている現状は、グループや個人と繋がり、活動することが可能だと感じている。

●参加者の声

・医療奉仕の活動で現地にやってきた。まさか休憩時間に植林ができるとは思わなかった。(医師)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	フィリピン	計
10ha	1万本	12.5ha	13人	650人	663人
樹種：ナツメヤシ					
実施場所：フィリピン・イフガオ州バナウエ、ウハ村					



ナツメヤシを植樹

タイ北部山岳地域 ホイドウア村の森林再生と農村開発

(特非) シャンティ山口

山口県周南市大字下上

●事業概要

「遺伝子組み換えトウモロコシ畑」を「果樹林」に転換し持続可能な森林農業と共に荒廃した大地を緑豊かな農地にすることにより森林を甦らせ、持続可能で安定した豊かな生活の向上を目指すと共に環境保全型森林農業と循環型社会形成のモデルとして地域に波及することを目的とする。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成27～28年)

目標を、トウモロコシ栽培地の全面積(200ha)の半分(100ha)を設定し3年間の均等分割(33ha)2年実績(51.54ha)目達成率(78%)で、物価の高騰で資金不足から目標に到達できなかった。

②今年度新たに得られた成果等

前年同様を目標とした。しかし、物価の高騰から資金が追いつかず、また、昨年同様北タイの森林化が増え苗木の生産が追いつかず価格の高騰が相次いでいる。このため植え付け面積も30haにとどまり3年間累積目標の81%にとどまった。住民達は、年々高騰する苗木の状況から、苗木に対する愛着と収穫を目標に大切に育てなければという心意気が苗木の手入れや堆肥づくりに現れている。

●自己評価

成果は、お金に替えがたい明るい未来と希望を与えた。素晴らしい贈り物となった。これを機に自分達の手で残された未達成分を切り開いていけると確信している。

●参加者の声

・果樹をもっと多く植えたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	タイ
30ha	6674本	410人
樹種：ラムヤイ、マンゴー、ゴムほか		
実施場所：タイ・バヤオ県チェンカム郡		



ラムヤイ、マンゴーほかを植樹

モザンビーク共和国カーボデルガド州 モリンガプロジェクト

NGOモザンビークのいのちをつなぐ会

福岡県北九州市小倉南区朽網西

●事業概要

目的は、違法伐採等により森林が減少しているカーボデルガド州において、国連も推奨するモリンガとグアバを農村地区と州都ベンバのスラム地区に移植することである。環境緑化とともに、現地で最大の問題である貧困飢餓問題解決をめざすものである。

●事業成果

当会設立時より協働している農村地区協同組合や農民、州都ベンバの青年有志と協力して実施。モリンガは現地で日常的に葉をシチューにして食べる習慣があるが多くの人は市場で購入しており、貧困状態である現地では移植に関して非常に好評で来年も続けてほしいとの声が多く上がった。

●自己評価

コスト削減をするために乗り合い可能な車両を運搬に使う等の工夫を行い赤字の削減に努めた。

車両借上げコストが一番のネックになる。次回は、育苗をベンバで実施し、栄養失調率が6割を超えるスラム地区での移植に重点を置きたい。

●参加者の声

- ・活動のことを友人や親類に伝えると、モリンガを家にも移植してほしいと多くの人から言われた。
- ・モリンガは薬にもなるし、食べられるし、薬用食用両面から有効なので、もっと植えるべきだと思う。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	モザンビーク
1.2ha	1200本	118人
樹種：モリンガ、グアバ		
実施場所：モザンビーク・カーボデルガド州ビリビザ、ベンバ市		



モリンガ、グアバを植樹

ミャンマーにおける多目的コミュニティー林造成事業

(特非) 地球市民の会

佐賀市高木町

●事業概要

目的は、住民グループ「Save the Inle」と共にインレー湖の環境保全活動を実施することである。コミュニティー林を造成を通じて「地域で環境を守る」意識を育成し、当会のこれまでのインレー湖周辺の活動を同グループに技術移転することにより、住民主体の持続可能な活動を目指した。主な活動は以下の通り。①湖周辺村での植林、②持続的な植林活動実現のための環境整備、③アグロフォレストリーと循環型農法の指導、④今後の環境保全活動についての検討。

●事業成果

循環型農法の指導について、Save the Inleをはじめ地元の人々と共に実施することができた。また、政府林業局のスタッフにも協力を得られたことも収穫の一つであった。

地元のNGO、政府関係者ほか各方面との情報共有を積極的に進めたため、今後の協力体制確立への糸口となり、継続的に緑化を推進する見通しが立った。

●自己評価

予定通り進めることができた。Save the Inleとの今後の環境保全活動検討に関しては、具体的な案は出て、一部は開始している。ネットワークを活かして広く住民を巻き込んで継続していく必要がある。

●参加者の声

- ・農業研修では新しい技術を学ぶことができた。付加価値をつけて販売もでき、環境のためにいい農法なので、実践していきたい。(農業研修実施村村民)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	ミャンマー	計
7ha	8600本	7ha	284人	284人
樹種：アボカド、マンゴー、コーヒー、チーク、ユーカリほか				
実施場所：ミャンマー・タウンジー県チエーボウコン村				



苗木づくり

平成 29 年度 中央事業実施状況一覧

【森林の整備】

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
29SC-01	緑のボランティアの森記念造成事業 「フォレスト21さがみの森」	神奈川	フォレスト21さがみの森連絡協議会	東京	1,500	10
29SC-02	緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森 21」	大阪	いずみの森ボランティアの会	大阪	300	10
29SC-03	「キリン千歳水源の森」整備の森づくり	北海道	北海道林業技士会	北海道	634	11
29SC-04	地球温暖化防止のための北海道の森づくり事業	北海道	北海道林業技士会	北海道	513	11
29SC-05	原村あゆみの森整備事業	長野	あゆみの森実行委員会	長野	1,300	12
29SC-06	玖珠町ふれあいの森づくり事業	大分	玖珠郡森林組合	大分	2,000	12
29SC-07	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業	神奈川	(公財)かながわトラストみどり財団	神奈川	1,800	13
29SC-08	積水化学・水源の森づくり事業	北海道	(公社)北海道森と緑の会	北海道	1,300	13
29SC-09	「積水化学の森・木津川」 生物多様性保全の森づくり	京都	木津川市地域連携保全活動応援団	京都	1,200	14
29SC-10	栗原ジオパーク崩落跡地の植生復元事業と 行者の滝周辺被害地の植生調査	宮城	(特非)森林との共生を考える会	宮城	1,000	14
29SC-11	富士山緑の募金の森造成事業	静岡	富士山緑の募金の森造成事業実行委員会	静岡	3,000	15
29SC-12	企業と協働による「高梁美しい森」整備事業	岡山	(特非)フォレストフォービープル岡山	岡山	2,250	15
29SC-13	高尾小仏の森植樹祭2017	東京	(特非)国際ふるさとの森づくり協会	東京	1,500	16
29SC-14	奈良県吉野山の森づくり事業（森の教室 苗返し）	奈良	(公財)奈良県緑化推進協会	奈良	800	16
29SC-15	いのちの森づくり植樹祭IN 奥沢水源地 VOL.5	北海道	“北海道”千年の森プロジェクト	北海道	1,500	17
29SC-16	緑のESDの森づくり事業	宮城	(特非)宮城県森林インストラクター協会	宮城	900	17
29SC-17	「赤西溪谷・水源の森」保全事業	兵庫	(特非)ひょうご森の倶楽部	兵庫	1,000	18
29SC-18	岡山水源の森整備事業	岡山	グリーンOB会	岡山	320	18
29SC-19	岡山県日本リスの森整備事業	岡山	グリーンOB会	岡山	160	19
29SC-20	水源地保全活動	茨城	美和木材協同組合	茨城	200	19
29SC-21	南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業	神奈川	(公財)かながわトラストみどり財団	神奈川	2,700	20
29SC-22	「積水化学の森・うきは」 生物多様性保全の森づくり	福岡	うきは市森林セラピー実行委員会	福岡	1,194	20
29SC-23	「能勢菊炭を子どもたちへ」クヌギ里山再生計画	大阪	(公財)大阪みどりのトラスト協会	大阪	1,020	21
29SC-24	「みたけ木曾川水源の森づくり」活動	岐阜	みたけ木曾川水源の森づくり実行委員会	岐阜	1,000	21
29SC-25	「大阪府ENEOS友好の森」森林整備事業	大阪	大阪府森林組合 南河内支店	大阪	1,332	22
29SC-26	和木町協働の森づくり事業	山口	和木町里山研究会	山口	180	22
29SC-27	さいたまの森林づくり支援事業	埼玉	(特非)埼玉森林サポータークラブ	埼玉	1,000	23
29SC-28	福を呼ぶ「フクギさんぼ道」プロジェクト	沖縄	(公社)沖縄県緑化推進委員会	沖縄	2,000	23
29SC-29	当麻町緑の募金記念植樹事業	北海道	当麻町緑の募金記念植樹実行委員会	北海道	1,100	24
29SC-30	木曾川・やおつ水源の森づくり活動	岐阜	やおつ水源の森づくり実行委員会	岐阜	850	24
29SC-31	自伐型林業による 製紙用パルプ材供給体制整備モデル事業	兵庫	(特非)持続可能な環境共生林業を実現する 自伐型林業推進協会	東京	2,000	25
29SC-32	多摩動物公園 豊かな里山の森づくり	東京	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	155	25
29東震SC-01	3.11復活の森づくり ～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業	千葉	(特非)森のライフスタイル研究所	東京	1,800	26
29東震SC-02	ラグビーワールドカップ2019開催をステップとし たコミュニティの再生を目指す大槌湾海岸防災林植 樹事業	岩手	環境パートナーシップいわて	岩手	1,530	26
29東震SC-03	「岩沼潮除須賀松の森」植樹事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	1,300	27
29東震SC-04	平成29年度東日本大震災復興事業 (被災海岸松林再生植樹祭)	茨城	(公社)茨城県緑化推進機構	茨城	4,500	27

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
29東震SC-05	旭復興事業2017	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	906	28
29東震SC-06	震災復興植樹祭INさんむ	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	1,348	28
29東震SC-07	白子町海岸保安林再生植樹祭	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	1,122	29
29東震SC-08	みやぎ山元地区海岸防災林再生活動	宮城	(特非)生命と環境保全	宮城	700	29
29東震SC-09	「荒浜・岩沼潮除須賀松の森」植樹事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	3,777	30
29東震SC-10	宮城県東松島地区海岸防災林(浜須賀松国有林)の再生に向けた活動	宮城	(一財)日本森林林業振興会秋田支部	秋田	700	30
29東震SC-11	松川浦海岸防災林(相馬市大洲国有林)植樹事業	福島	(特非)DO55	東京	700	31
29S-01	森と街を繋ぐ森の循環プロジェクト	北海道	(公社)北海道森と緑の会	北海道	1,800	31
29S-02	札幌市澄川都市環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業	北海道	(特非)北海道森林ボランティア協会	北海道	850	32
29S-03	植樹会と間伐材利用イベントを通じた、富良野の森づくり人づくり事業	北海道	(特非)C・C・C富良野自然塾	北海道	830	32
29S-04	林業担い手を育てる自伐林業家養成事業	北海道	北海道自伐型林業推進協議会	北海道	1,200	33
29S-05	林業体験活樹祭 ～森と海をつなぐ町はしかみ2017～	青森	三八みらいの森づくり協議会	青森	400	33
29S-06	吉里吉里の森林再生プロジェクト	岩手	(特非)吉里吉里国	岩手	800	34
29S-07	森林の整備(地震で崩落した山林の再生事業)	宮城	森のなかま	宮城	530	34
29S-08	森林の整備(離島の森の回復事業)	宮城	森のなかま	宮城	260	35
29S-09	花いっぱい森コミュニティプロジェクト	山形	ふるさと山の会	山形	690	35
29S-10	森林ボランティア育成講座 第12期	茨城	森のボランティア茨城	茨城	386	36
29S-11	茨城県県民の森「スギ採種園の跡地」及び他フィールドの森林整備活動	茨城	いばらき森林クラブ	茨城	445	36
29S-12	前橋里山ワークキャンプ(里山整備ボランティア)	群馬	(特非)チャウス	群馬	1,200	未掲載
29S-13	補植・名郷(上名栗)植樹プロジェクト	埼玉	名栗さわらび隊	東京	300	37
29S-14	牡蠣を育む海を豊かにするための川上川下連携による森林整備活動	広島	(特非)地球と未来の環境基金	東京	1,100	37
29S-15	相模湖若者の森づくり、知足の森整備活動	神奈川	(特非)緑のダム北相模	神奈川	770	38
29S-16	森林が世界と地域をつなぐ、国際森林保全ワークキャンプ事業	全国16箇所	(特非)ナイス日本国際ワークキャンプセンター	東京	1,400	38
29S-17	「玉原高原ブナ林の復元を目指したボランティアによる森林整備」事業	群馬	(特非)玉原高原の自然を守り育てる会	東京	630	39
29S-18	長野県北信地域森林整備活動	長野	(特非)国際ボランティア学生協会	東京	1,400	39
29S-19	カルチャーセンター周辺急斜面の防災緑地化、およびC棟南野草庭園化事業	東京	サンシティ管理組合	東京	300	40
29S-20	アースデイいのちの森	東京	いのちの森	東京	850	40
29S-21	日向の森(千葉県山武市・人工林)保全活用のための森林ボランティア人材養成事業	千葉	(公財)Save Earth Foundation	東京	1,700	41
29S-22	市民参加の「みんなの森づくり」事業	東京	(一財)みんなの森財団	東京	360	41
29S-23	水源林の保全・整備と森林の多目的利用の促進	神奈川	(特非)かながわ森林インストラクターの会	神奈川	360	42
29S-24	南高尾風景林の整備活動と森林体験スクール事業	東京	高尾グリーン倶楽部	東京	700	42
29S-25	山からの間伐材を利用した町の公園整備	栃木、東京	森林を楽しむ会	神奈川	340	43
29S-26	里山ボランティアの安全技能研修	神奈川	(特非)よこはま里山研究所	神奈川	410	43
29S-27	次世代につなぐ里山づくり	福井	(特非)里豊夢わかさ	福井	460	44
29S-28	昆虫の住める森づくり	山梨	(特非)自然とオオムラサキに親しむ会	山梨	1,500	44
29S-29	つつじヶ崎の森(ふれあいの森)森林再生事業	山梨	(特非)木netやまなし	山梨	400	45
29S-30	中山間地に人を呼ぶ～身近な里山の森林資源をプロデュース(地域資源の利活用)	長野	林業研究グループ 大岡森林塾	長野	800	45
29S-31	水源の森実験林と多目的広場の設置を進める事業	岐阜	水源の森実行委員会	岐阜	1,100	46

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
29S-32	山と海をつなげるいのちの森づくり植樹祭	静岡	(特非)時ノ寿の森クラブ	静岡	1,000	46
29S-33	間伐材搬出、利用促進による森林の整備事業	静岡	(特非)林 林 林	静岡	270	47
29S-34	大久保地域の竹林・森林整備、緑化推進事業	静岡	(特非)OHKUVO	静岡	1,200	47
29S-35	循環再生する森にかかわろう!	三重	グリーンボランティア「森林づくり三重」	三重	634	48
29S-36	斎王竹の道「森林再生保全」	三重	(特非)うにの郷クラブ	三重	600	48
29S-37	森林施業・林業生産等の体験と森林整備	京都	府民の森ひよし森林倶楽部	京都	660	49
29S-38	雪害倒木の活用「焰のある暮らし」普及活動	京都	南丹たんぼ組	京都	150	49
29S-39	三嶺の森再生事業	高知、徳島	三嶺の森をまもるみんなの会	高知	395	50
29S-40	2反から始める林業体験の場づくり	福岡	(特非)山村塾	福岡	820	50
29災S-01	森づくり事業	宮城	わたりグリーンベルトプロジェクト	宮城	2,000	51
29災S-02	岩泉町及び金華山の被災森林再生事業	宮城	(一社)ブッシュクローバ・コミュニティ	宮城	1,500	未掲載
29災S-03	東日本大震災復興支援 緑化木育成	岩手、宮城、 福島、千葉	東日本大震災復興緑化支援100万本植樹活動	千葉	2,300	51
29災S-04	富士山麓における森づくり整備活動	山梨	(公財)オイスカ	東京	2,500	52
29災S-05	新地町沿岸部における防災緑地整備事業	福島	(特非)地球緑化センター	東京	2,780	52
29災S-06	緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり	新潟	四季を愛する会	新潟	2,720	53
29災S-07	国民参加による災害に強い森づくり事業	新潟	(特非)里山クリーン新潟	新潟	1,300	53
29災S-08	蘇る熊野の森大日山プロジェクト2017(2番区)	和歌山	(特非)三つの森	和歌山	900	54
29災S-09	「銀林の恵み森活プロジェクト」で山林災害を無くそう!事業	島根	銀林の恵み森活プロジェクト実行委員会	島根	1,550	54
29災S-10	徳島県那賀町木沢森林整備事業	徳島	(特非)烏雲の森沙漠植林ボランティア協会	徳島	650	55
29災S-11	環境共生型森づくりでだれもが参入できる永続的森業の実践普及事業	高知	(特非)土佐の森・救援隊	高知	1,800	55

【緑化の推進】

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
29RC-01	獅子吼高原 森のふれあい音楽会	石川	「つたえよう 美しき森」推進委員会	石川	1,500	58
29RC-02	水源林・森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム	山梨	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	1,685	58
29RC-03	子どもと地域のための森の健康診断普及事業	長野、岐阜、 愛知など6県	森の健康診断出前隊	愛知	2,000	59
29RC-04	組手什を用いたH29九州北部豪雨復興支援事業	大分	九州森林インストラクター会	熊本	350	59
29RC-05	学校教育環境向上のための緑化事業(東浦町立藤江小学校)	愛知	東浦町立藤江小学校	愛知	1,000	60
29RC-06	九州北部豪雨復興支援事業(学校・仮設住宅団地等緑化・木製品提供)	福岡	(公財)福岡県水源の森基金	福岡	1,500	60
29RC-07	学校教育環境向上のための緑化事業(多摩市立愛和小学校)	東京	多摩市立愛和小学校 緑の少年団	東京	1,000	61
29RC-08	げんきの森づくりと森の学習活動	北海道	(特非)森林遊びサポートセンター	北海道	351	61
29RC-09	北広島市げんきの森～北広島エコミュージアム構想に根差した森づくり～	北海道	北広島木育研究会	北海道	469	62
29RC-10	町有林・げんきの森育樹事業	北海道	京極町森と緑の会	北海道	187	62
29RC-11	みんなでつくる・未来へつなげる森と水辺の里山づくり事業(2年目)	北海道	(特非)登別自然活動支援組織モモンガくらぶ	北海道	298	63
29RC-12	こどもからお年寄りまで元気になる森づくり事業	北海道	羽幌みんなでつくる自然空間協議会	北海道	300	63
29RC-13	木育フェスタin桜ヶ丘森林公園	北海道	てしかが自然学校	北海道	395	64
29RC-14	地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」の推進	新潟、千葉、 東京	(特非)共存の森ネットワーク	東京	1,746	64
29RC-15	活樹祭・親子森林教室石垣島里山づくりプロジェクト	沖縄	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	2,850	65

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
29東震RC-01	東日本大震災復興祈念・大槌学園環境緑化事業	岩手	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	3,100	65
29東震RC-02	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	2,313	66
29東震RC-03	東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！ Project-D	岩手、宮城、 福島	(公財)日本環境協会	東京	1,133	66
29東震RC-04	東日本大震災復興祈念・大槌学園環境緑化事業-2	岩手	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	2,550	67
29熊震RC-01	熊本地震復興支援事業(学校・仮設住宅団地等緑化・ 木製品提供)	熊本	(公社)熊本県緑化推進委員会	熊本	2,820	67
29R-01	森と緑と湖のマチ、そららの森づくりプロジェクト	北海道	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウエイ	北海道	670	68
29R-02	八幡山桜(はな)の森整備事業紅葉の森整備事業	山形	手ノ子区協議会	山形	1,530	68
29R-03	宇宙から見える森づくり(きぼうの桜)	岩手、宮城、 福島	(一財)ワンアース	茨城	800	69
29R-04	どんぐりの木植樹会	茨城	(特非)森の自然学校助川山保全くらぶ	茨城	320	69
29R-05	カエデの植樹による山村と都市の交流	埼玉	お菓子な郷推進協議会	埼玉	600	70
29R-06	十日町市民協働の森づくり植樹祭	新潟	十日町市民協働の森づくり実行委員会	新潟	300	70
29R-07	SDGs環境フォーラムと木づかい体験木工教室の開 催及び富士山麓の自然:生物多様性の現地調査の実 施	静岡	(特非)土に還る木森づくりの会	静岡	1,000	71
29R-08	猿投山北西山麓斜面の環境林整備	愛知	猿投の森づくりの会	愛知	900	71
29R-09	森は海の恋人「うなぎの森植樹祭」事業	大阪	(一社)大阪府木材連合会	大阪	1,850	72
29R-10	豊かな自然の復元を願って=生物多様性豊かな森づ くり	兵庫	(一社)ブナを植える会	兵庫	640	72
29R-11	「ひろしま里山未来博」記念植樹祭	広島	(特非)ひろしま人と樹の会	広島	1,200	73
29R-12	「山野草のエキ」保存による里山交流事業	山口	「山野草のエキ」保存会	山口	1,100	73
29R-13	森づくり活動による都市・山村交流ふれあい事業	徳島	(公社)徳島森林づくり推進機構	徳島	2,000	74
29R-14	炭焼と日本ミツバチの森づくりPJ	福岡	(特非)北九環淨研	福岡	1,700	74
29R-15	少年団による水源林整備及び自然体験活動	熊本	人吉・球磨自然保護協会	熊本	390	75
29災R-01	新たな林業「クロモジ」による都市山村交流	福島	(特非)南会津はりゅうりの会	福島	1,000	75
29災R-02	A-WASS 循環と共生の森づくり in ときがわ	埼玉	木と建築で創造する共生社会実践研究会 (A-WASS)	東京	770	76
29災R-03	三宅島復興支援緑化再生プロジェクト	東京	日本山岳会「高尾の森づくりの会」	東京	550	76
29災R-04	上下流連携の「森活」やまづくり事業	群馬	やまづくりくらぶ	東京	460	77
29災R-05	伊豆斐山山谷地区竹林整備事業	静岡	(特非)日本の竹ファンクラブ	神奈川	750	77
29災R-06	国民参加による災害に強い森林づくり事業	神奈川	(一社)Silva	神奈川	1,800	78
29災R-07	災害に強い西川広葉樹を育てる交流事業	山形	災害に強い西川町広葉樹を交流で育てる会	神奈川	720	78
29災R-08	山村と都市住民の交流・協働による海岸防災林やス キー場跡地等の森林整備事業	千葉、東京、 長野	(特非)森のライフスタイル研究所	長野	2,150	79
29災R-09	山村住民と中京圏・都市住民との協働による森林ポ ランティア活動事業	岐阜	森林・山村を守る中部圏都市住民の会	愛知	1,100	79
29災R-10	グリーンベイOSAKA森を育てる活動(海岸防災林 の植樹整備)	大阪	(特非)グリーンベイOSAKA	大阪	1,900	80
29災R-11	揖保川源流の森づくり	兵庫	兵庫どんぐり千年の森をつくる会	兵庫	1,300	80
29災R-12	大浦干拓防風林保全活動	鹿児島	(特非)森と木の研究所	鹿児島	1,150	81
29災R-13	「地球に緑を 桜島を緑に」どんぐりの照葉樹森づく り第17回 桜島どんぐりころころ植樹祭	鹿児島	桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会	鹿児島	1,350	81
29ふR-01	天売島・持続可能な未来の水源地づくり事業	北海道	(一財)天売島おらが島活性化会議	北海道	700	82
29ふR-02	今別町ふるさとの桜樹勢回復再生事業	青森	今別町緑化推進委員会	青森	800	82
29ふR-03	みほの里山環境整備事業	青森	美保野小学校地域学校連携協議会	青森	700	83
29ふR-04	楽しいみんなの森づくり事業	宮城	(特非)ウイザス	宮城	500	未掲載
29ふR-05	西長野古米沢の森林再生事業	秋田	(株)花葉館・植栽グループ	秋田	500	83

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
29ふR-06	「そだてよう！どんぐりの森」プロジェクト	秋田	男鹿ツーリズムプラットフォーム	秋田	1,000	84
29ふR-07	権現堂しだれ桜保全事業	山形	権現堂地区会	山形	500	84
29ふR-08	川内ふるさと触れあいの森づくり	福島	川内村商工会	福島	500	85
29ふR-09	大生神社の社叢整備事業	茨城	鹿行森林クラブ	茨城	700	85
29ふR-10	連取の笠松保全活動	群馬	群馬県樹木診断協会	群馬	500	86
29ふR-11	生物多様性のある里山の森づくり	埼玉	埼玉県立浦和第一女子高等学校 麗風会	埼玉	500	86
29ふR-12	旧岩崎家末廣別邸の森再生維持事業	千葉	旧岩崎家末廣別邸管理支援ボランティア末廣倶楽部	千葉	500	87
29ふR-13	桜の弘法山、森林再生事業	神奈川	市民による森林づくり実行委員会	神奈川	500	87
29ふR-14	阿賀町中ノ沢地区天然スギ巨木の森整備事業	新潟	(特非)お山の森の木の学校	新潟	500	88
29ふR-15	鬼太鼓の森再生事業	新潟	鬼太鼓の森づくり協議会	新潟	1,000	88
29ふR-16	「ふるさと絆の森」再生事業	石川	石川フォレストサポーター会	石川	500	89
29ふR-17	越前和紙の里 景観整備事業	福井	五箇地区まちづくり協議会	福井	800	89
29ふR-18	ふるさとの森林再生事業	福井	笠松区自治会	福井	600	90
29ふR-19	彦谷の里 里山保存継承事業	岐阜	自治会二本木区	岐阜	1,000	90
29ふR-20	里山や竹林の保全と子どもたちの野外活動支援事業	静岡	団地工房「ゆう」	静岡	500	未掲載
29ふR-21	富士のさと森づくり事業	静岡	(特非)土に還る木森づくりの会	静岡	500	91
29ふR-22	学校のシンボル「メタセコイヤ」の樹勢回復	愛知	知立市立知立中学校PTA	愛知	500	91
29ふR-23	名勝三多気の桜維持管理事業	三重	伊勢地景勝・史跡保存開発事業委員会	三重	500	92
29ふR-24	海津大崎のサクラ並木樹勢回復事業	滋賀	美しいマキノ・桜守の会	滋賀	1,000	92
29ふR-25	上宮津スギの森保全事業	京都	上宮津21夢会議	京都	500	93
29ふR-26	妙見山のブナ林バッファゾーン整備事業	大阪	能勢妙見山ブナ守の会	大阪	500	93
29ふR-27	豊かな自然の復元を願って＝ふるさとのブナ林再生事業	兵庫	(一社)ブナを植える会	兵庫	500	94
29ふR-28	憩いの場としての健全な森林づくり	奈良	(特非)森づくり奈良クラブ	奈良	240	94
29ふR-29	吉野 落葉樹・どんぐり苗返しの森造り森林再生事業	奈良	(特非)地球と未来の環境基金	東京	1,000	95
29ふR-30	境港市竹内西緑地マツ林復元・整備事業	鳥取	竹内マツ植樹隊	鳥取	760	95
29ふR-31	「森の名手・名人」故 栗栖誠氏山林復興事業	島根	日本林業技士会 島根県支部	島根	500	96
29ふR-33	鯖釣山自生椿群生林整備事業	山口	宇賀地区活性化推進協議会	山口	500	96
29ふR-34	緑の景観事業による里山創生	山口	「鹿野の風」プロジェクト	山口	500	97
29ふR-35	三蒲の環境美化活動	山口	美しい三蒲を創る会	山口	700	97
29ふR-36	島ノ川渓谷緑化推進事業	高知	島ノ川渓谷等修景緑化推進委員会	高知	500	98
29ふR-37	岡垣町(一丁溜池周辺地区)の放置竹林伐採・植樹プロジェクト事業	福岡	岡垣緑のまちづくりの会	福岡	1,000	98
29ふR-38	衣千百年桜樹勢回復事業	佐賀	衣千会	佐賀	1,000	99
29ふR-39	紙屋の里山等再生事業	宮崎	紙屋有志会	宮崎	1,000	99
29ふR-40	武岡台の森環境整備事業	鹿児島	鹿児島市立武岡台小学校	鹿児島	500	100

【国際協力】

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
29KC-01	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業	マリ	(特非)サヘルの森	東京	1,300	102
29KC-02	日本ーラオス友好の森展示林造成事業	ラオス	高尾グリーン倶楽部	東京	3,000	102
29KC-03	平成29年度緑の国際ボランティア研修(タイ国)	タイ	(特非)環境修復保全機構	東京	3,000	103
29KC-04	タイ国ナコーンラーチャーナー県における森林再生を目指した植林事業	タイ	(特非)環境修復保全機構	東京	2,600	103

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
29KC-05	タイ国チャイナート県における森林再生を目指した植林事業	タイ	(特非)環境修復保全機構	東京	1,190	104
29KC-06	カンボジア国クラチェ州における生物多様性の保全を目指した植林事業 (フェーズ2)	カンボジア	(特非)環境修復保全機構	東京	2,400	104
29KC-07	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業	中国	(特非)地球緑化センター	東京	1,600	105
29KC-08	インドネシア森林と水保全のための「まちの森」づくりと環境教育推進プロジェクト	インドネシア	(公財)オイスカ	東京	3,200	105
29KC-09	ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒唐造林事業	ロシア	(特非)むさしの・多摩・ハバロフスク協会	東京	2,400	106
29KC-10	河北省環境保全協力事業	中国	(特非)地球緑化センター	東京	4,000	106
29KC-11	モンゴル森林火災被災地再生事業	モンゴル	(特非)GNC Japan	東京	800	107
29K-01	モンゴルにおける北方型生活環境保全林の造成事業	モンゴル	蒼いウランバトル技術支援実行委員会	北海道	1,700	107
29K-02	苗木生産・供給をベースとした住民主体のコミュニティー完結型緑化事業 (継続)	エチオピア	(特非)フー太郎の森基金	福島	1,900	108
29K-03	小学校周辺の防風、防寒を目的とした植林事業	エクアドル	(特非)エクアドルの子どものための友人の会	埼玉	490	108
29K-04	中国内モンゴル自治区錫林郭勒盟正蘭旗烏日図嘎査フィサンダクー沙地地域における沙丘からの流沙防止のための植林	中国	(特非)日本沙漠緑化実践協会	東京	1,090	109
29K-05	ブルキナファソ・バム県における村落植林プロジェクト	ブルキナファソ	(特非)緑のサヘル	東京	630	109
29K-06	インドネシア・東スンバ県における緑化推進のためのマングローブ植林事業	インドネシア	(特非)地球の友と歩む会	東京	550	110
29K-07	アブラ州ランガング流域における生物多様性改善のためのモデル植林プロジェクト	フィリピン	(公社)オイスカ	東京	1,800	未掲載
29K-08	セレゲレン苗木生産センターにおける育苗及び砂漠化防止のための植林普及事業	モンゴル	(特非)エコアライアンス21	東京	810	110
29K-09	マダガスカル、アンジアマンギラーナ監視森林とその周辺地域での植林事業	マダガスカル	日本アイアイ・ファンド	東京	1,130	111
29K-10	ラオスの森と日本の消費者を結ぶ薪炭林作り	ラオス	(特非)炭の木植え隊	東京	1,190	111
29K-11	パレスチナ自治区ナブルス県における防塵林植樹を通じたオリブ畑・環境保護事業	パレスチナ	(特非)バルシク	東京	1,320	112
29K-12	第3期トングリ村における人材育成を伴う生態混交林再生事業	モンゴル	(一社)地球緑化クラブ	東京	1,130	112
29K-13	ケニア共和国イシンヤ地区の3小学校での「一緑運動」	ケニア	(認特)ICA文化事業協会	東京	940	113
29K-14	カンボジア世界遺産プレアピヒア寺院周辺地区での植林活動 (第7年目)	カンボジア	アジアの誇り・プレアピヒア日本協会	東京	940	113
29K-15	マレーシア・サラワク州における地域住民参加型マングローブ林再生事業	マレーシア	(公社)日本マレーシア協会	東京	1,270	114
29K-16	インドネシア・西カリマンタン州におけるテンカワン植林事業	インドネシア	国際炭やき協会	東京	320	114
29K-17	ガーナ植林・日本式炭焼普及プロジェクト	ガーナ	(特非)ガーナ農林工芸振興協会	東京	870	115
29K-18	カンボジア国モンドルキリ州の里山再生を目指した緑化推進事業 (フェーズ2)	カンボジア	(特非)環境修復保全機構	東京	1,320	115
29K-19	ヒマラヤ山麓伐採荒地に「笑顔はじける環境を子供たちへ! 未来の緑の森づくり」	ネパール	(特非)ヒマラヤ保全協会	東京	1,970	116
29K-20	バングラデシュ国モヘシュカリ島における学校・モスク施設主移動による生態系アプローチに沿った住民参加型植林	バングラデシュ	ラムサールセンター	東京	1,400	116
29K-21	ピラーン民族の村の持続可能な森林農業	フィリピン	(特非)ピラーンの医療と自立を支える会	神奈川	1,130	117
29K-22	町の緑を育て、守る ネパール・バネバ市の住民参加型都市緑化推進事業	ネパール	(特非)ラブグリーンジャパン	神奈川	1,140	117

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
29K-23	インドネシア 中央カリマンタンの森林火災で消失した森林を再生するための植樹事業	インドネシア	F.C. Manis マニスファンクラブ	神奈川	1,220	118
29K-24	家庭菜園を利用した持続可能な苗木生産の創出	タジキスタン	(特非)中央アジア森林草地保全研究所	静岡	1,250	118
29K-25	上・下流部住民の交流による流域の森林再生(第1年次)	フィリピン	(特非)イカオ・アコ	愛知	1,210	119
29K-26	ルソン島北部山岳地方における森林再生とアグロフォレストリー	フィリピン	(特非)平和環境もやいネット	滋賀	1,180	119
29K-27	モンゴル山火事跡再生困難地の森林再生促進事業	モンゴル	モンゴル森林再生促進研究会	滋賀	1,030	120
29K-28	アラル海旧湖底の砂と塩分移動防止のための植林活動	カザフスタン	(特非)市民環境研究所	京都	1,350	120
29K-29	マダガスカルでの土砂流失防止の植林事業	マダガスカル	(特非)アイユーゴー	大阪	1,150	121
29K-30	ブラジル国バラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した水源涵養植林事業	ブラジル	(特非)野生生物を調査研究する会	兵庫	1,310	121
29K-31	世界遺産の棚田を崩壊から守るための植林事業	フィリピン	(特非)NEKKO	兵庫	1,310	122
29K-32	タイ北部山岳地域 ホイドウア村の森林再生と農村開発	タイ	(特非)シャンティ山口	山口	1,070	122
29K-33	モザンビーク共和国カーボデルガド州モリンガプロジェクト	モザンビーク	NGOモザンビークのいのちをつなぐ会	福岡	1,310	123
29K-34	ミャンマーにおける多目的コミュニティー林造成事業	ミャンマー	(特非)地球市民の会	佐賀	1,330	123
29K-35	タンザニア国、モロゴロ州キロサ県における村落林業	タンザニア	地球緑化の会	熊本	1,240	未掲載

(注1) 本表は、緑の募金法第14条に基づき森林整備等のために交付した交付先等である。

(注2) 交付額は、交付先への交付決定額である。

区 分	最終交付件数	交付額(千円)
森林整備	94	106,092
緑化推進	87	82,547
国際協力	46	66,490
直接・公募計	227	255,129

「緑の募金」事業報告集 ー平成30年度版ー

発行所 公益社団法人 国土緑化推進機構
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4
砂防会館別館
TEL 03-3262-8457 FAX 03-3264-3974
URL <http://www.green.or.jp>
E-mail bokin@green.or.jp

編集 一般社団法人 全国林業改良普及協会